

厚生労働行政推進調査事業費（厚生労働科学特別研究事業）

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた

地域における歯科医療提供体制の強化のための研究

令和2年度 分担研究報告書

病院歯科に対する調査結果

研究分担者 澤瀬 隆 長崎大学医歯薬学総合研究科 教授

研究協力者 川崎浩二 長崎大学病院 地域医療連携センター 准教授

研究要旨

【目的】

COVID-19 感染症が拡大する中で、病院歯科の診療体制、感染症対策、医療資源の充足状況、関係組織との連携状況、新型コロナウイルス感染症に対する診療継続計画（以下、BCP と表記）作成状況等の実態を調査し、今後の感染症拡大下における歯科医療体制のあり方を検討する基礎資料を構築することを目的とした。

【方法】

全国の 1,818 の病院歯科を対象に、令和 3 年 1 月 26 日から令和 3 年 2 月 12 日の期間に、令和 2 年 4 月の COVID-19 緊急事態宣言時ならびにその後の歯科診療等の現状と課題について質問紙を用いた調査を行った。回答率は 30.8%（560 病院）であった。分析は、（1）病院区分別（特定機能病院、地域支援病院、療養型病院、その他の病院）、（2）令和 2 年 4 月時特定警戒都道府県指定別、（3）COVID-19 陽性患者受入指定病院別に行った。

【結果】

COVID-19 陽性患者ならびに COVID-19 陽性疑い患者に対する歯科介入の割合は、全体で約 15%程度であったが、特定機能病院では約 30%と高い値であった。前年度の同時期と比較した患者減少の割合は、中央値で令和 2 年 4 月 5 月が最も高く 2 割減少で、その後（6 月 7 月、8 月 9 月）減少割合は 1 割に低下した。患者数が減少したと回答した病院の割合は、4 月 5 月は 88%であったが、経時的に 77%（6 月 7 月）、69%（8 月 9 月）と低下した。診療稼働額の減少割合も同様の傾向を示した。令和 2 年 4 月 5 月に患者受診や処置等の制限を行なったと回答した割合は全体で 74%であり、「特定機能病院」では特にその割合が高かった（97.0%）。患者に対する感染対策としては、「検温」「自覚症状に関する問診」が 95%以上の病院で、「待合室のソーシャルディスタンス」「感染流行地域への滞在・海外渡航歴の確認」が 80%以上の病院で行われていた。スタッフに対する感染対策としては、「日々の健康管理」「フェイスシールド・ゴーグルの着用」「歯科ユニット・機材等の清拭」が 90%以上の病院で実施されていた。感染対策として必要な医療資源の充足状況については、「マスク」が不足したと回答した病院が最も多く（70%）、次いで「消毒用アルコール」44%、「ガウン」41%の順であった。歯科診療所や歯科医師会と連絡会議を開催した割合は約 40%、COVID-19 関係の連絡会議を開催した割合は約 35%、自治体との連携は約 40%の病院で行われていた。BCP を作成した病院は全体の 4 分の 1 であり、84%の病院が BCP は十分に機能したと回答した。97%の病院が BCP の必

要性を感じていた。BCPに歯科に関する記載がある割合は約40%であった。

【結論】

令和2年4月の緊急事態宣言以降、多くの病院歯科において患者数が減少し、診療稼働額が低下する状況が続いていた中、患者受診や処置の制限を行いながらもCOVID-19陽性患者ならびに陽性疑いの患者に対する歯科処置が行われていた。その一方で感染対策に必要とされるマスク等の医療資源が不足していたことは大きな問題であり、このような医療資源をどのような優先順位で配給するかは今後の重要な検討課題であろう。感染拡大渦における関連組織と病院歯科の連携が行われていた割合は40%以下であったことから、平時から連携を構築しておく必要性が示唆された。BCPの作成率が約25%と低い一方で、ほとんどの病院歯科がその必要性を認識していることから、BCPについても平時から体制を整備しておくことが重要と考えられた。

A. 研究目的

COVID-19感染症は、主な感染経路が接触感染、飛沫感染であることから、切削等による飛沫を発生する治療が多い歯科診療においては、院内感染のリスクが危惧されてきた¹⁾。本分担研究では、病院歯科（大学病院歯科診療部門を含む）を対象にCOVID-19感染症が拡大した令和2年4月以降のCOVID-19陽性患者（疑いを含む）に対する歯科診療体制、受診患者数・歯科診療稼働額の推移、感染対策、感染防御医療資源の充足状況、自治体や関連組織との連携体制、診療継続計画（BCP）の作成状況等の実態を調査し、今後の感染症拡大時に効率的・効果的に対応できる歯科医療体制を検討することを目的とした。

B. 研究方法

病院に歯科診療部門を設置する全国の特定機能病院、地域支援病院、療養型病院、その他の病院等1,818医療機関に対して、令和2年4月のCOVID-19緊急事態宣言時ならびにその後の現状と課題について、令和3年1月26日から令和3年2月12日の期間、郵送による質問紙（別紙1）を用いた調査を行った。回答方法は、郵送による回答と質問紙に貼付したQRコードからアクセスしてWeb上で回答する方式を併用した。回答データをExcelに入力後、統計ソフト（SPSS ver.27）を用いて、（1）病院区分別（特定機能病院、地域支援病院、療養型病院、その他の病院）、（2）令和2年4月時特定警戒都道府県指定別、（3）COVID-19陽性患者受入指定病院別に分析を行った。

主な分析項目は以下の通りである。

1) 歯科診療

- ① COVID-19陽性患者ならびにCOVID-19陽性疑い患者に対する歯科介入
- ② 患者減少ならびに診療稼働額減少
- ③ 紹介患者減少

- 2) 患者受診・処置等の制限
- 3) 感染対策
 - ① 患者に対する感染対策
 - ② スタッフに対する感染対策
- 4) 感染対策として必要な医療資源の充足状況
- 5) 関連組織との連携
- 6) BCP 作成状況

C. 研究結果

調査票の総回答数は 560 件（回答率 30.8%）であった。研究方法に記載した（1）病院区分別（特定機能病院、地域支援病院、療養型病院、その他の病院）、（2）令和 2 年 4 月時特定警戒都道府県指定別、（3）COVID-19 陽性患者受入指定病院別分析に対応した集計表の詳細はそれぞれ別紙 2-1、別紙 2-2、別紙 2-3 に示した。

1. 病院歯科全体としての分析

表番号は、別紙 2-1 に記載されている表番号と対応。

1) 対象数と回答率（表 1）

対象病院数：1,818 病院

回答病院数：560 病院（回答率 30.8%）

2) 歯科診療

① COVID-19 陽性患者ならびに COVID-19 陽性疑い患者に対する歯科介入

令和 2 年 4 月 5 月、6 月 7 月、8 月 9 月において、COVID-19 陽性患者に対する一人以上の歯科介入を行った割合は、10%前後であった（図 1、表 9-1、表 9-2、表 9-3）。

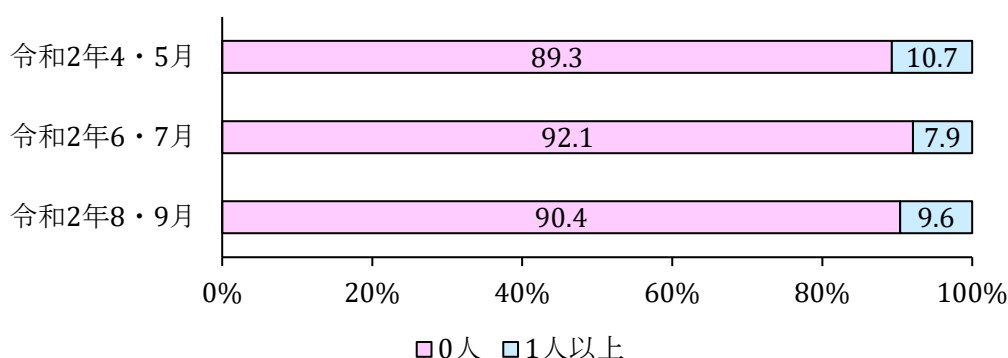


図 1 COVID-19 陽性患者に対して歯科介入を行った割合

COVID-19 陽性疑い患者に対する一人以上の歯科介入を行った割合は、全体で13～14%であった（図2、表10-1、表10-2、表10-3）。

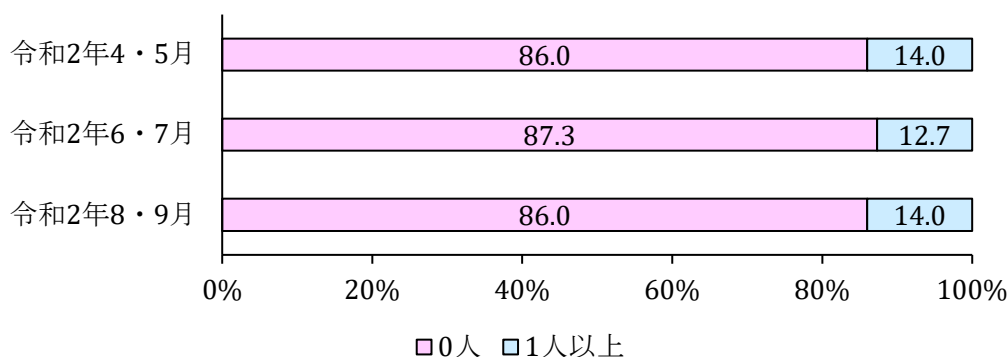


図2 COVID-19 陽性疑い患者に対して歯科介入を行った割合

② 患者減少ならびに診療稼働額減少

患者が減少したと回答した病院の割合は、令和2年4月5月、6月7月、8月9月においてそれぞれ、87.6%、76.6%、66.8%と高い値であったが、その値は経時的に低下した（図3、表11-1-2、表12-1-2、表13-1-2）。

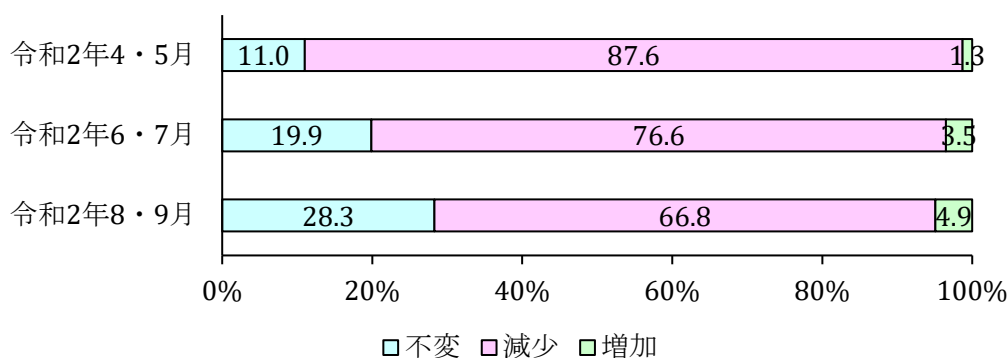


図3 患者増減の割合

診療稼働額が減少したと回答した病院の割合は各期間、84.4%、68.5%、57.2%でその値は経時的に低下した。一方、診療稼働額が増加したと回答した病院もあり、その割合は各期間、2.2%、6.8%、7.9%であった（図4、表11-2-2、表12-2-2、表13-2-2）。

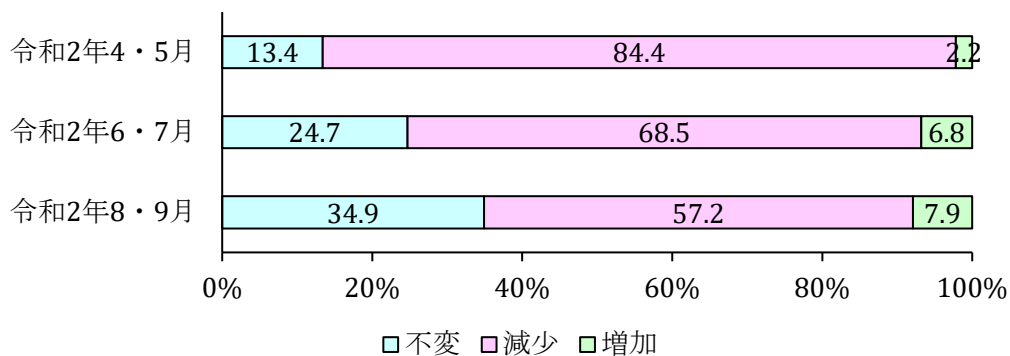


図4 診療稼働額増減の割合

③ 紹介患者減少

紹介患者が減少したと回答した病院の割合は各期間、64.2%、56.5%、46.3%と経時的に低下した（図5、表19-1-2、表19-2-2、表19-3-2）。

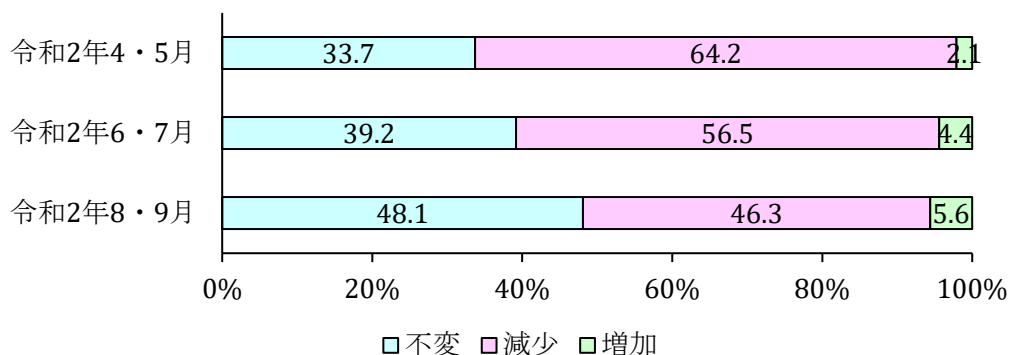


図5 紹介患者増減の割合

3) 患者受診・処置等の制限（令和2年4月5月）

制限したと回答した割合は、全体で73.4%であった（表14-1）。

制限した内容はその割合が大きい順に「定期管理患者の受診延期」73.1%、「エアロゾルを発生しやすい処置の制限」68.1%、「観血的処置の制限」57.5%、「自覚症状のない患者の受診延期」50.8%であった（図6、表14-2）。

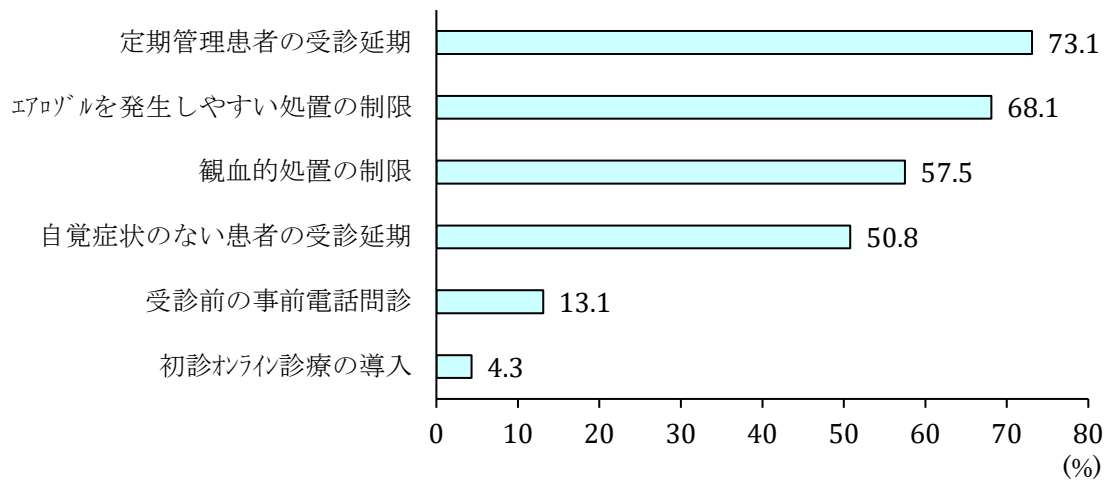


図6 紹介受診・処置等の制限の割合（複数回答）

4) 感染対策（令和2年4月5月）

① 患者に対する感染対策

感染対策実施割合が高い内容は、「検温」95.1%、「自覚症状に関する問診」94.2%、「待合室のソーシャルディスタンス」83.7%、「感染流行地域への滞在・海外渡航歴の確認」80.6%であった（図7、表15）。

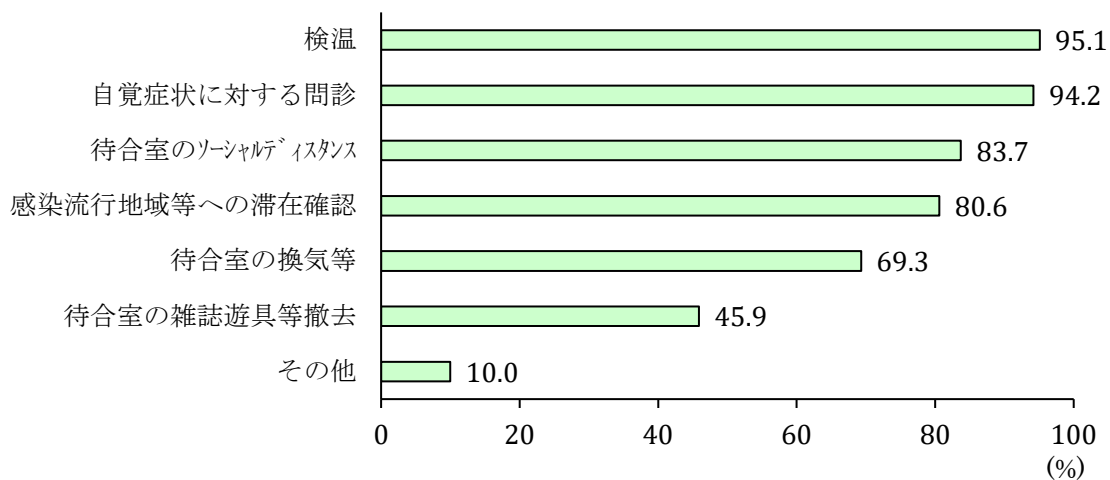


図7 患者に対する感染対策とその割合（複数回答）

② スタッフに対する感染対策（令和2年4月5月）

感染対策実施割合が高い順に、「スタッフの日々の健康管理」96.2%、「フェイスシールド・ゴーグルの着用」96.0%、「歯科ユニット・機材等の清拭」94.2%、「スタッフに対する感染対策勉強会」83.8%、「口腔外バキュームの使用」78.2%、「ディスポーザブルのガウンやキャップの着用」69.5%であった（図8、表16）。

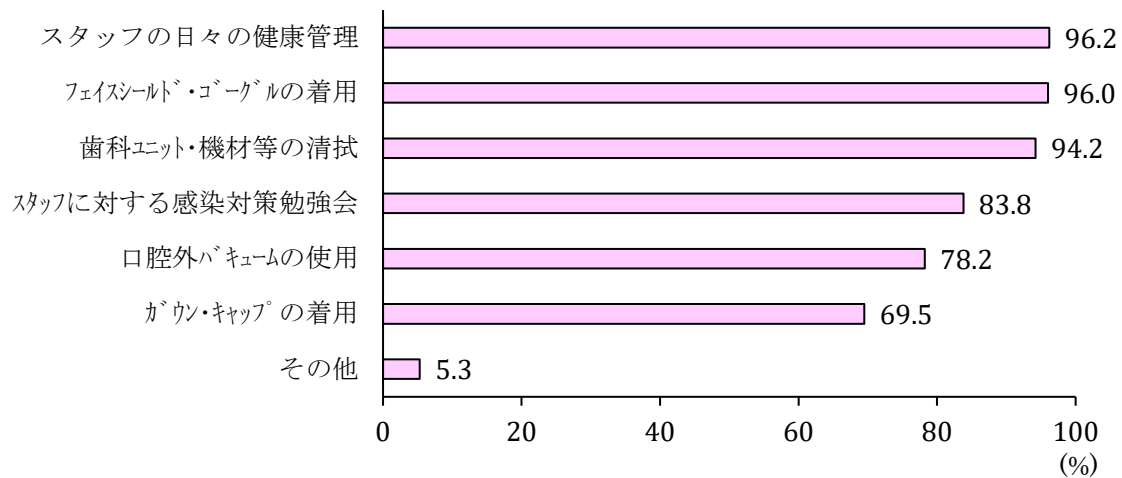


図8 スタッフに対する感染対策とその割合（複数回答）

5) 感染対策として必要な医療資源充足状況

「マスク」が不足した割合が最も高く（70.4%）、次いで「消毒用アルコール」43.7%、「ガウン」40.6%、「グローブ」39.8%、「フェイスシールド」39.1%、「N95マスク」34.5%、「キャップ」26.3%の順であった（図9、表17-1）。

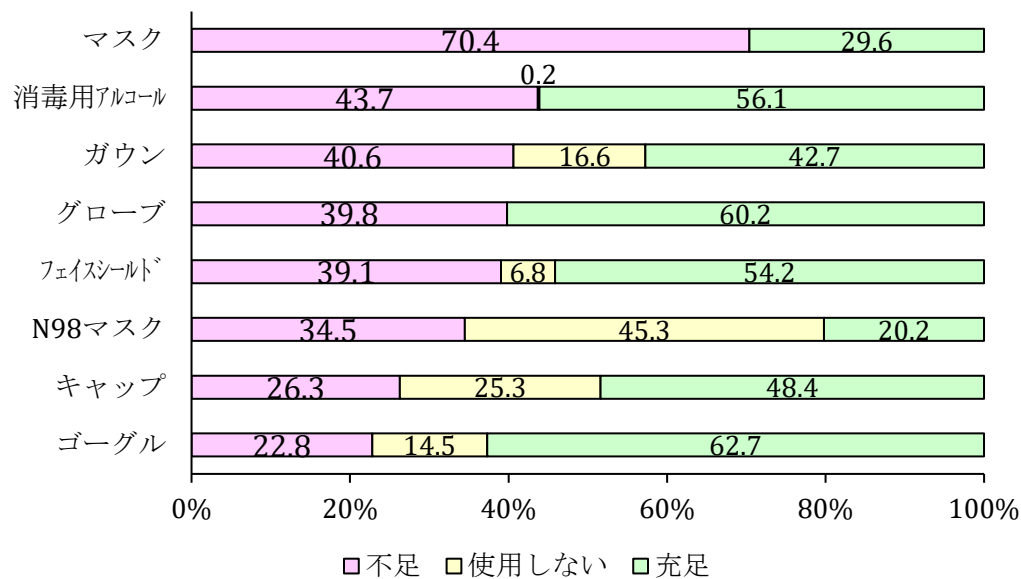


図9 感染対策として必要な医療資源の充足状況

不足が始まった時期は令和2年4月～6月が最も多かった（表17-2）。

6) 関連組織との連携

歯科診療所及び歯科医師会との連絡会議開催状況は、定期的開催が22.1%、不定期開催が19.3%で、開催していない割合は58.6%であった（図10、表20-1）。

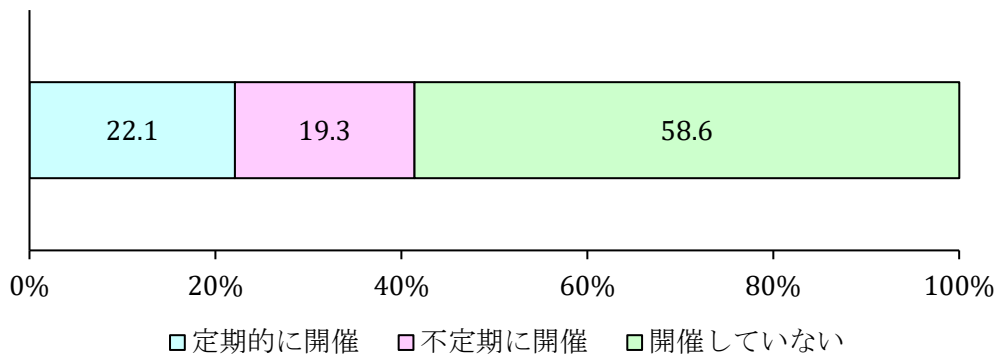


図 10 歯科診療所及び歯科医師会との連絡会議開催状況

COVID-19 に関する連絡会議は、35.5%が開催していた（表 21-1）。情報共有した内容では、「院内感染対策」（73.7%）、「歯科医療提供体制」（69.6%）が高い割合であった（図 11、表 21-3）。

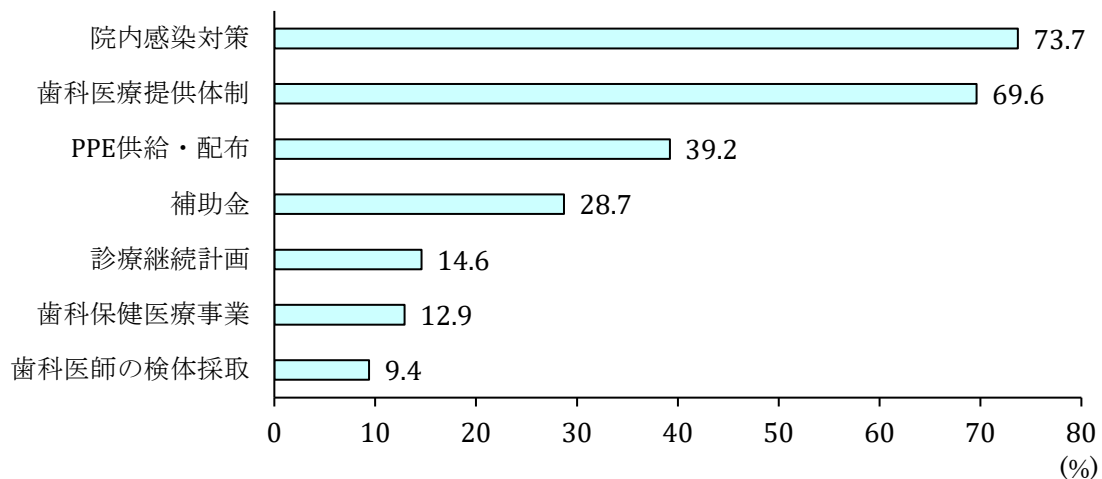


図 11 COVID-19 に関する連絡会議で情報共有した内容（複数回答）

自治体との連携は、全体で 41.4%が行っていた（表 22-1）。情報共有した内容で比較的割合が高かった項目は、「院内感染対策」（58.2%）、「歯科医療提供体制」（54.6%）、「補助金」（43.8%）、「PPE 供給・配布」（42.3%）であった（図 12、表 22-2）。

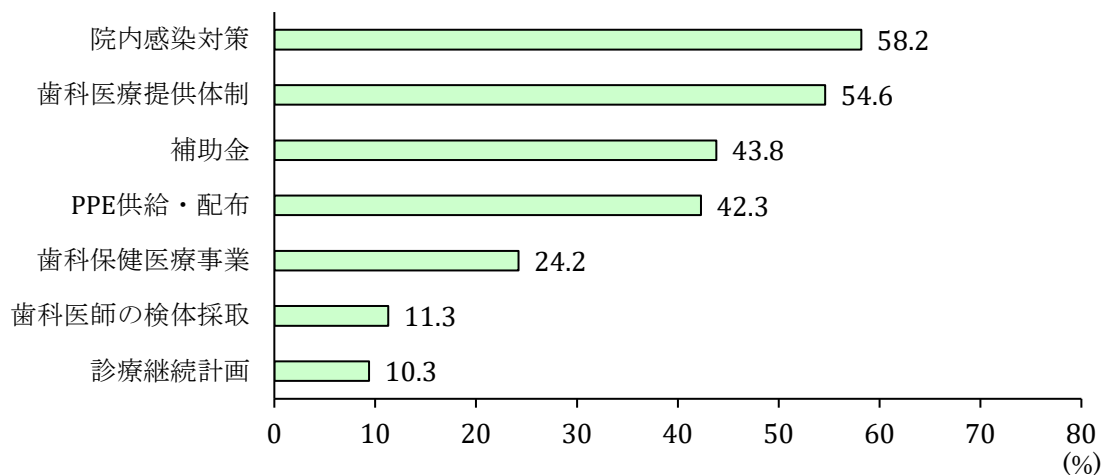


図 12 自治体との連携で情報共有した内容（複数回答）

7) BCP

BCP 作成率は 23.6%で（表 23-1）、そのうち歯科に関する記載があると回答した割合は 39.6%であった（表 23-7）。BCP を作成した病院の 83.9%が BCP は十分機能したと回答した（表 23-4）。BCP の必要性を感じたと回答した病院は 96.7%であった（表 23-3）。

2. 病院区分別分析

表番号は、別紙 2-1 に記載されている表番号と対応。

1) 調査対象と分析対象について

調査対象病院の病院区分「特定機能病院」「地域支援病院」「療養型病院」「その他病院」の割合は、それぞれ 4.3%、8.4%、8.0%、79.3%、回答病院の病院区分の割合は、5.9%、8.0%、7.3%、77.7%で、病院区分毎の発送数と回答数の分布に有意な偏りは認められなかった（図 13、表 1）。

回答した 560 病院のうち、病院名の記載がなく病院区分が特定できない 6 病院を除いた 554 病院を分析対象とした。

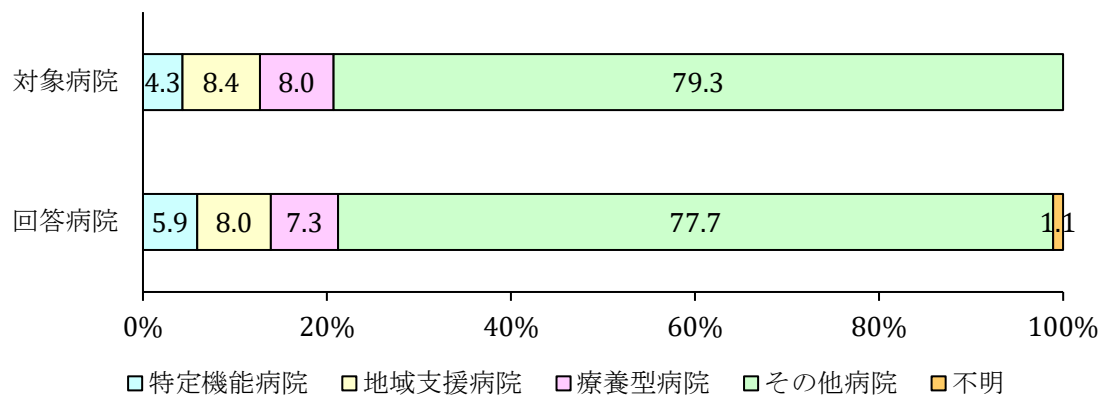


図 13 調査対象病院と回答病院の病院区分割合

2) 診療体制について

病床数は「特定機能病院」が最も多く（中央値の病床区分 800-899 床）、次いで「地域支援病院」（中央値の病床区分 500-599 床）、「その他病院」（中央値の病床数区分 200-299 床）、「療養型病院」（中央値の病床数区分 100-199 床）であった（表 2）。また「特定機能病院」と「地域支援病院」の 80～90%が「COVID-19 陽性患者受入指定」に指定されているのに対し、同指定を受けている「その他病院」と療養型病院」の割合はそれぞれ 48%と 23%であった（表 3）。「特定機能病院」における歯科病床数（平均値 10.9 床、中央値 10 床）と歯科ユニット数（平均値 15.3、中央値 9）は、他の病院と比較して高い値であった（表 4）。「特定機能病院」と「地域支援病院」の約 90%が歯科口腔外科を標榜し（表 5）、学会認定研修施設となっている割合も 97%、73%と高かった（表 6）。歯科医療従事者は、「特定機能病院」の常勤歯科医師数（平均値 17.6 人、中央値 10 人）、専門医数（平均値 6.5 人、中央値 4 人）、看護師数（平均値 40.3 人、中央値 1 人）が最も多かった。一方、「地域支援病院」では、看護師数は少ないが（平均値 0.9 人、中央値 0.5 人）、歯科医師に対する歯科衛生士数の比率が高い（平均値の歯科医師：歯科衛生士=3.8：4.9、中央値の歯科医師：歯科衛生士=3：4）ことが特徴的であった（表 7）。歯科診療内容は、「特定機能病院」と「地域支援病院」間で実施している診療内容の分布に差は認められなかったが、「療養型病院」と「その他病院」では、周術期口腔機能管理や口腔外科手術を行う病院の割合が比較的低く（50～70%）、訪問診療を行っている病院が 20～30%と比較的高かった（表 8）。

3) COVID-19 陽性患者受け入れ数と歯科介入数について

令和 2 年 4 月 5 月、6 月 7 月、8 月 9 月の各時期において、「特定機能病院」な

らびに「地域支援病院」の67～82%がCOVID-19陽性患者を受け入れていたのに対し、「療養型病院」と「その他病院」では12～35%に留まっていた。いずれの病院も時期による差は認められなかった（表9-1、表9-2、表9-3）。

令和2年4月5月、6月7月、8月9月の各時期において、「特定機能病院」の約30%、「地域支援病院」の10～18%、「療養型病院」の20～28%、「その他病院」の数%がCOVID-19陽性患者に対する歯科介入を行っていた（図14、図15、図16、表9-1、表9-2、表9-3）。

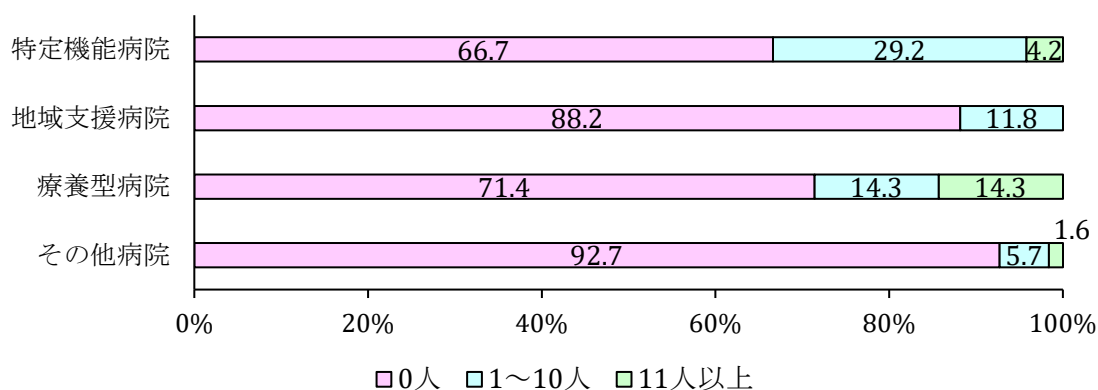


図14 令和2年4月5月 COVID-19陽性患者に対する歯科介入状況

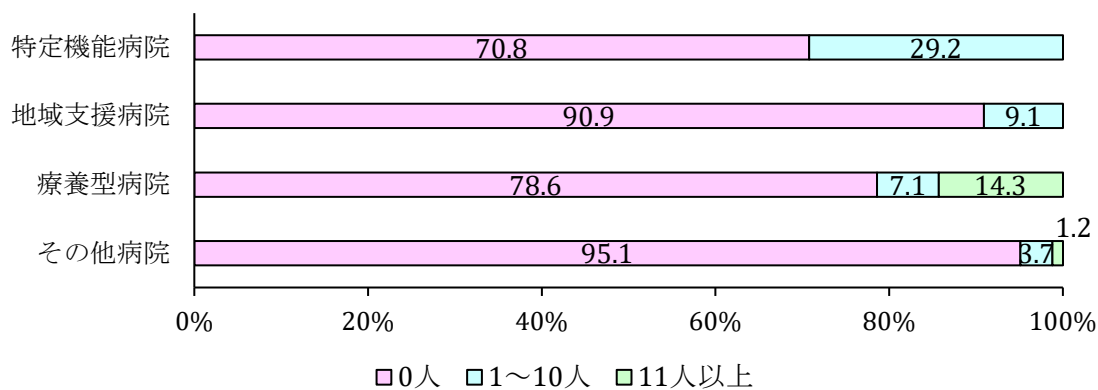


図15 令和2年6月7月 COVID-19陽性患者に対する歯科介入状況

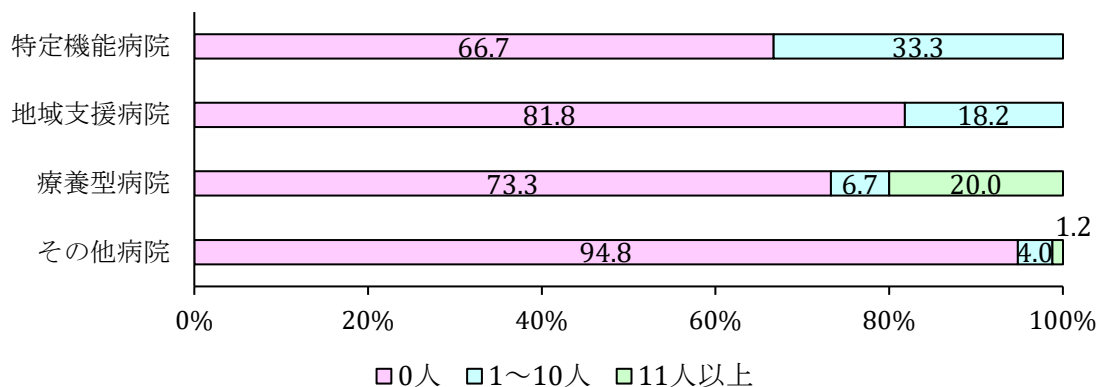


図 16 令和 2 年 8 月 9 月 COVID-19 陽性患者に対する歯科介入状況

4) COVID-19 感染疑い患者の歯科介入数について

令和 2 年 4 月 5 月、6 月 7 月、8 月 9 月の各時期において、「特定機能病院」ならびに「地域支援病院」では、COVID-19 感染が疑われる患者に対して一人以上の歯科介入を行った割合は、25~33%であった。「特定機能病院」では、令和 2 年 4 月 5 月におけるその割合が最も高く、33.3%であった（表 10-1、表 10-2、表 10-3）。

5) 歯科診療状況について

令和 2 年 4 月 5 月、6 月 7 月、8 月 9 月の各時期の一年前の同時期と比較した「患者数減少割合」の中央値は、全体で令和 2 年 4 月 5 月期が最も高く（2 割の減少）、その後は 1 割の減少であった。患者減少割合の最大値は、「その他病院」の 10 割（4 月 5 月、6 月 7 月）であった（表 11-1-1、表 12-1-1、表 13-1-1）。

患者数が減少したと回答した病院の割合は、病院区分間で有意な差はなく 4 月 5 月は 90%前後で、その後経時的にその値は低下した（図 17、図 18、図 19、表 11-1-2、表 12-1-2、表 13-1-2）。

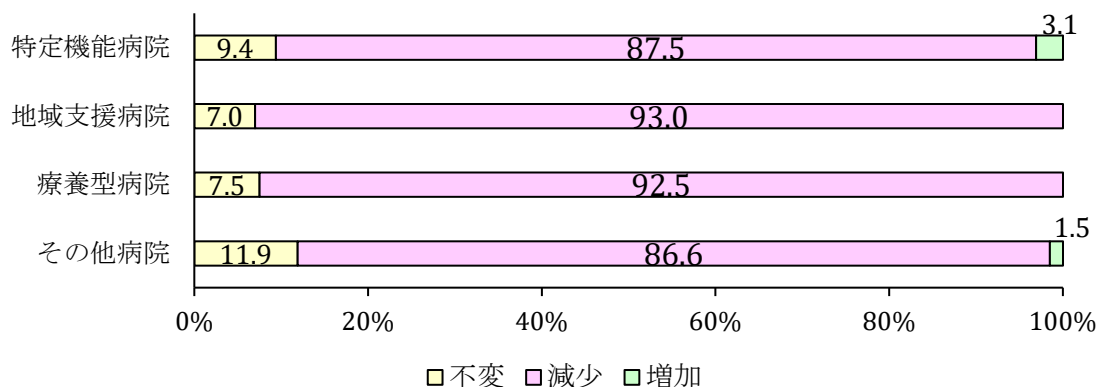


図 17 令和 2 年 4 月 5 月 患者数の増減割合

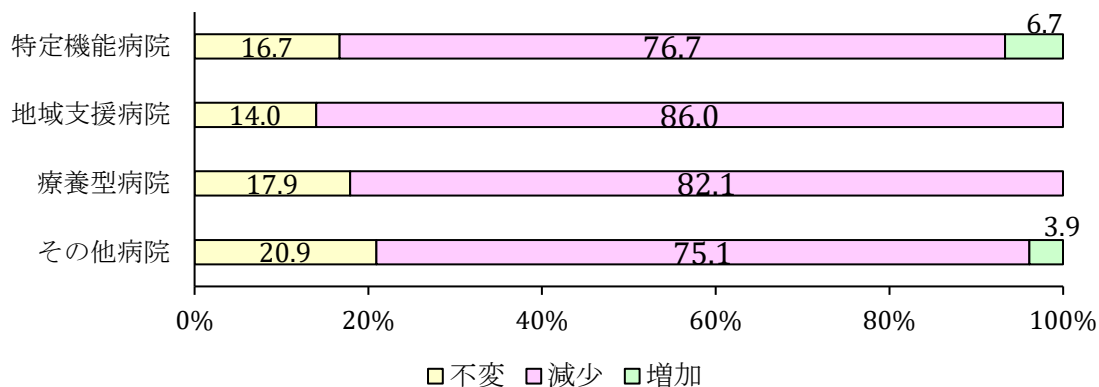


図 18 令和 2 年 6 月 7 月 患者数の増減割合

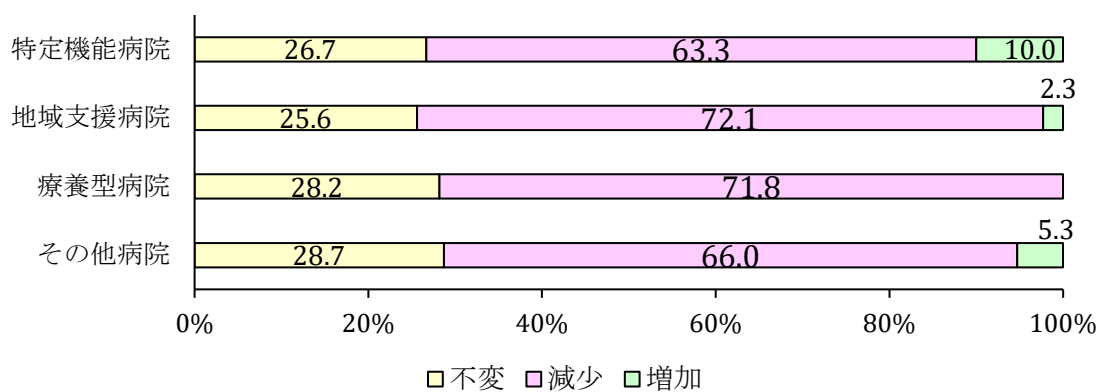


図 19 令和 2 年 8 月 9 月 患者数の増減割合

「診療稼働額減少割合」の中央値は全体で、4月5月が2割減、6月7月が1割減、8月9月が0.6割減であった（表 11-2-1、表 12-2-1、表 13-2-1）。「地域支援病院」で診療稼働額が減少したと回答した病院の割合の経時的変化は、88.1%、81.0%、64.1%で他の病院と比べて回復度が遅かった（図 20、図 21、図 22、表 11-2-2、表 12-2-2、表 13-2-2）。

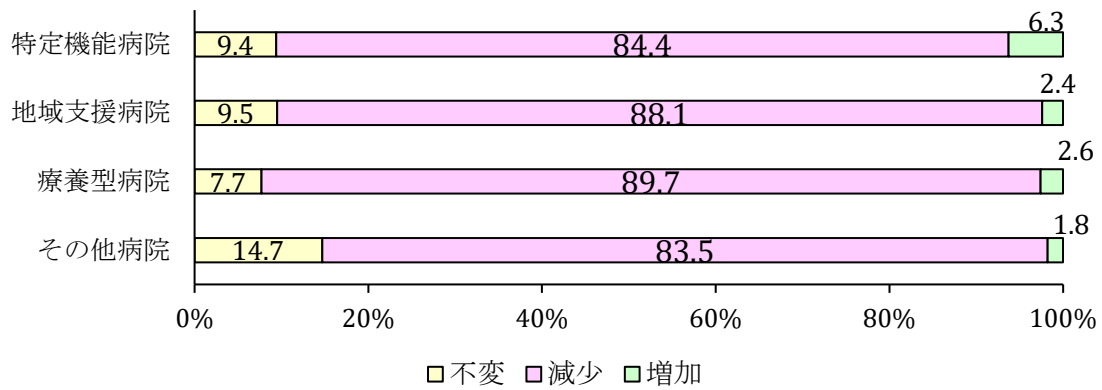


図 20 令和 2 年 4 月 5 月 診療稼働額の増減割合

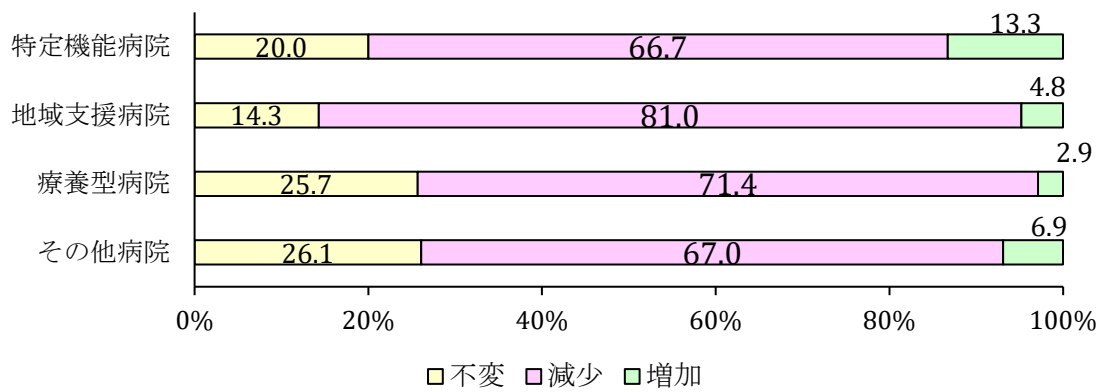


図 21 令和 2 年 6 月 7 月 診療稼働額の増減割合

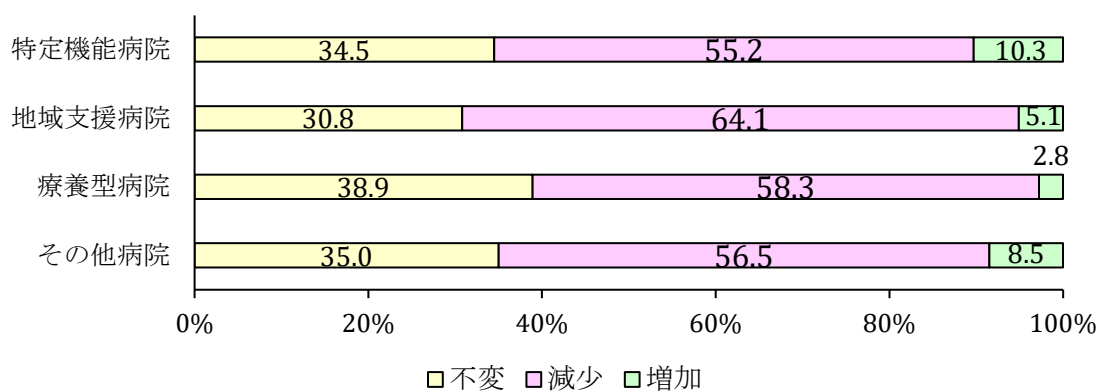


図 22 令和 2 年 8 月 9 月 診療稼働額の増減割合

6) 患者受診・処置等の制限 (令和 2 年 4 月 5 月) について

制限したと回答した割合は、「特定機能病院」97.0%、「地域支援病院」84.4%、

「療養型病院」73.2%、「その他病院」70.4%であり、4群間に有意差が認められた（表 14-1）。制限した内容で病院区分間において比較的差が大きかった項目は、「定期管理患者の受診延期」と「観血的処置の制限」であった。「定期管理患者の受診延期」と回答した割合は、「療養型病院」85.7%、「その他病院」74.4%、「特定機能病院」74.2%、「地域支援病院」52.6%であった。「観血的処置の制限」と回答した割合は、「地域支援病院」84.2%、「特定機能病院」74.2%、「その他病院」54.2%、「療養型病院」39.3%であった（図 23、表 14-2）。

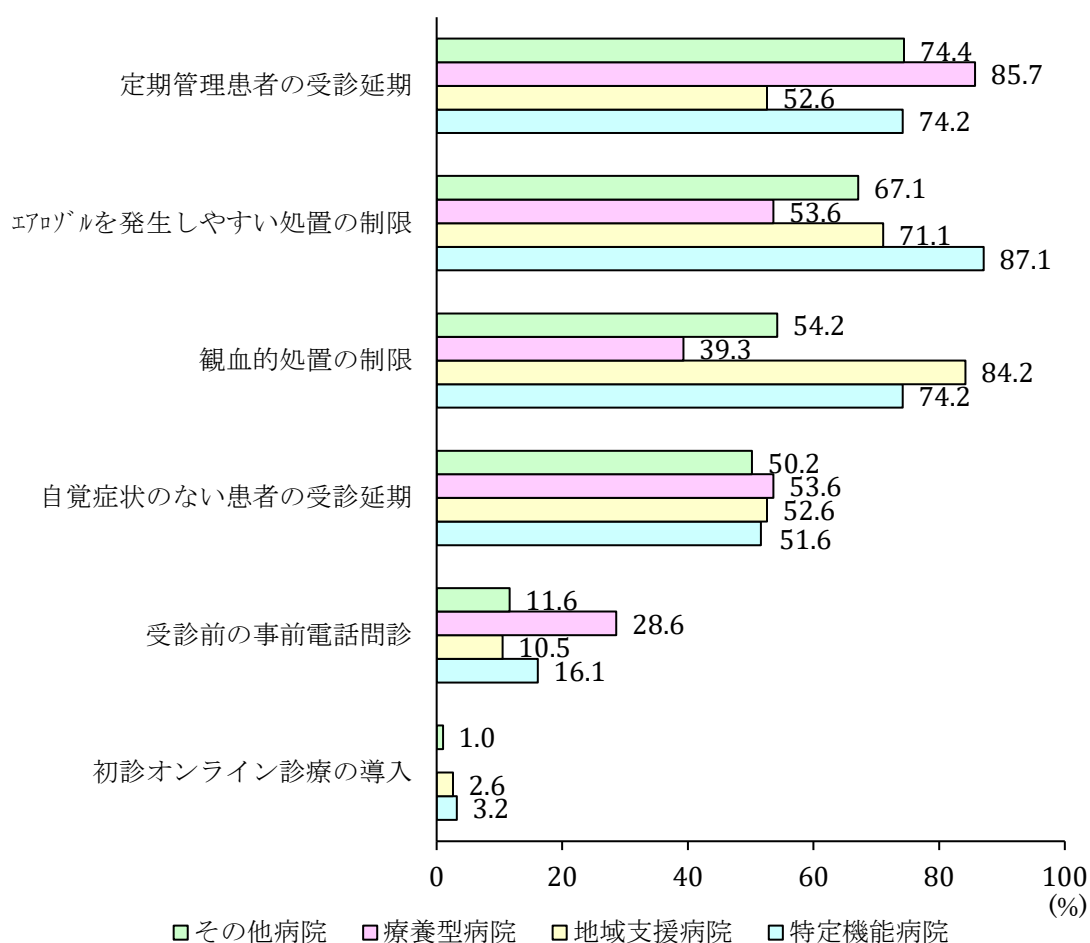


図 23 令和 2 年 4 月 5 月 患者受診・処置等の制限内容の割合（複数回答）

7) 感染対策（令和 2 年 4 月 5 月）について

① 患者に対する感染対策

病院区分間で比較的差が大きかった対策内容は、「感染流行地域への滞在・海外渡航歴の確認」と「待合室の換気や空気清浄機の設置」であった。「感染流行地域への滞在・海外渡航歴の確認」と回答した割合は、「特定機能病院」93.9%、「地域支援病院」91.1%、「その他病院」79.2%、「療養型病院」73.2%であっ

た。「待合室の換気や空気清浄機の設置」と回答した割合は、「その他病院」71.8%、「特定機能病院」66.7%、「療養型病院」63.4%、「地域支援病院」53.3%であった（図 24、表 15）。

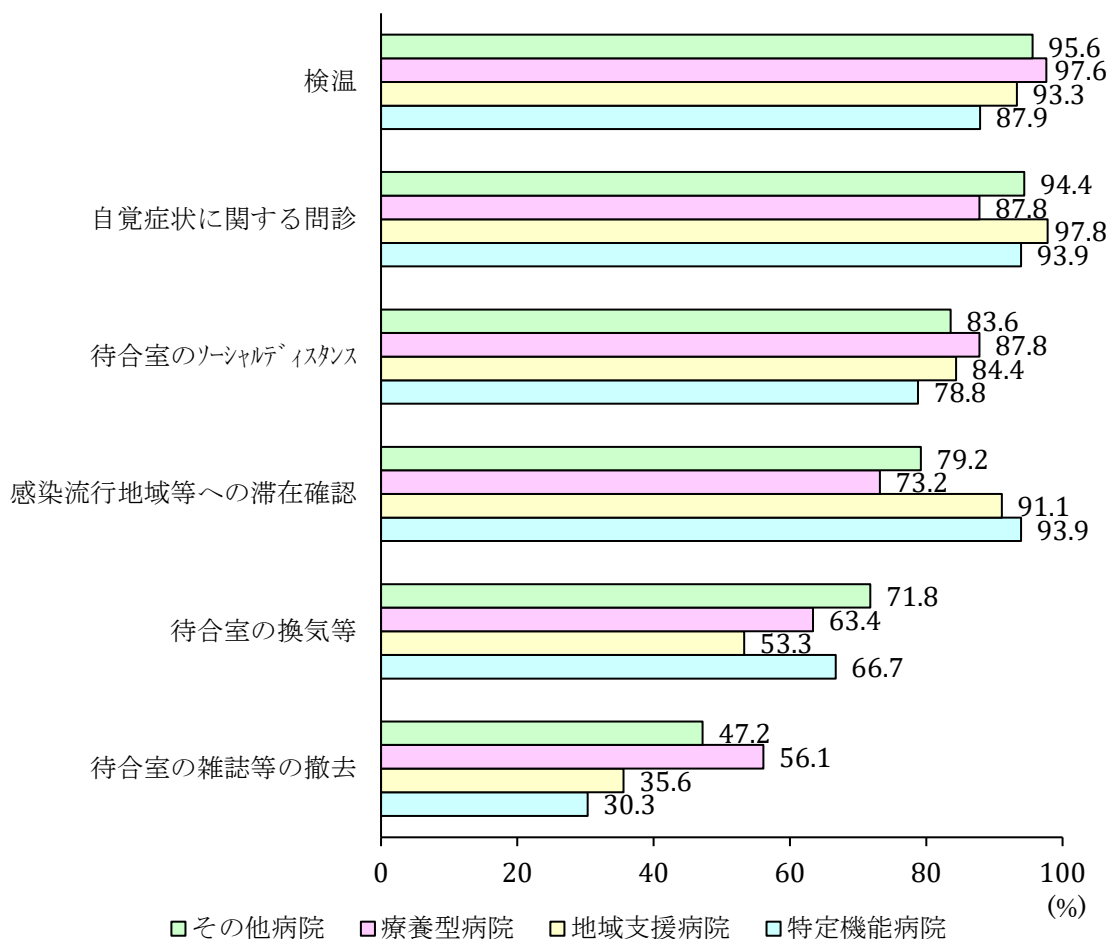


図 24 令和 2 年 4 月 5 月 患者感染対策内容の割合（複数回答）

② スタッフに対する感染対策

病院区分間で比較的差が大きかった対策内容は、「口腔外バキュームの使用」と「ディスポーザルのガウンやキャップの着用」であった。「口腔外バキュームの使用」と回答した割合は、「特定機能病院」100%、「地域支援病院」77.8%、「療養型病院」85.4%、「その他病院」75.9%であった。「ディスポーザルのガウンやキャップの着用」と回答した割合は、「特定機能病院」97.0%、「地域支援病院」66.7%、「療養型病院」53.7%、「その他病院」69.2%であった（図 25、表 16）。

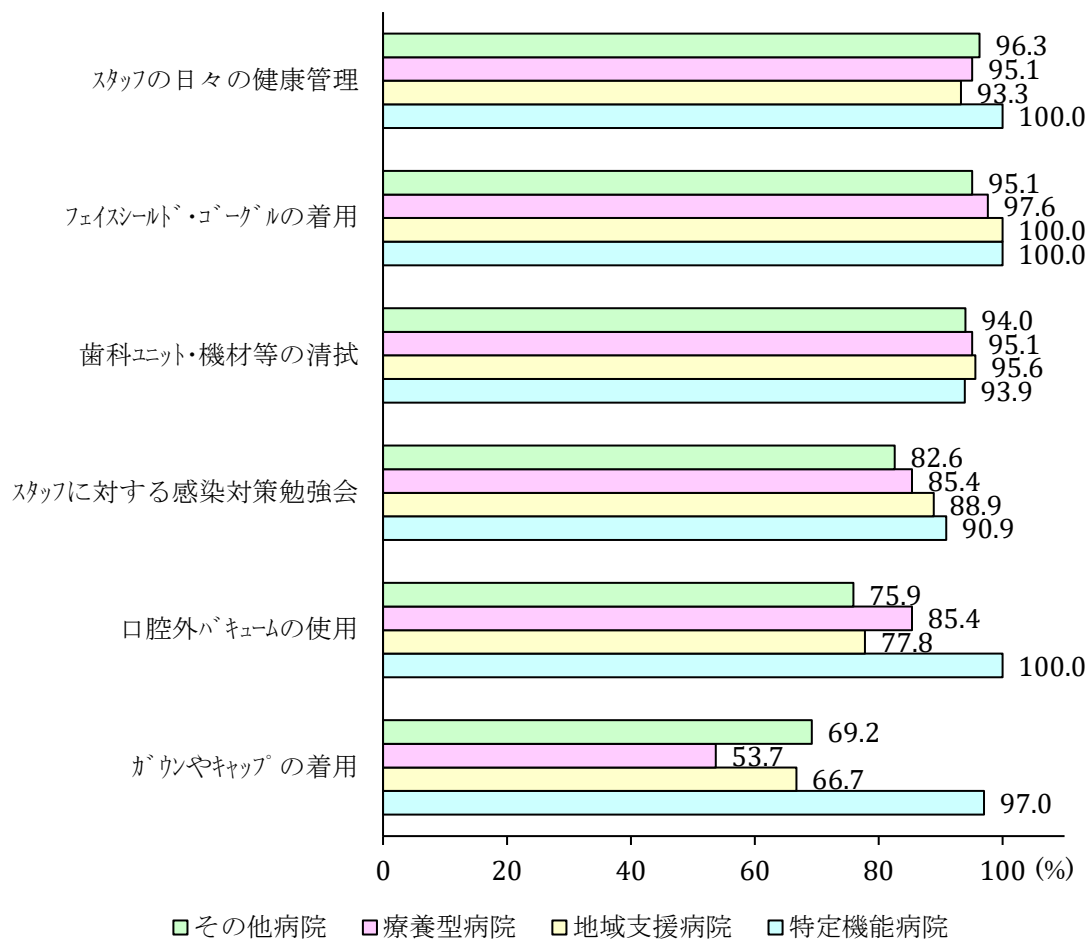


図 25 令和 2 年 4 月 5 月 スタッフ感染対策内容の割合（複数回答）

8) 令和 2 年の感染防御医療資源の充足状況について

病院区分別で充足状況の割合に有意差が認められたのは、「ゴーグル」「キャップ」「消毒用アルコール」であり、「ゴーグル」と「キャップ」は「特定機能病院」において不足していた割合が高く（「ゴーグル」40.6%、「キャップ」33.3%）、「消毒用アルコール」は「療養型病院」「その他病院」で不足していた割合が高かった（44.7%、46.3%）（図 26、図 27、図 28、表 17-1）。

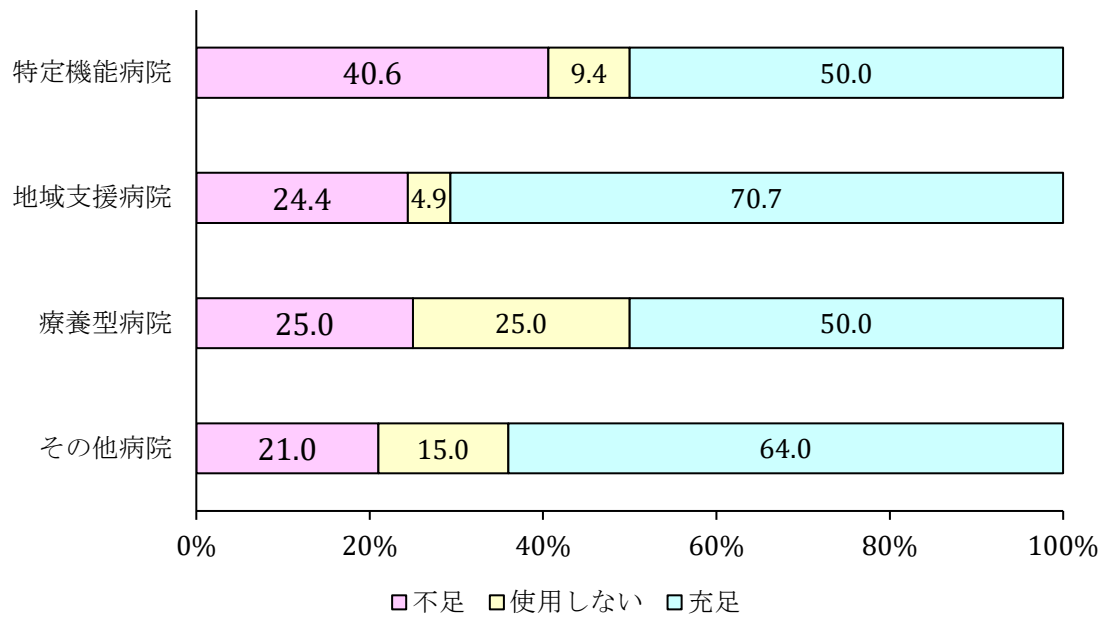


図 26 ゴーグルの充足状況割合

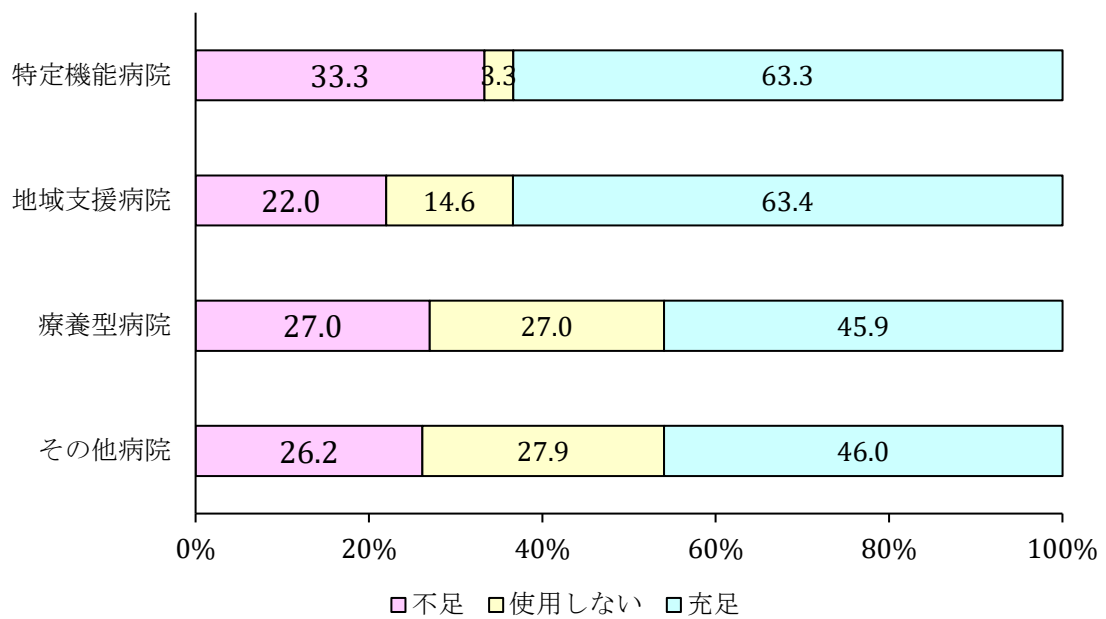


図 27 キャップの充足状況割合

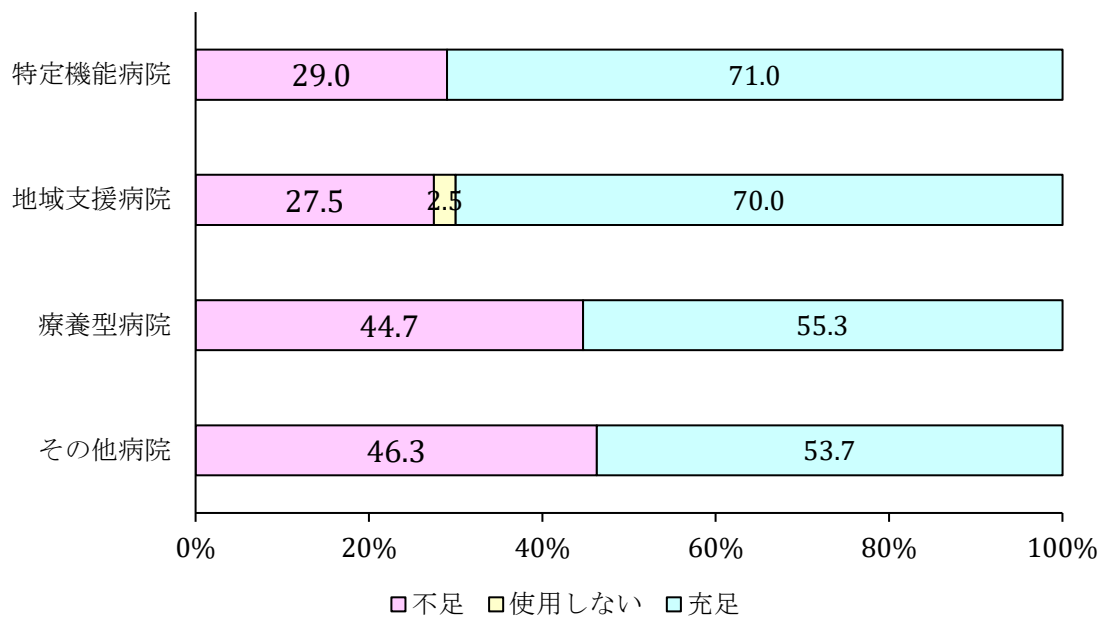


図 28 消毒用アルコールの充足状況割合

9) 歯科紹介患者数の減少割合について

令和 2 年 4 月 5 月、6 月 7 月、8 月 9 月の各時期の「紹介患者減少割合」は、「特定機能病院」が最も減少割合が高く、中央値で 4 月 5 月が 4 割減、6 月 7 月が 2 割減、8 月 9 月が 1 割減であった（表 19-1-1、表 19-2-1、表 19-3-1）。紹介患者数が減少したと回答した病院の割合が最も高かったのは、「地域支援病院」で、最も低かったのは「療養型病院」であった（図 29、図 30、図 31、表 19-1-2、表 19-2-2、表 19-3-2）。

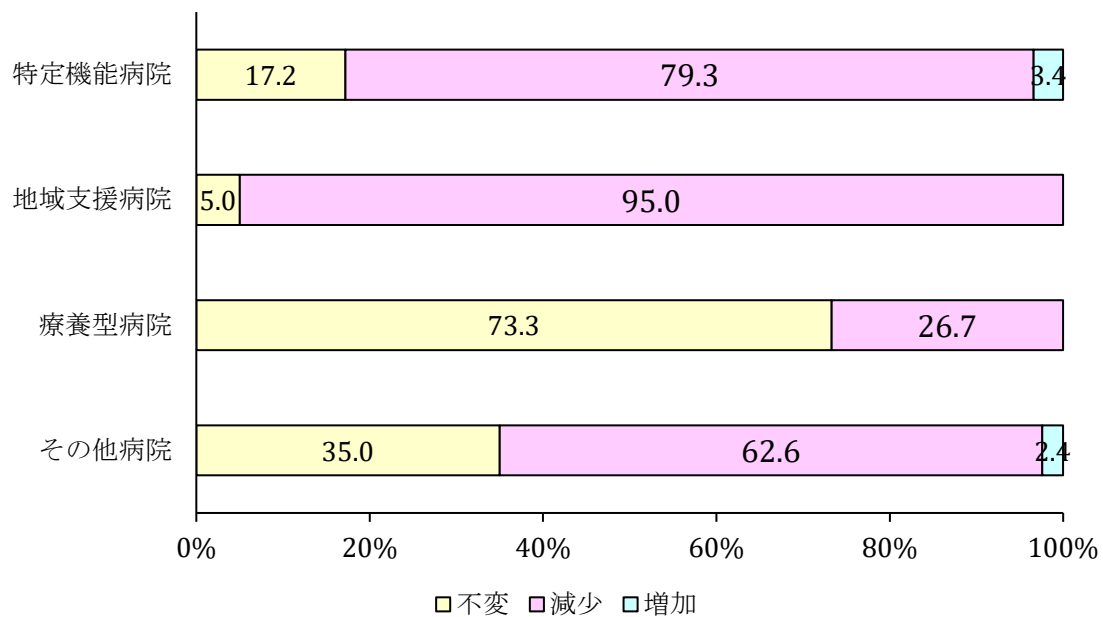


図 29 令和 2 年 4 月 5 月 紹介患者の増減割合

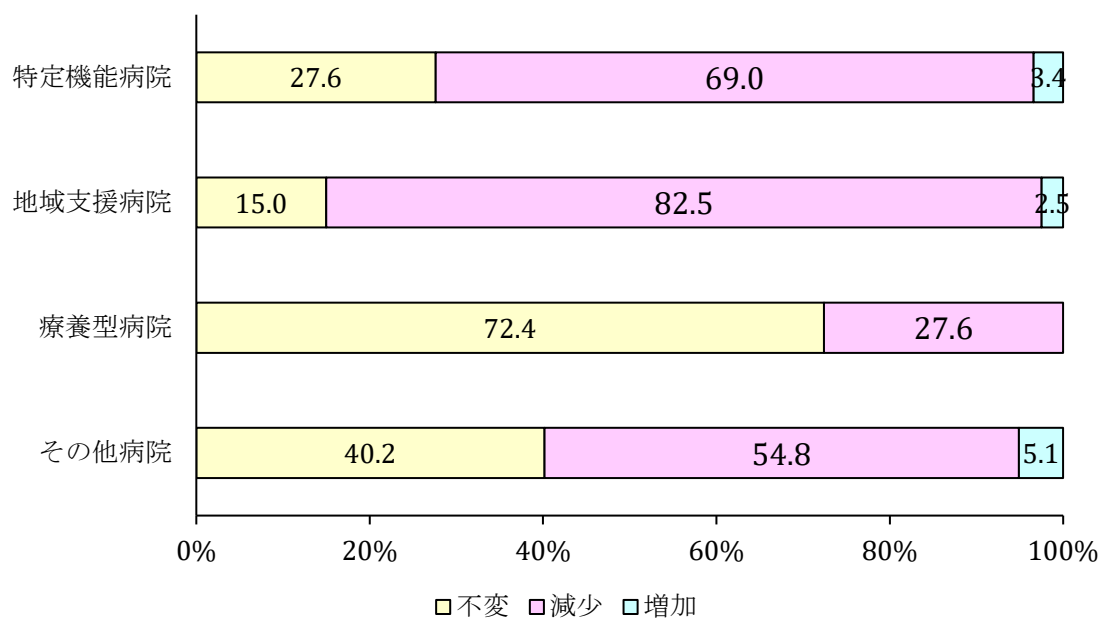


図 30 令和 2 年 6 月 7 月 紹介患者の増減割合

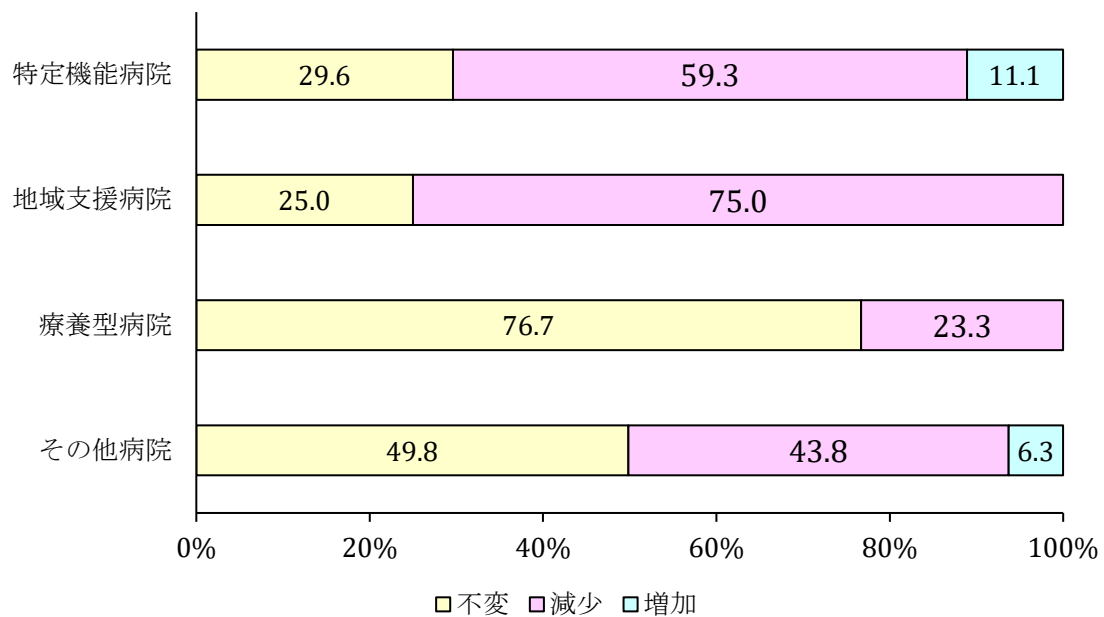


図 31 令和 2 年 8 月 9 月 紹介患者の増減割合

1 0) 歯科診療所および歯科医師会との連絡会議開催状況について

「地域支援病院」が連絡会議開催の割合が最も高く、定期的開催と不定期開催を合わせると約 57%であった（表 20-1）。

1 1) COVID-19 に関する連絡会議（情報共有体制）について

連絡会議を開催したと回答した病院は、「特定機能病院」の割合が高く 46.7%であった（表 21-1）。情報共有の内容は、「特定機能病院」において「歯科医療体制についての情報共有」が 78.6%と他病院と比べて 10%以上高かった。また「療養型病院」において、「補助金」「歯科保健医療事業」の割合が高かった（図 32、表 21-3）。

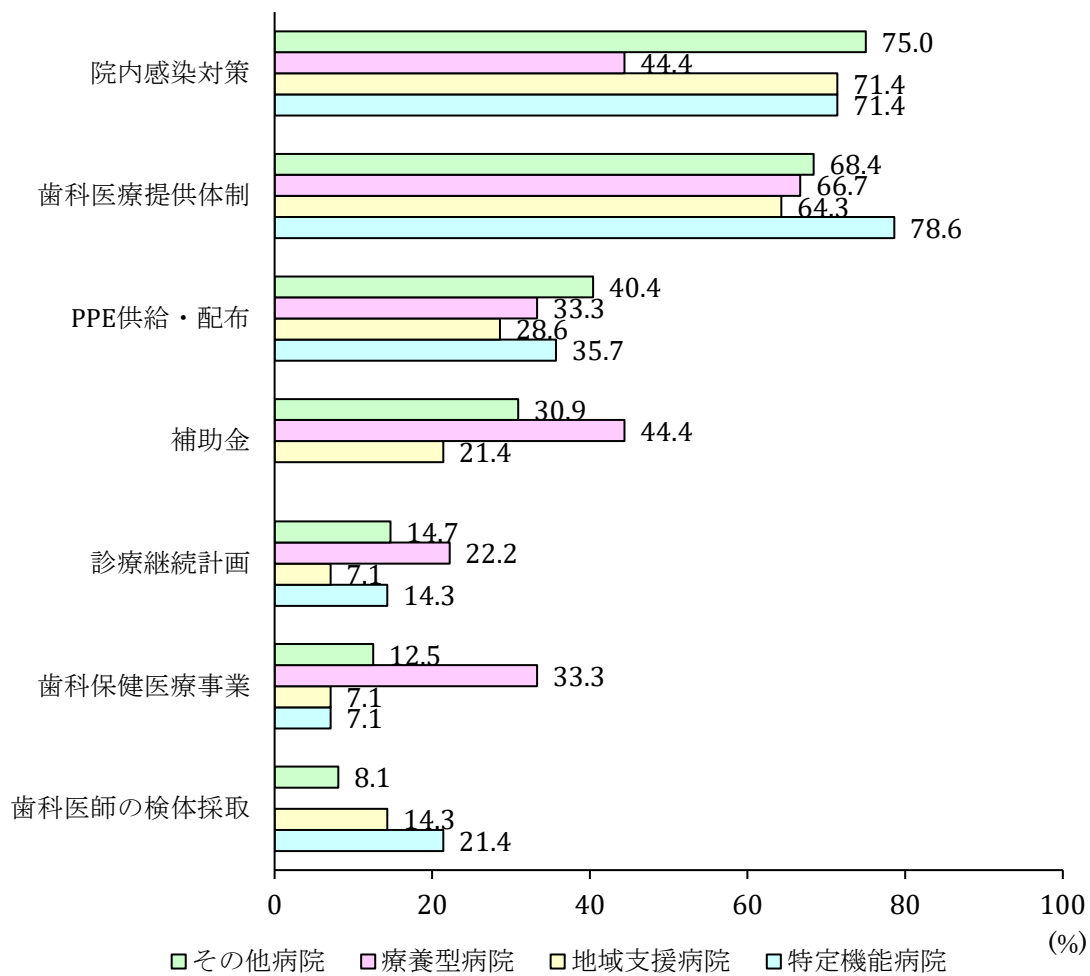


図 32 COVID-19 に関する連絡会議で情報共有した内容（複数回答）

1 2) 自治体との連携について

「郡市区歯科医師会を通じた連携」は、「特定機能病院」は 18.5%と低い値であったが、他の病院は約 40%が連携していた。「自治体に勤務する歯科専門職との連携」はどの病院も数%で低い割合であった（図 33、表 22-1）。

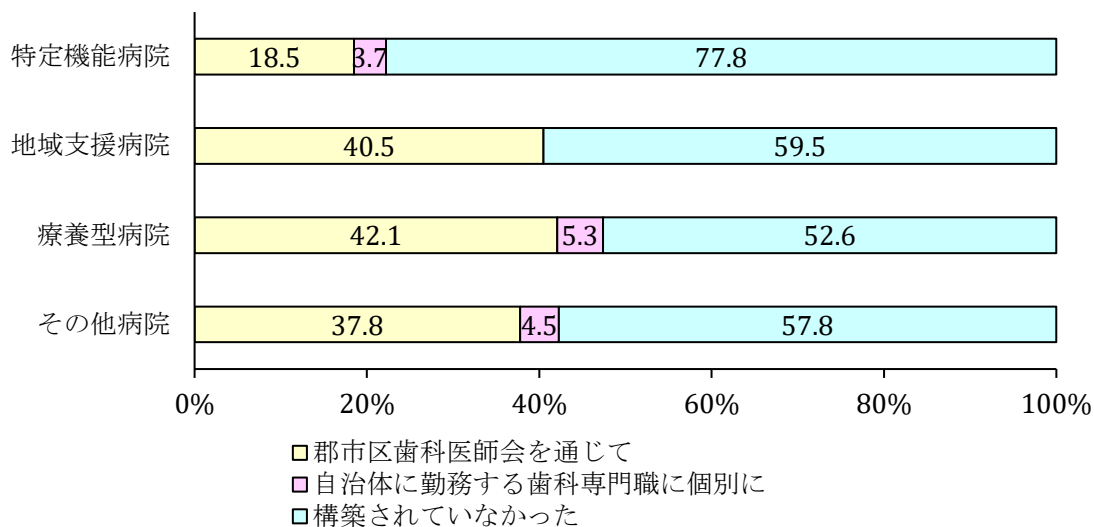


図 33 自治体との連携状況

情報共有した内容については、「院内感染対策」が 40%（特定機能病院）～60%（その他の病院）、「歯科医療提供体制」が 50～60%であった。「補助金」については、「特定機能病院」では 0%であったが、「療養型病院」、「その他病院」はそれぞれ 50.0%と 45.6%で比較的高い値であった。「PPE 供給・配布」は「特定機能病院」20%、「地域支援病院」「療養型病院」が約 30%、「その他病院」は 45%であった（図 34、表 22-2）。

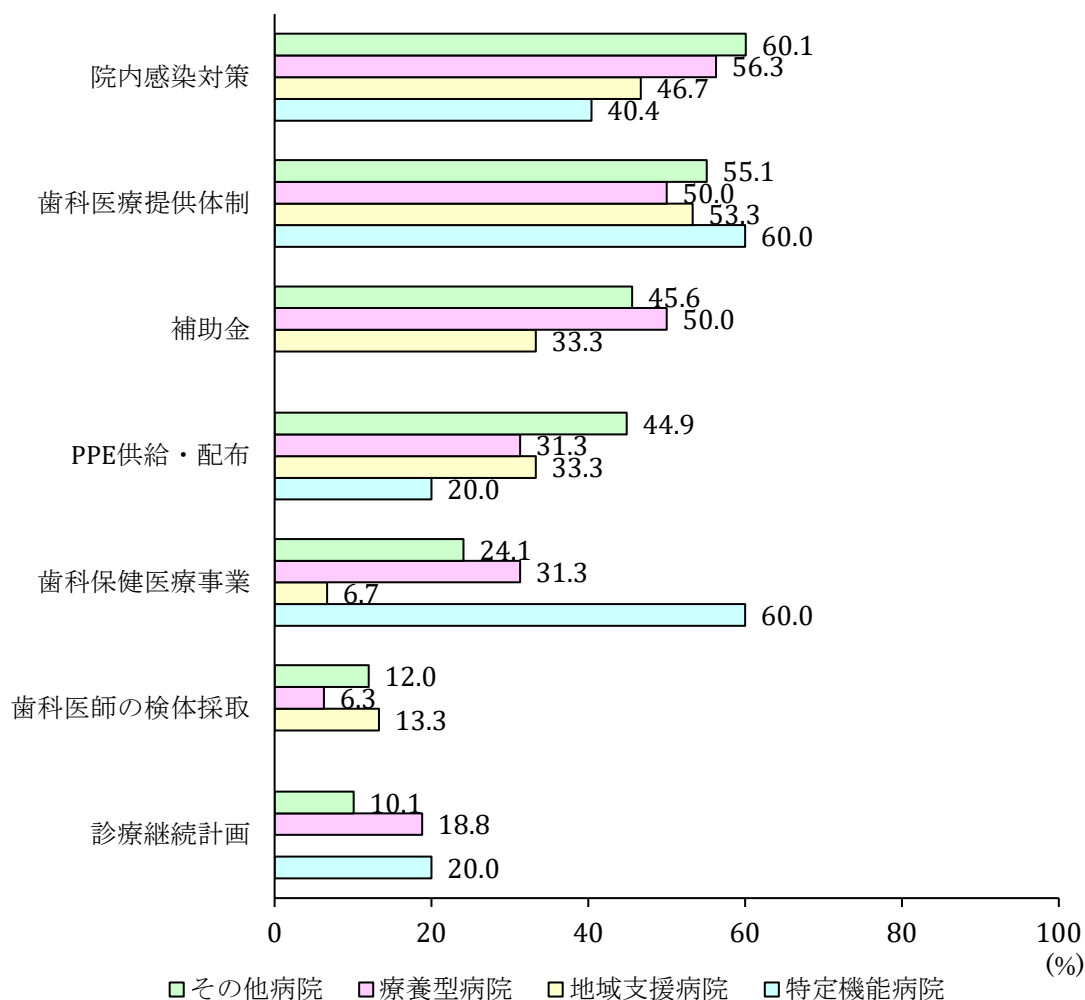


図 34 自治体との連携で情報共有した内容（複数回答）

1 3) BCP について

BCP の作成率は「特定機能病院」が 42.4%と最も高く、「地域支援病院」が 30.2%、「療養型病院」が 12.8%、「その他病院」が 22.4%であった（表 23-1）。BCP 初版の発行日は、令和 2 年 4 月から 6 月の間が最も多かった（表 23-2）。

BCP に歯科に関する内容が記載されている割合は、「特定機能病院」が 46.2%で最も高く、「療養型病院」が 20.0%で最も低い値であった（表 23-7）。

3. 「特定警戒都道府県」指定別分析

表番号は、別紙 2-2 に記載されている表番号と対応。

1) 調査対象と分析対象について

調査対象件数は「特定警戒都道府県」942 件（51.8%）、「それ以外の地区」876

件（48.2%）で、回答数は「特定警戒都道府県」が 305 件、「それ以外の地区」が 249 件、「不明」が 6 件で、回答率は 30.8%であった。調査対象件数と回答数間の分布に偏りは認められなかった（図 35、表 1）。

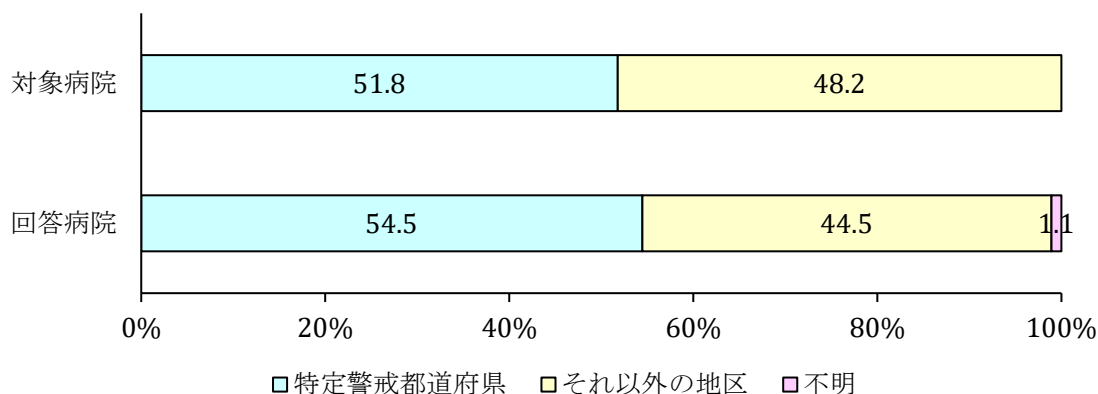


図 35 調査対象病院と回答病院の地区別割合

病院名に記載がなく分類不能であった「不明」6件は、分析対象外とした。

2) 診療体制について

「特定警戒都道府県」と「それ以外の地区」の届け出病床数区分の分布には大きな差は認められなかった（表 2）。「特定警戒都道府県」の 50.8%、「それ以外の地区」の 51.6%が「COVID-19 陽性患者受入指定」に指定されていた（表 3）。

「特定警戒都道府県」の歯科病床数（平均値 5.2 中央値 0.8）、歯科ユニット数（平均値 10.2 中央値 3.0）は、「それ以外の地区」の歯科病床数（平均値 2.9 中央値 0.0）、歯科ユニット数（平均値 6.5 中央値 3.0）よりも多かった（表 4）。歯科標榜診療科名については、「特定警戒都道府県」と「それ以外の地区」間に差は認められず、「歯科」と「歯科口腔外科」が 65%前後の病院で標榜されていた（表 5）。

学会認定研修施設については、「特定警戒都道府県」で 52.3%が認定されているのに対し、「それ以外の地区」では 39.3%に留まった（表 6）。

歯科医療従事者数については、どの職種も「特定警戒都道府県」の病院が多い傾向であった（表 7）。

「特定警戒都道府県」と「それ以外の地区」の診療内容には大きな差は認められなかった（表 8）。

3) COVID-19 陽性患者受け入れ数について

「特定警戒都道府県」が各期間において一人以上の COVID-19 陽性患者を受け入れた割合は、42.2%、41.3%、45.5%、「それ以外の地区」は、29.2%、31.7%、

32.6%であり、「特定警戒都道府県」での受け入れが約 10%程度高かったが、経時的な変化はどちらの地区でも認められなかった。50 人以上の COVID-19 陽性患者を受け入れていた割合は、「特定警戒都道府県」で 10.5~14.8%、「それ以外の地区」で 5.0~8.7%であった（表 9-1、表 9-2、表 9-3）。

COVID-19 陽性患者に一人以上の歯科介入を行った病院の割合は、各期間において、「特定警戒都道府県」が 12.4~17.7%、「それ以外の地区」が 0.8~3.0%と大きな差が認められた（図 36、図 37、図 38、表 9-1、表 9-2、表 9-3）。

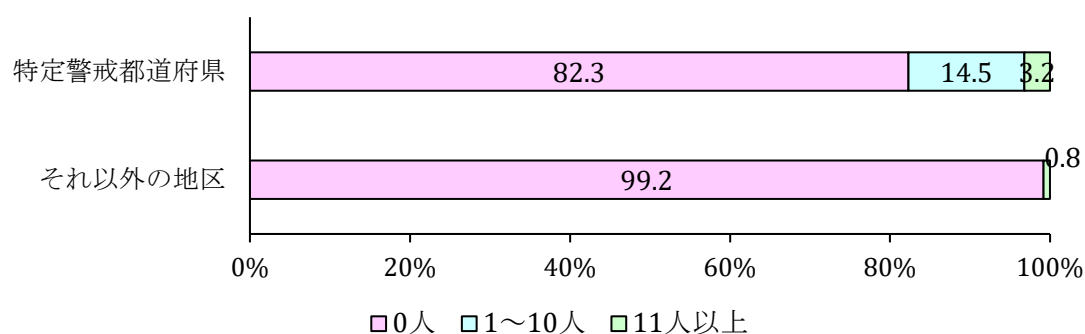


図 36 令和 2 年 4 月 5 月 COVID-19 陽性患者に対する歯科介入状況

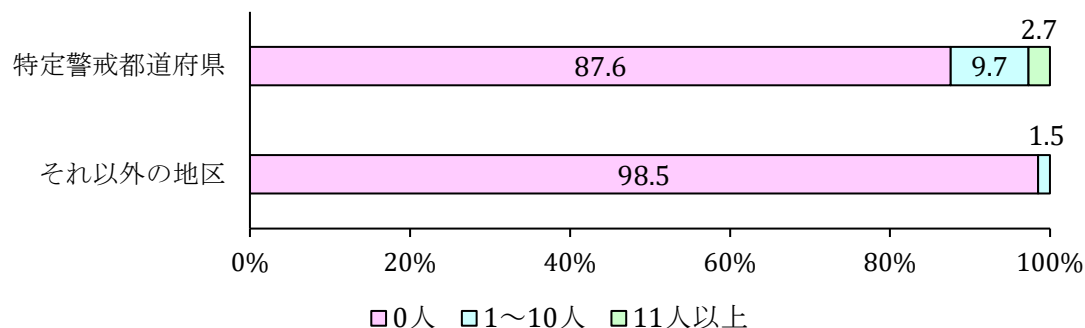


図 37 令和 2 年 6 月 7 月 COVID-19 陽性患者に対する歯科介入状況

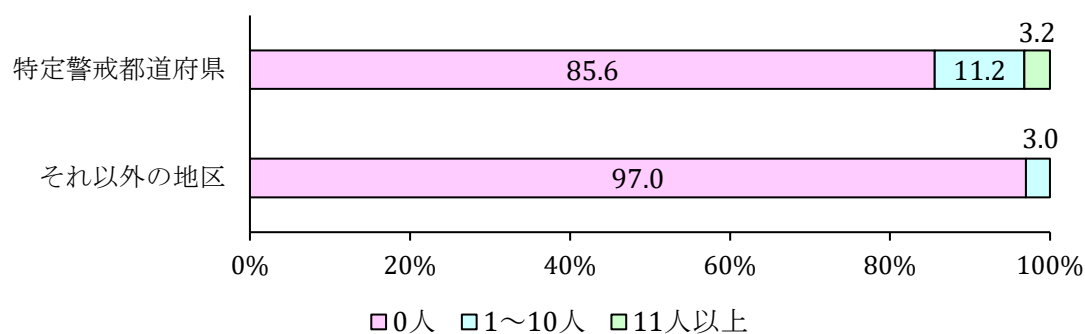


図 38 令和 2 年 8 月 9 月 COVID-19 陽性患者に対する歯科介入状況

4) COVID-19 感染疑い患者の歯科介入数について

COVID-19 感染が疑われる患者に対して一人以上の歯科介入を行った病院の割合は、令和2年4月5月、6月7月、8月9月の各期間において、「特定警戒都道府県」15.3～17.9%、「それ以外の地区」9.1～10.0%であった（表 10-1、表 10-1、表 10-3）。

5) 歯科診療状況について

令和2年4月5月の「患者数減少割合」が他の時期と比較して最も高く、その中央値は、「特定警戒都道府県」が3割の減少、「それ以外の地区」が2割の減少であった。そのうち患者からのキャンセルの割合は、「特定警戒都道府県」で2割、「それ以外の地区」で1割を占めた。令和2年6月7月、8月9月の各時期の患者減少割合は1割程度であった。「特別警戒都道府県」の令和2年4月5月、6月7月、「それ以外の地区」の令和2年4月5月の患者減少割合の最大値は10割であり、このことは歯科診療部門が閉診していた事を意味する（表 11-1-1、表 12-1-1、表 13-1-1）。患者が減少したと回答した病院の割合は、令和2年4月5月、6月7月において「特定警戒都道府県」が「それ以外の地区」と比較して10%以上高い値であった（図 39、図 40、図 41、表 11-1-2、表 12-1-2、表 13-1-2）。

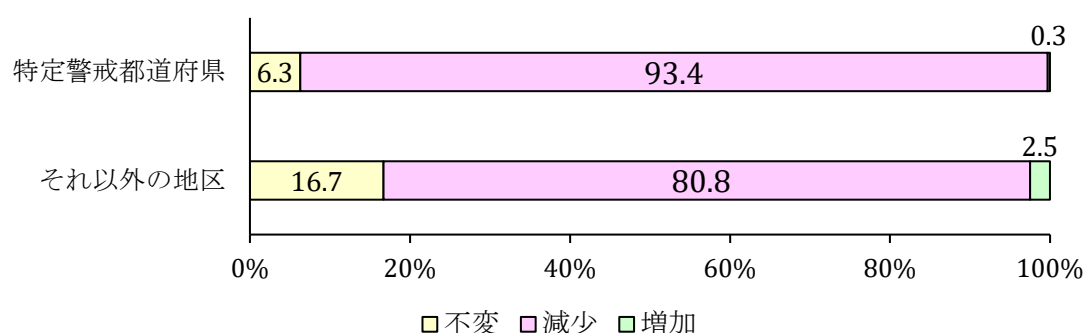


図 39 令和2年4月5月 患者数の増減割合

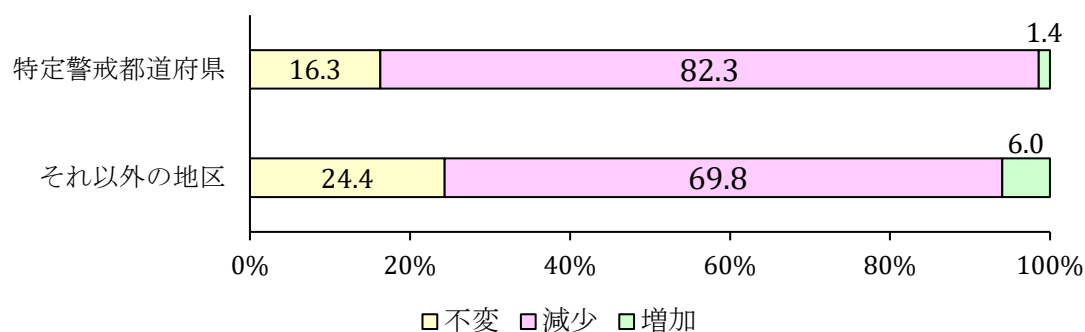


図 40 令和2年6月7月 患者数の増減割合

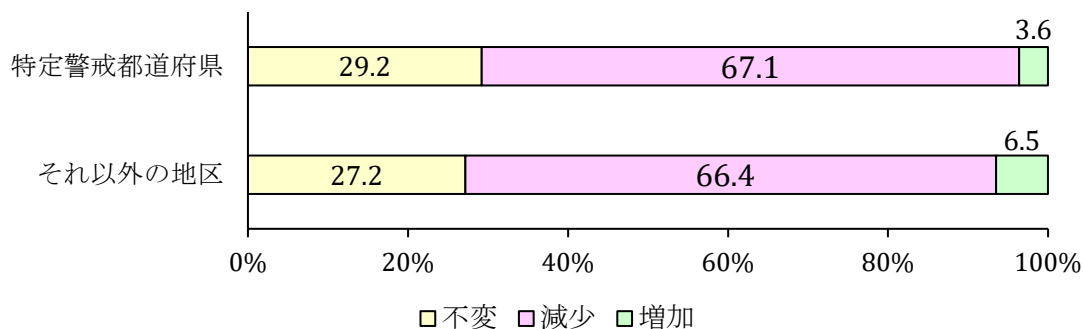


図 41 令和 2 年 8 月 9 月 患者数の増減割合

「診療稼働額減少割合」の中央値の最大値は「患者減少割合」の最大値と同様に、「特別警戒都道府県」の令和 2 年 4 月 5 月、6 月 7 月、「それ以外の地区」の令和 2 年 4 月 5 月において 10 割であった（表 11-2-1、表 12-2-1）。令和 2 年 4 月 5 月、6 月 7 月で診療稼働額が減少したと回答した病院の割合は、「特定警戒都道府県」が「それ以外の地区」と比較して 10%以上高い値であった（図 42、図 43、図 44、表 11-2-2、表 12-2-2、表 13-2-2）。

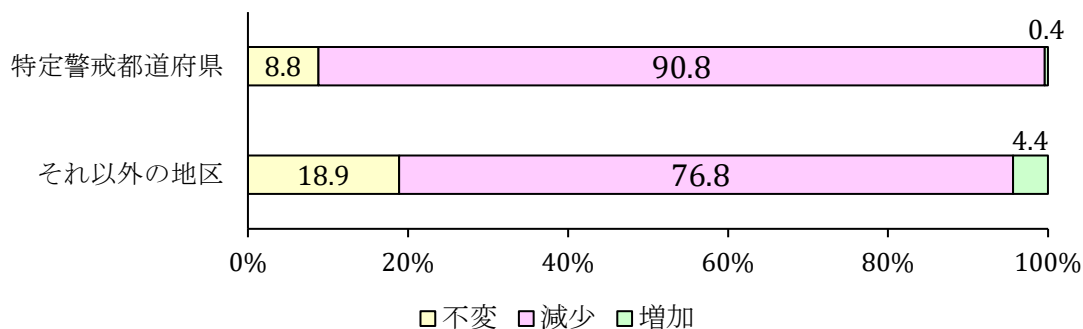


図 42 令和 2 年 4 月 5 月 診療稼働額の増減割合

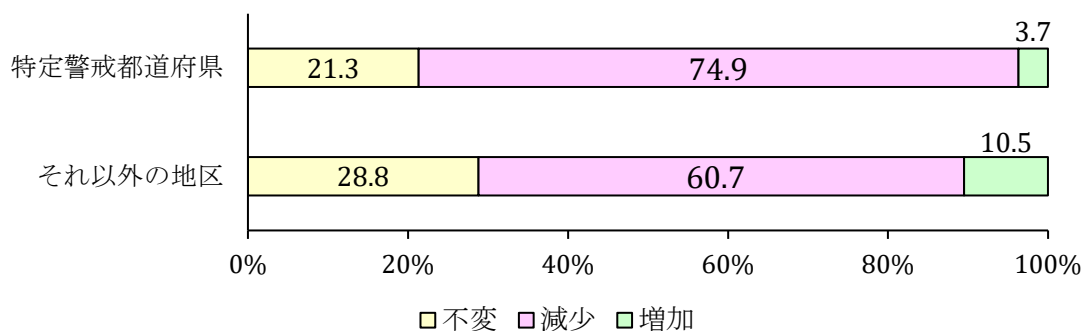


図 43 令和 2 年 6 月 7 月 診療稼働額の増減割合

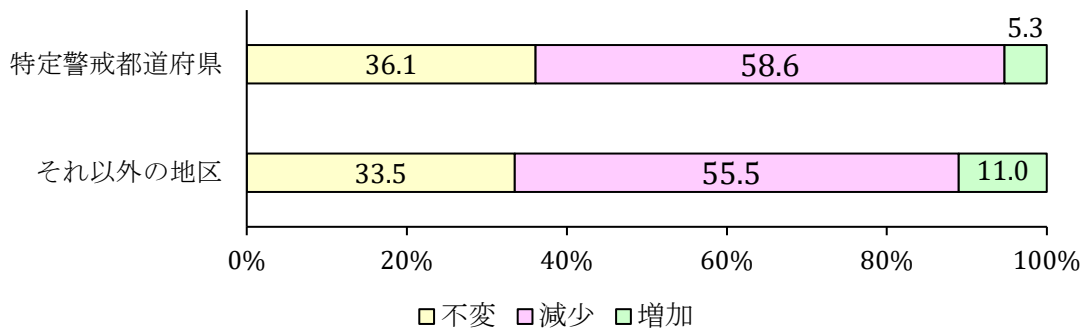


図 44 令和 2 年 8 月 9 月 診療稼働額の増減割合

6) 患者受診・処置等の制限（令和 2 年 4 月 5 月）について

制限したと回答した割合は、「特定警戒都道府県」77.3%、「それ以外の地区」84.4%で 2 群間に有意差が認められた（表 14-1）。2 群間の差が比較的大きかった制限内容は、「エアロゾルを発生しやすい装置の使用制限」と「観血的処置の制限」であった。「エアロゾルを発生しやすい装置の使用制限」と回答した割合は、「特定警戒都道府県」76.1%、「それ以外の地区」57.1%であった。「観血的処置の制限」と回答した割合は、「特定警戒都道府県」63.5%、「それ以外の地区」49.4%であった（図 45、表 14-2）。

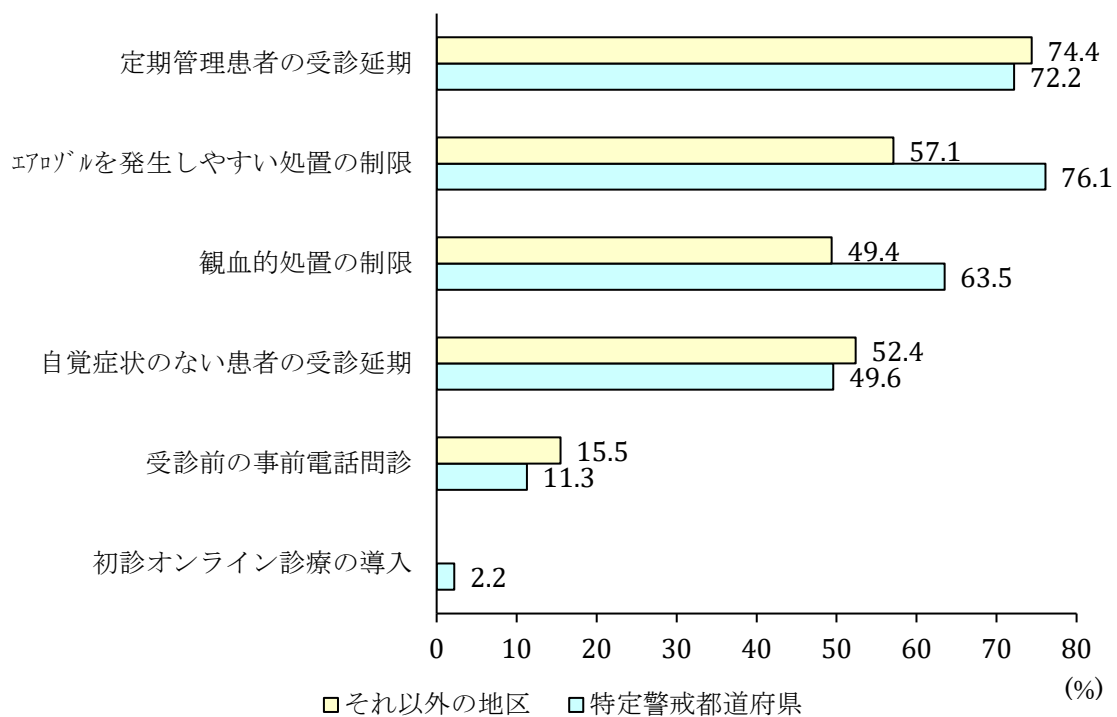


図 45 令和 2 年 4 月 5 月 患者受診・処置等の制限内容の割合（複数回答）

7) 感染対策（令和2年4月5月）について

① 患者に対する感染対策

2 群間の差が比較的大きかった対策内容は、「感染流行地域への滞在・海外渡航歴の確認」で、「特定警戒都道府県」74.8%、「それ以外の地区」87.8%であった（図46、表15）。

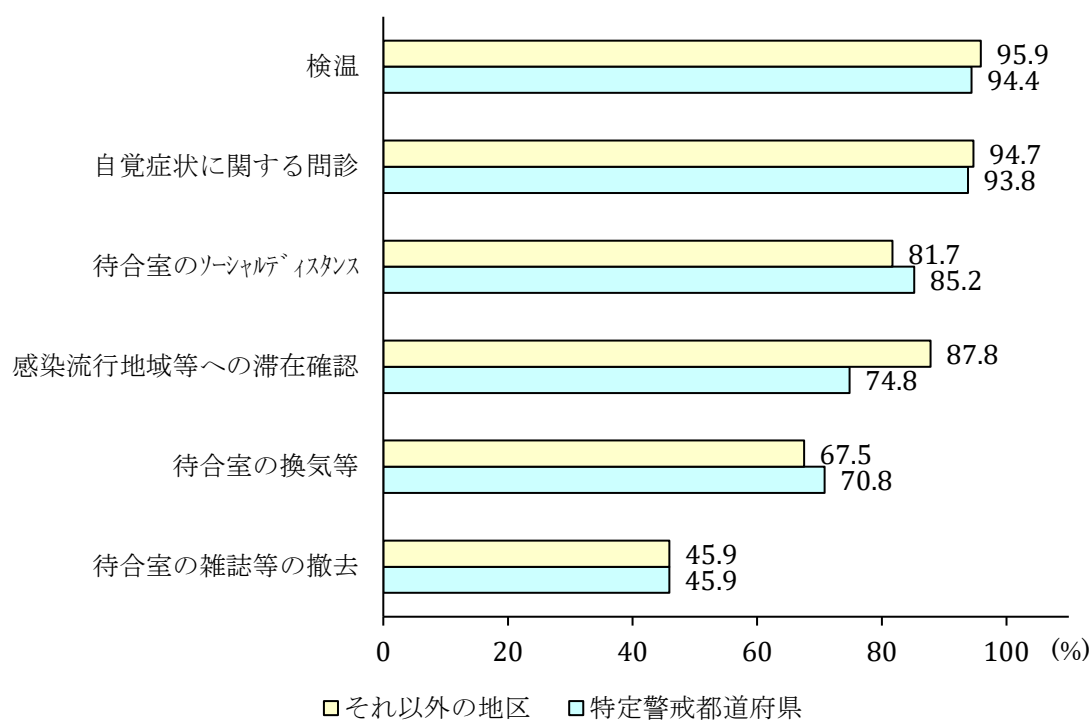


図46 令和2年4月5月 患者感染対策内容の割合（複数回答）

② スタッフに対する感染対策

2 群間の差が比較的大きかった対策内容は、「ディスプレイの着用」で、「特定警戒都道府県」73.3%、「それ以外の地区」64.9%であった（図47、表16）。

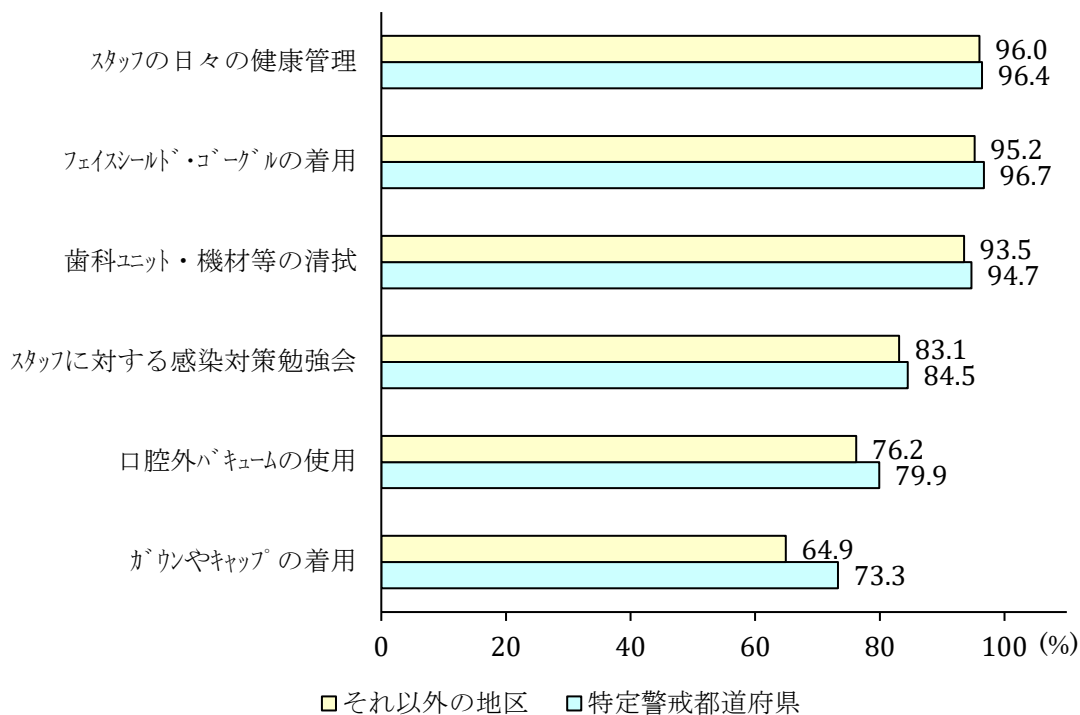


図 47 令和 2 年 4 月 5 日 スタッフ感染対策内容の割合（複数回答）

8) 令和 2 年の感染防御医療資源の充足状況について

「特定警戒都道府県」と「それ以外の地区」間で充足度が有意に異なった医療資源は、「マスク」「ガウン」「キャップ」で、「特定警戒都道府県」で「不足していた」と回答した割合は、それぞれ 74.7%、45.2%、31.6%で、「それ以外の地区」と比較して 10%以上不足の割合が高かった（図 48、図 49、図 50、表 17）。

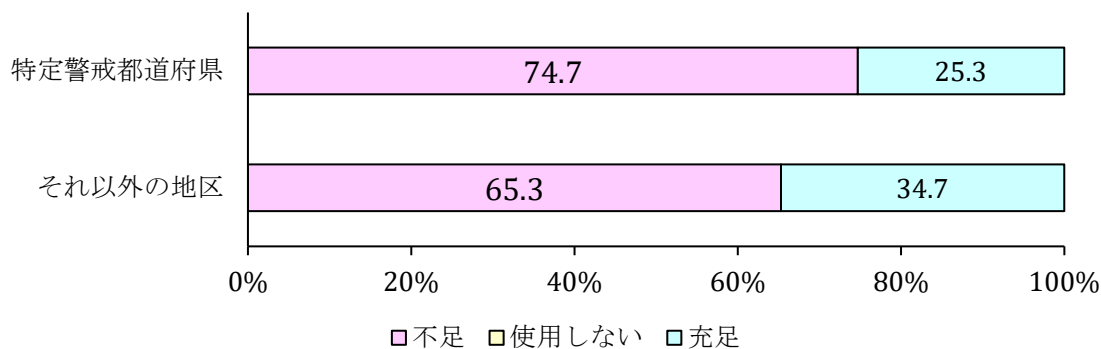


図 48 マスク充足状況の割合

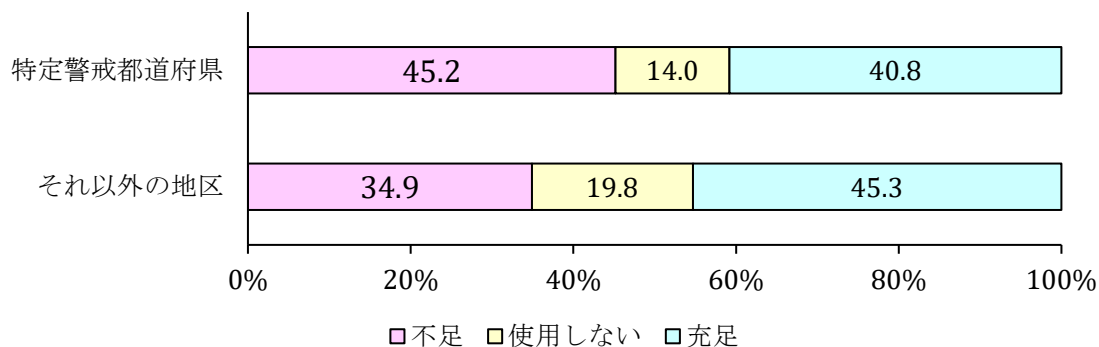


図 49 ガウン充足状況の割合

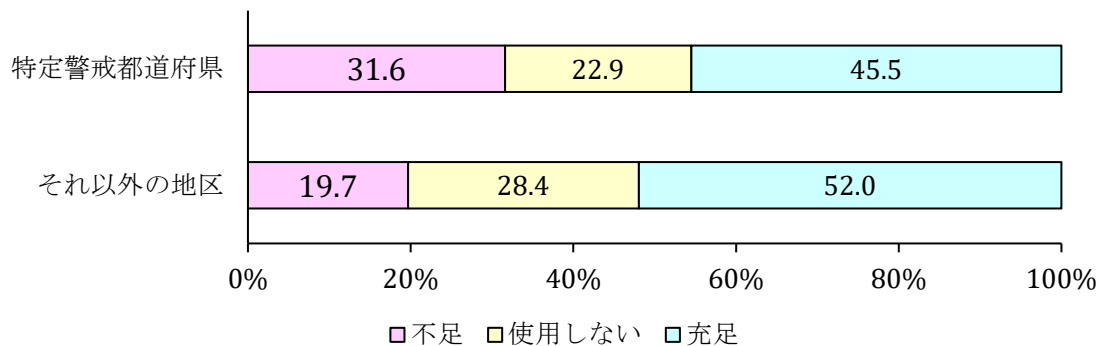


図 50 キャップ充足状況の割合

9) 歯科紹介患者数の減少割合について

紹介患者数の減少割合は、「特定警戒都道府県」で高く、その中央値は、令和 2 年 4 月 5 月で 2.1 割、6 月 7 月で 1 割であり、経時的に減少割合の値は減少していた（表 19-1-1、表 19-2-1、表 19-3-1）。紹介患者数が減少したと回答した病院の割合は、令和 2 年 4 月 5 月、6 月 7 月の「特定警戒都道府県」において、72.9%、66.1%で「それ以外の地区」と比較して約 20%高い値であった（表 19-1-2、表 19-2-2）。紹介患者が増加した病院は、「特定警戒都道府県」で令和 2 年 4 月 5 月が 0 病院（0.0%）、6 月 7 月が 4 病院（1.7%）、8 月 9 月が 6 病院（2.6%）、「それ以外の地区」で令和 2 年 4 月 5 月が 9 病院（4.5%）、6 月 7 月が 15 病院（7.5%）、8 月 9 月が 18 病院（9.1%）であった（図 51、図 52、図 53、表 19-1-2、表 19-2-2、表 19-3-2）。

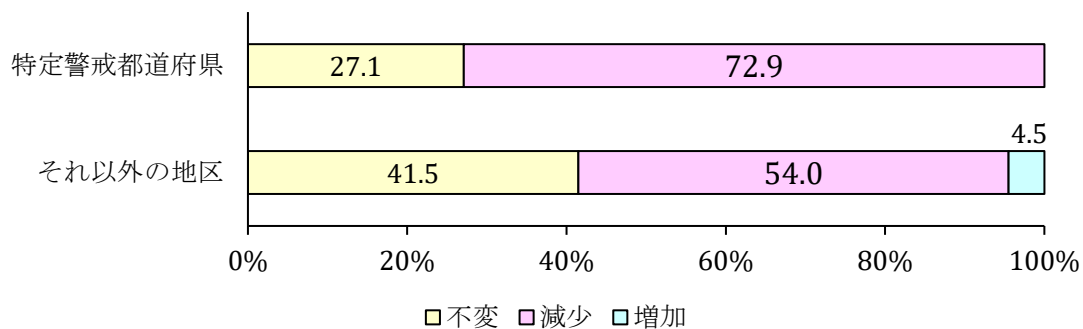


図 51 令和 2 年 4 月 5 月 紹介患者の増減割合

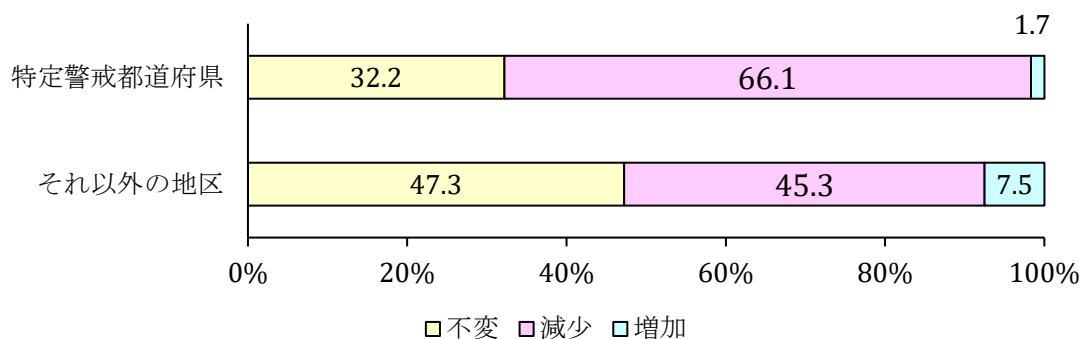


図 52 令和 2 年 6 月 7 月 紹介患者の増減割合

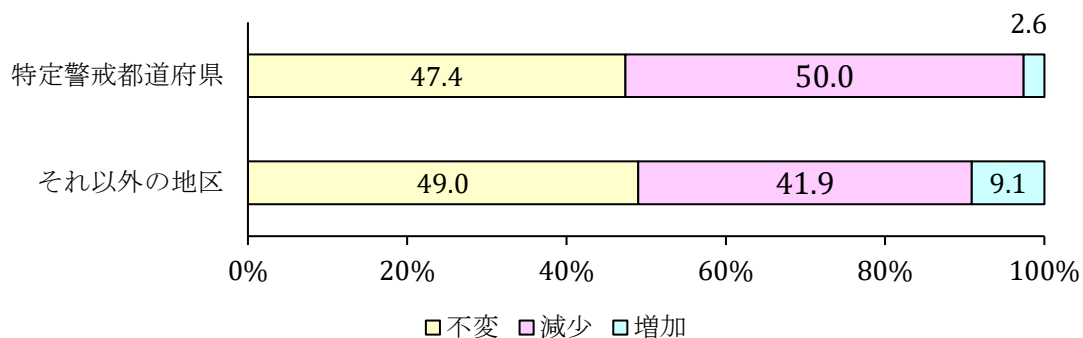


図 53 令和 2 年 8 月 9 月 紹介患者の増減割合

1 0) 歯科診療所および歯科医師会との連絡会議開催状況について

「定期的で開催していた」と「不定期で開催していた」を併せた割合は、「特定警戒都道府県」が 39.7%、「それ以外の地区」が 43.6%であった（表 20-1）。

1 1) COVID-19に関する連絡会議（情報共有体制）について

「開催した」と回答した割合は、「特定警戒都道府県」が 35.4%、「それ以外の地区」が 35.6%であった（表 21-1）。情報共有した内容で高い割合の項目は、

「院内感染対策」（特定警戒都道府県 73.4%、それ以外の地区 74.0%）と「歯科医療提供体制」（特定警戒都道府県 75.5%、それ以外の地区 62.3%）であった（図 54、表 21-3）。

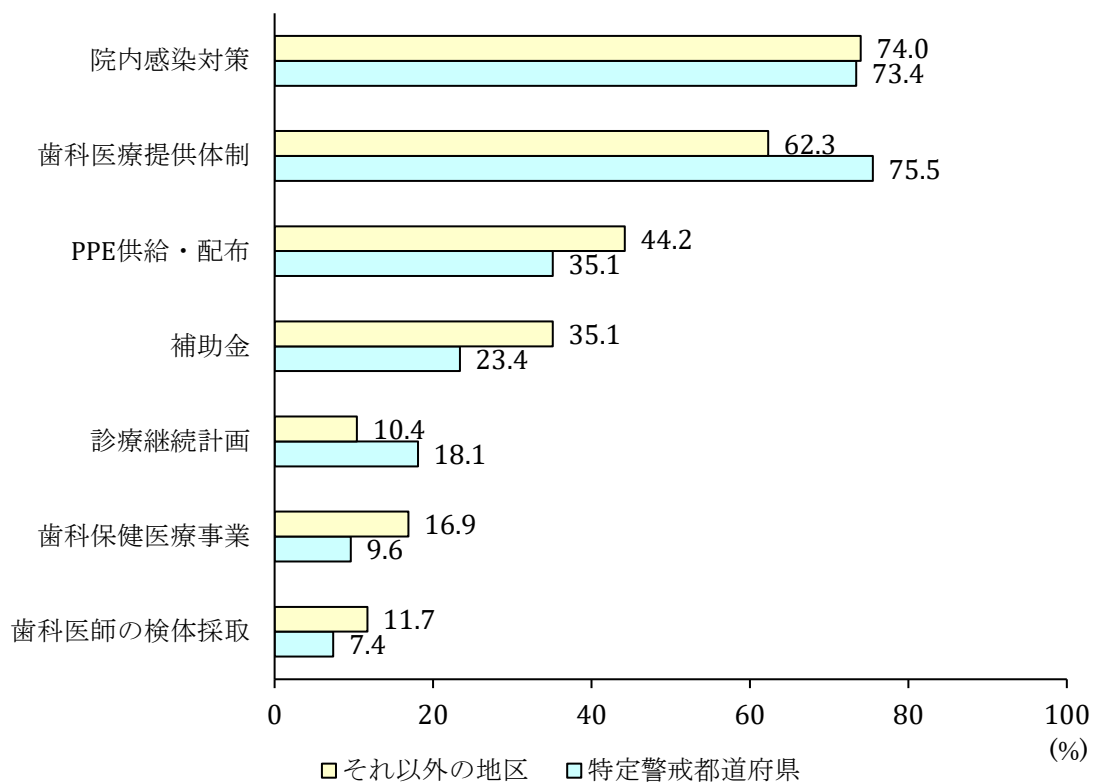


図 54 COVID-19 に関する連絡会議で情報共有した内容（複数回答）

1 2) 自治体との連携について

「郡市区歯科医師会を通じて行なっていた」と回答した割合が、「特定警戒都道府県」33.1%と比較して、「それ以外の地区」が 42.4%と高かったが、全体で 44.1%の病院しか自治体との連携を行っていなかった（図 55、表 22-1）。

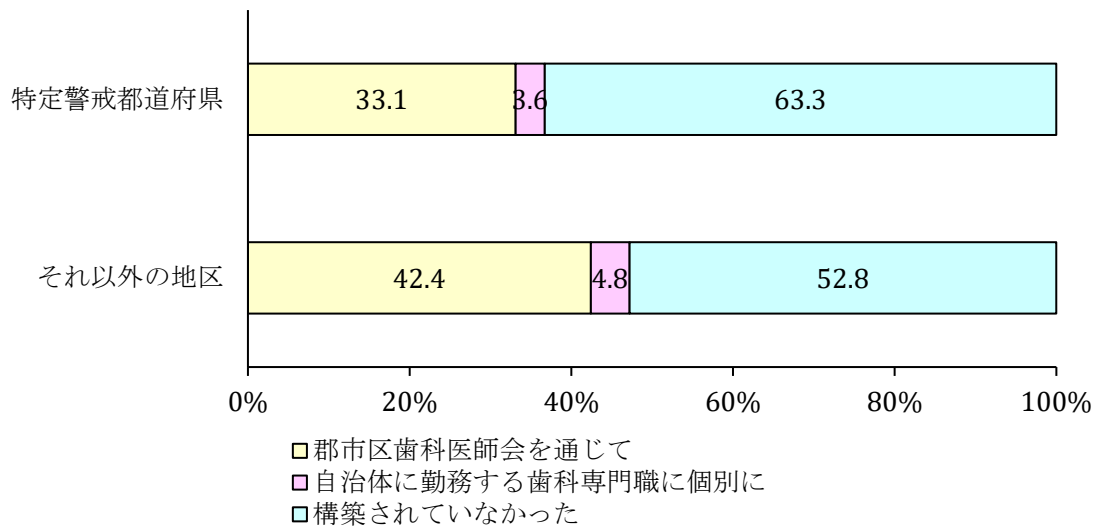


図 55 自治体との連携状況

情報共有の内容は、「特定警戒都道府県」と「それ以外の地区」間で大きな差は認められなかったが、「院内感染対策」と「歯科医療提供体制」の割合が 50%以上で高かった（図 56、表 22-2）。

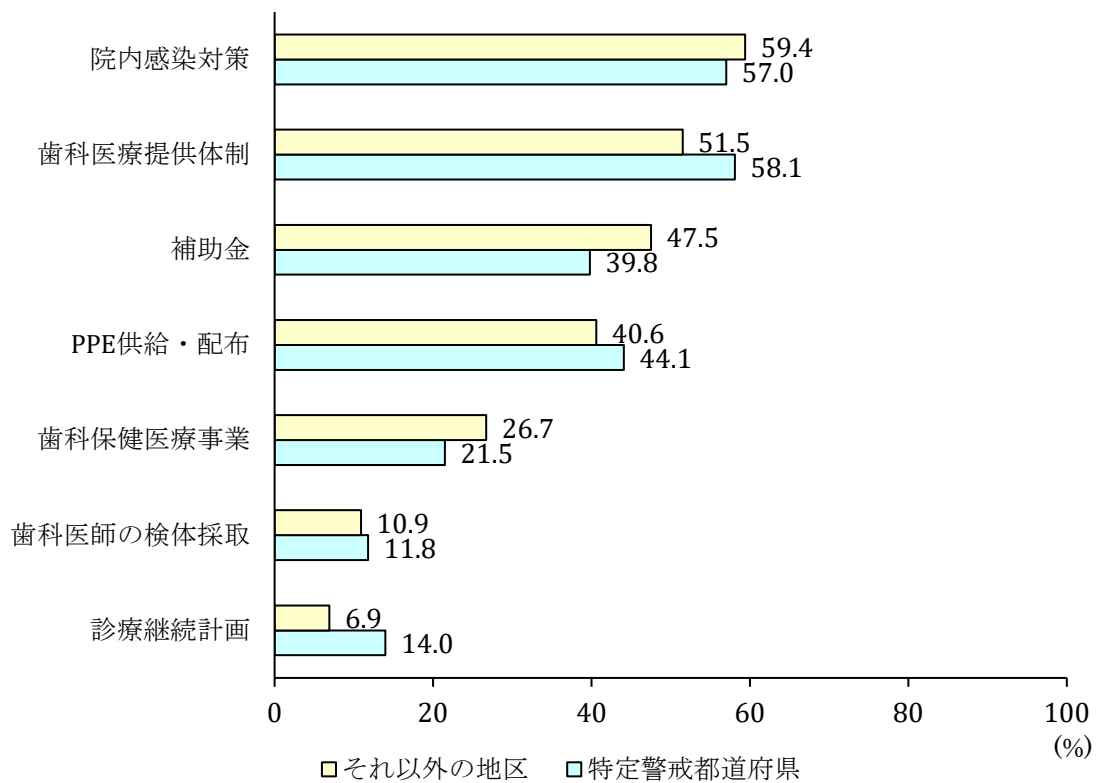


図 56 自治体との連携で情報共有した内容（複数回答）

1 3) BCPについて

BCP の作成率は、「特定警戒都道府県」(22.2%)と「それ以外の地区」(25.2%)で差は認められなかった(表 23-1)。BCP に歯科に関する内容が記載されている割合は、「特定警戒都道府県」35.7%、「それ以外の地区」44.0%であった(表 23-7)。

4. COVID-19 陽性患者受入指定病院別分析

表番号は、別紙 2-3 に記載されている表番号と対応。

1) 分析対象について

回答病院(560 病院)のうち、「COVID-19 陽性患者受入」に指定されている病院は 280 病院(50.0%)、「それ以外の病院」は 269 病院(48.0%)、無回答の病院は 11 病院(2.0%)であった。無回答の 11 病院を除いた 549 病院を分析対象とした(図 57、表 1)。

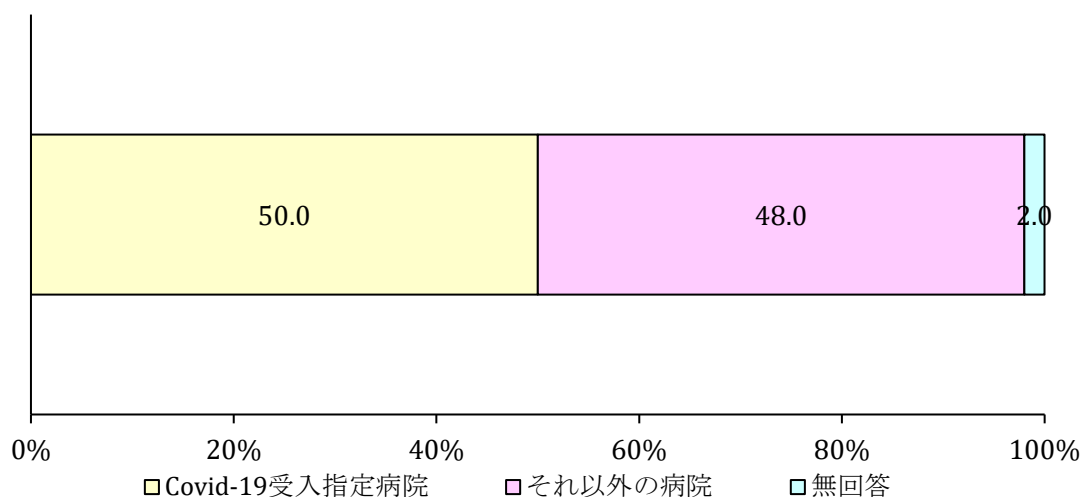


図 57 COVID-19 受入指定病院とそれ以外の病院の割合

「COVID-19 陽性患者受入指定」の 54.3%、「それ以外の病院」の 54.6%が特定警戒都道府県に所在しており、両群間の分布に有意な偏りは認められなかった(表 3)。

2) 診療体制について

「COVID-19 陽性患者受入指定病院」の届け出病床数(病床数区分中央値: 400-499床)は、「それ以外の病院」(病床数区分中央値: 100-199床)より多かった(表 2)。歯科病床数は「COVID-19 陽性患者受入指定病院」において多い傾向が

認められた（歯科病床数：COVID-19 陽性患者受入指定病院の平均値 4.5 中央値 3.0、それ以外の病院の平均値 3.5 中央値 0.0）。歯科ユニット数は、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」の平均値 6.5 中央値 4.0、「それ以外の病院」の平均値 10.8 中央値 3.0で、「それ以外の病院」において、ばらつきが認められた（表 4）。歯科標榜診療科は「COVID-19 陽性患者受入指定病院」の 83.2%が歯科口腔外科を標榜していたのに対し、「それ以外の病院」は 49.3%であった（表 5）。

「COVID-19 陽性患者受入指定病院」の 64.3% が学会認定研修施設に認定されているのに対し、「それ以外の病院」では 26.9% で有意差が認められた（表 6）。診療内容について、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」と「それ以外の病院」で違いが大きかった項目は、口腔外科手術（85.2% vs 48.9%）、周術期口腔機能管理（92.4% vs 54.2%）、訪問歯科診療（10.5% vs 31.4%）であった（表 8）。

3) COVID-19 陽性患者受け入れ数について

令 2 年 4 月 5 月、6 月 7 月、8 月 9 月の各期間、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」が一人以上の陽性患者を受入れた割合は、67.5%、68.9%、73.6%であったのに対し、「それ以外の病院」は、5.8%、5.0%、5.4%と大きな差が認められた。また、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」において、100 人以上の COVID-19 陽性患者を受け入れた割合は、各期間 12.5%、7.9%、13.8%であった（表 9-1、表 9-2、表 9-3）。

COVID-19 陽性患者に一人以上の歯科介入を行った病院の割合は、令 2 年 4 月 5 月、6 月 7 月、8 月 9 月を通して、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」では、10.2~14.4%で、「それ以外の病院」では約 4%であった（図 58、図 59、図 60、表 9-1、表 9-2、表 9-3）。

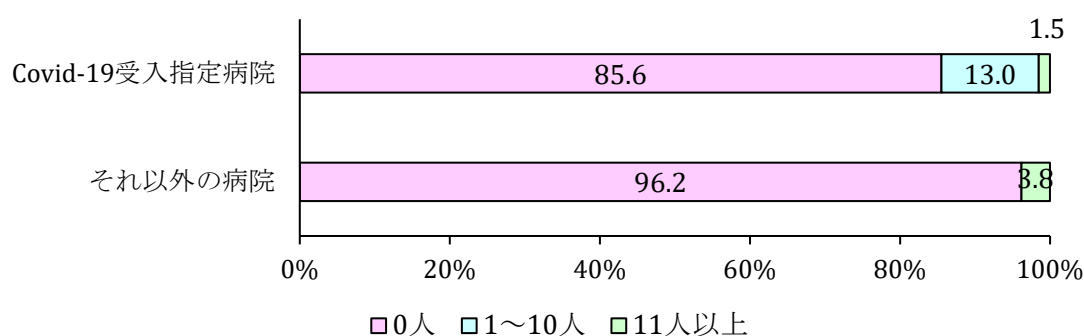


図 58 令和 2 年 4 月 5 月 COVID-19 陽性患者に対する歯科介入状況

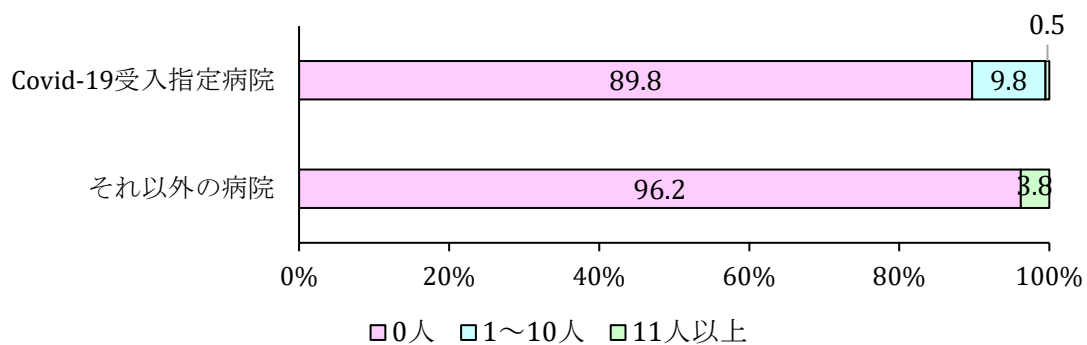


図 59 令和 2 年 6 月 7 月 COVID-19 陽性患者に対する歯科介入状況

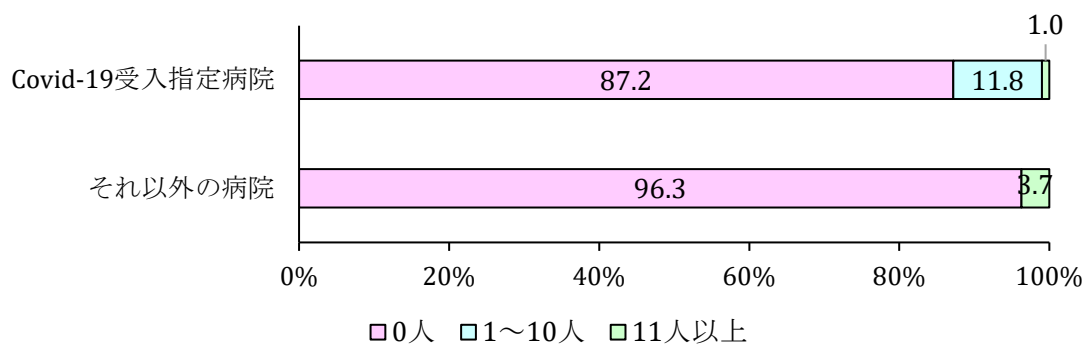


図 60 令和 2 年 8 月 9 月 COVID-19 陽性患者に対する歯科介入状況

4) COVID-19 感染疑い患者の歯科介入数について

COVID-19 感染疑い患者に一人以上の歯科介入を行った病院の割合は、令 2 年 4 月 5 月、6 月 7 月、8 月 9 月を通して、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」で 20.1~21.6%、「それ以外の病院」で 5.3~6.8%と、いずれも「COVID-19 陽性患者受入指定病院」において高い割合を示した（表 10-1、表 10-2、表 10-3）。

5) 歯科診療状況について

「患者数減少割合」の中央値は、令和 2 年 4 月 5 月が最も高く、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」において 3 割の減少、「それ以外の病院」において 2 割の減少であったが、6 月 7 月、8 月 9 月はいずれの病院も 1 割の減少であった（表 11-1-1、表 12-1-1、表 13-1-1）。患者数が減少したと回答した病院の割合は、各期間「COVID-19 陽性患者受入指定病院」が、92.0%、81.4%、70.5%、「それ以外の病院」が、83.5%、71.8%、62.4%であり、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」が約 10%を高い値を示した（図 61、図 62、図 63、表 11-1-2、表 12-1-2、表 13-1-2）。

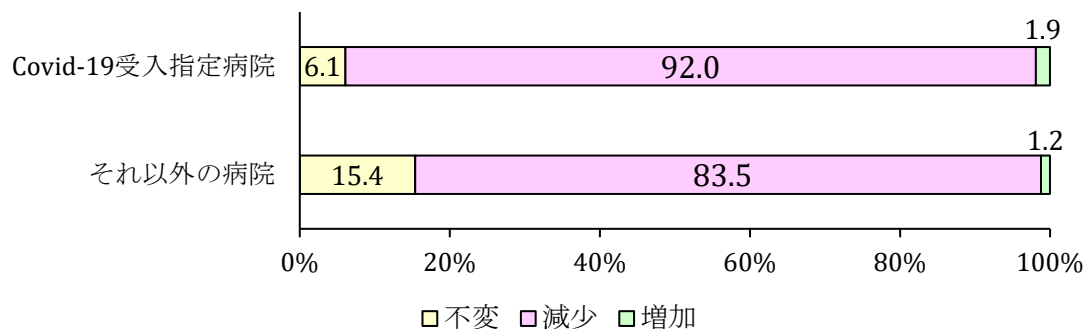


図 61 令和 2 年 4 月 5 月 患者数の増減割合

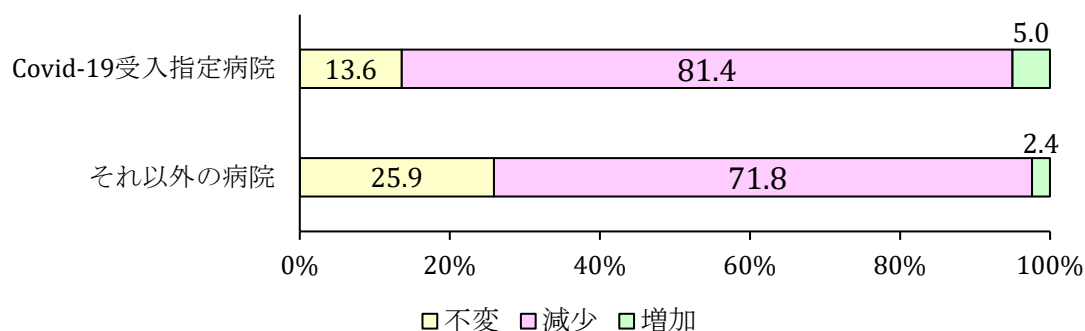


図 62 令和 2 年 6 月 7 月 患者数の増減割合

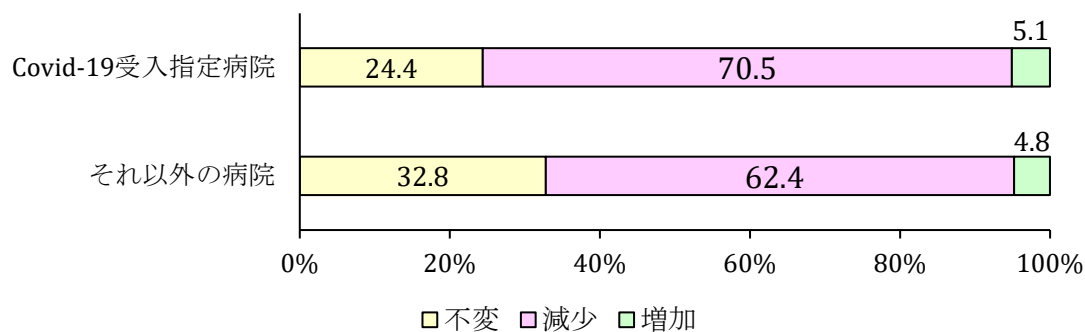


図 63 令和 2 年 8 月 9 月 患者数の増減割合

令和 2 年 4 月 5 月の「診療稼働額減少割合」は、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」で 2.7 割、「それ以外の病院」で 2 割の減少であったが、6 月 7 月、8 月 9 月は経時的に減少割合の値は低下した（表 11-2-1、表 12-2-1、表 13-2-1）。診療稼働額が減少したと回答した病院の割合は、各期間「COVID-19 陽性患者受入指定病院」が 88.7%、71.9%、60.1%、「それ以外の病院」が 80.6%、64.4%、52.5%で、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」が約 8%高い値を示した（表 11-

2-2、表 12-2-2、表 13-2-2)。一方、診療稼働額が増加したと回答した「COVID-19 陽性患者受入指定病院」の割合は 2.0%、7.9%、8.8%、「それ以外の病院」は 2.4%、6.3%、7.1%であった（図 64、図 65、図 66、表 11-2-2、表 12-2-2、表 13-2-2）。

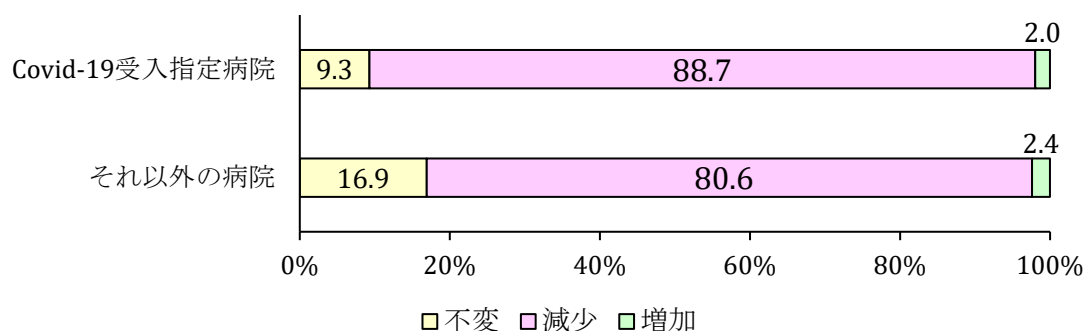


図 64 令和 2 年 4 月 5 月 診療稼働額の増減割合

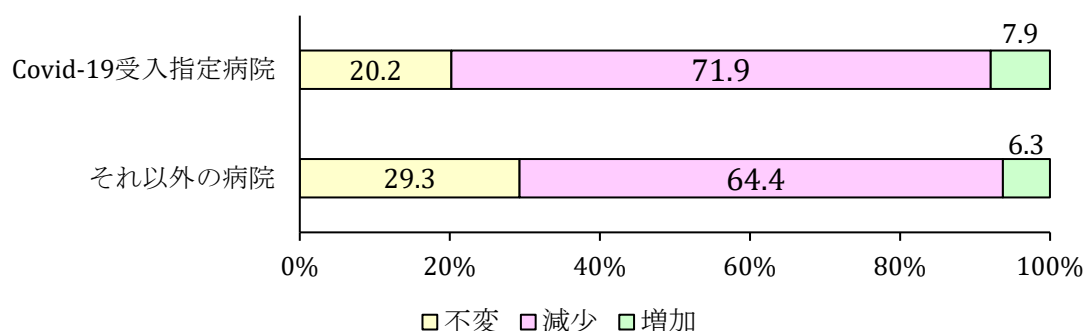


図 65 令和 2 年 6 月 7 月 診療稼働額の増減割合

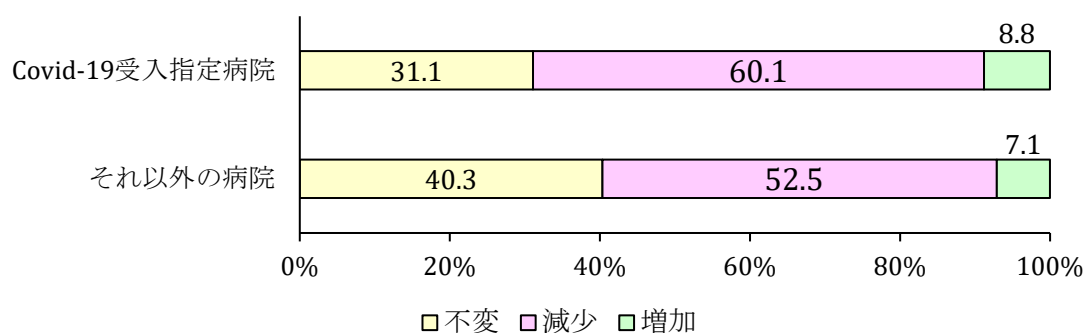


図 66 令和 2 年 8 月 9 月 診療稼働額の増減割合

6) 患者受診・処置等の制限（令和 2 年 4 月 5 月）について

制限したと回答した割合は、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」78.9%、「そ

れ以外の病院」68.7%で、2群間に有意差が認められた（表14-1）。2群間の差が比較的大きかった制限内容は、「エアロゾルを発生しやすい装置の使用制限」と「観血的処置の制限」であった。「エアロゾルを発生しやすい装置の使用制限」と回答した割合は、「COVID-19陽性患者受入指定病院」73.1%、「それ以外の病院」60.8%であった。「観血的処置の制限」と回答した割合は、「COVID-19陽性患者受入指定病院」69.4%、「それ以外の病院」43.6%であった（図67、表14-2）。

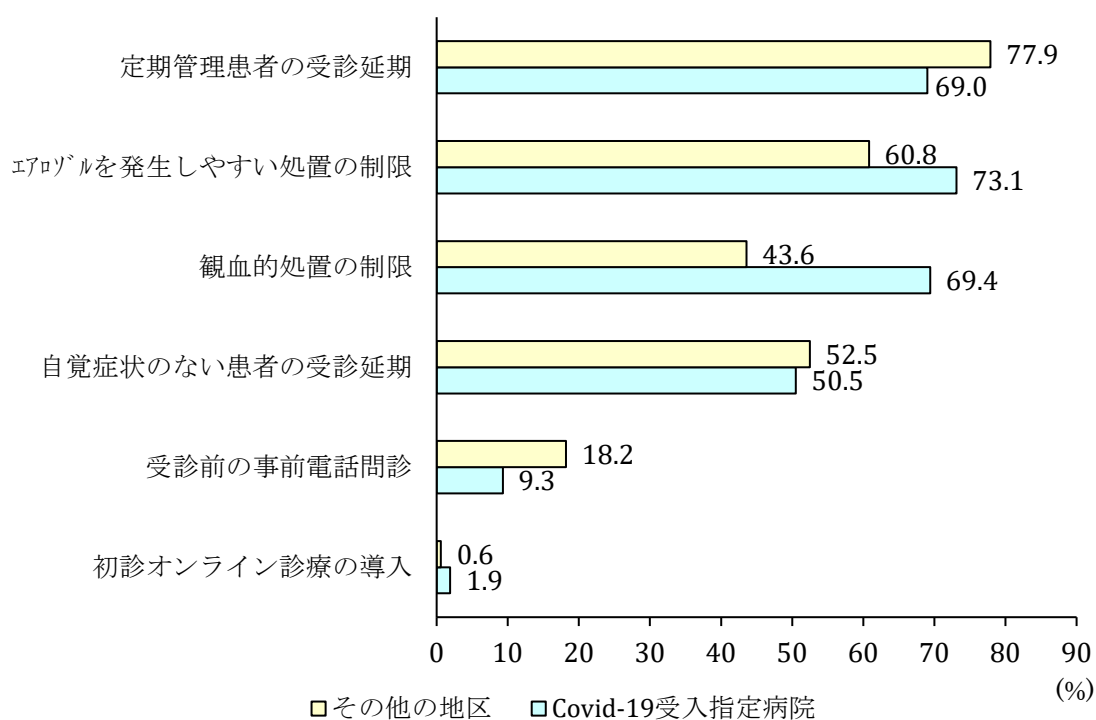


図67 令和2年4月5月 患者受診・処置等の制限内容の割合（複数回答）

7) 感染対策（令和2年4月5月）について

① 患者に対する感染対策

2群間の差が比較的大きかった対策内容は、「感染流行地域への滞在・海外渡航歴の確認」と「待合室の換気や空気清浄機の設置」であった。「感染流行地域への滞在・海外渡航歴の確認」と回答した割合は、「COVID-19陽性患者受入指定病院」85.6%が「それ以外の病院」74.6%よりも高かった。「待合室の換気や空気清浄機の設置」と回答した割合は、「それ以外の病院」75.0%が「COVID-19陽性患者受入指定病院」62.9%よりも高かった（図68、表15）。

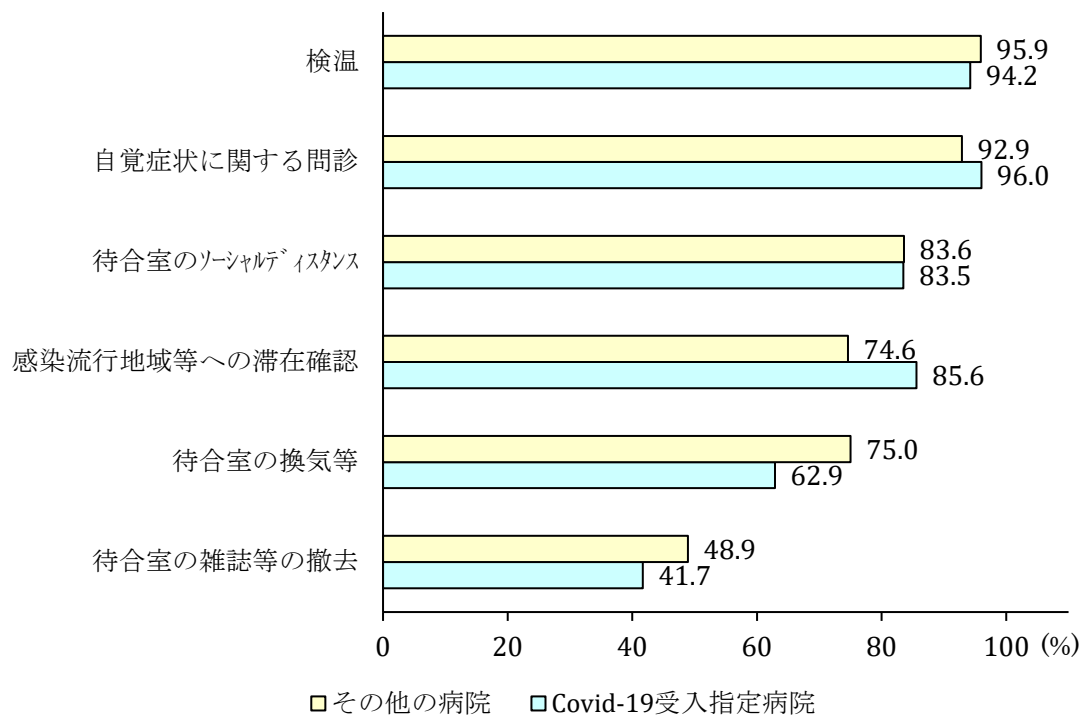


図 68 令和 2 年 4 月 5 月 患者感染対策内容の割合（複数回答）

② スタッフに対する感染対策

2 群間の差が比較的大きかった対策内容は、「口腔外バキュームの使用」と「ディスポーザブルのガウンやキャップの着用」であった。「口腔外バキュームの使用」と回答した割合は、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」84.3%、「それ以外の病院」72.9%であった。「ディスポーザブルのガウンやキャップの着用」と回答した割合は、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」77.9%、「それ以外の病院」60.9%であった（図 69、表 16）。

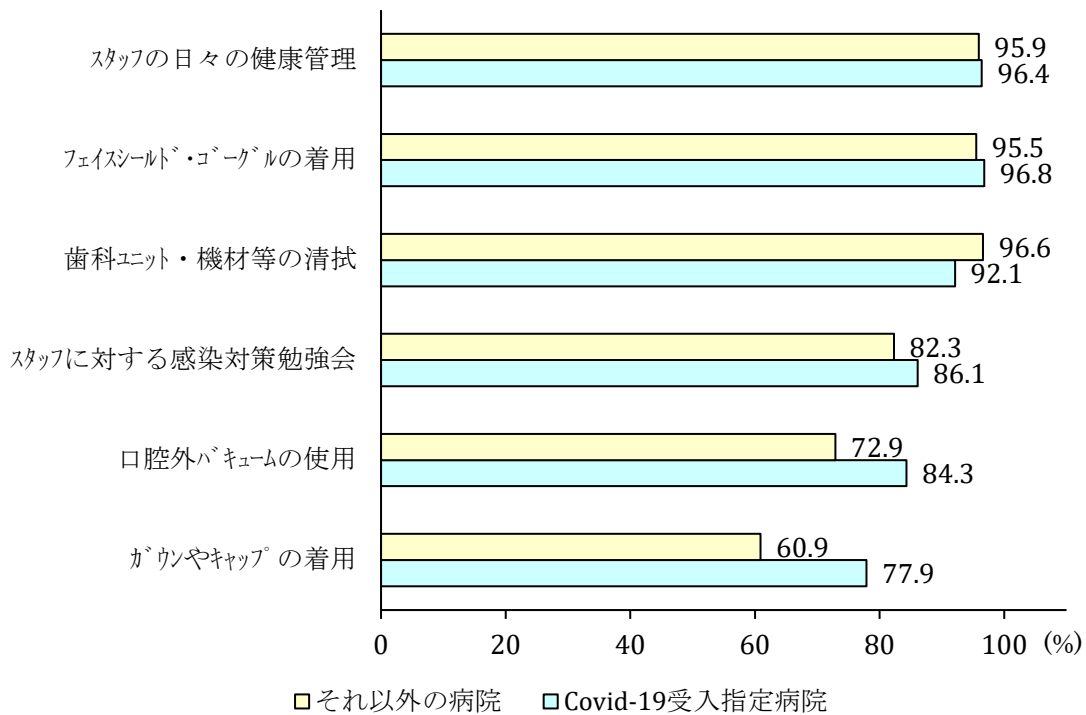


図 69 令和 2 年 4 月 5 月 スタッフ感染対策内容の割合（複数回答）

8) 令和 2 年の感染防御医療資源の充足状況について

「COVID-19 陽性患者受入指定病院」と「それ以外の病院」間で有意に充足状況が異なった医療資源は、「N95 マスク」「グローブ」「ゴーグル」「ガウン」「キャップ」で、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」で「不足していた」と回答した割合は、それぞれ 45.3%、34.2%、24.9%、47.8%、30.3%であり、「グローブ」以外は「COVID-19 陽性患者受入指定病院」が有意に不足しており、「グローブ」は「それ以外の病院」が有意に不足（45.8%）していた（図 70、図 71、図 72、図 73、図 74、表 17）。

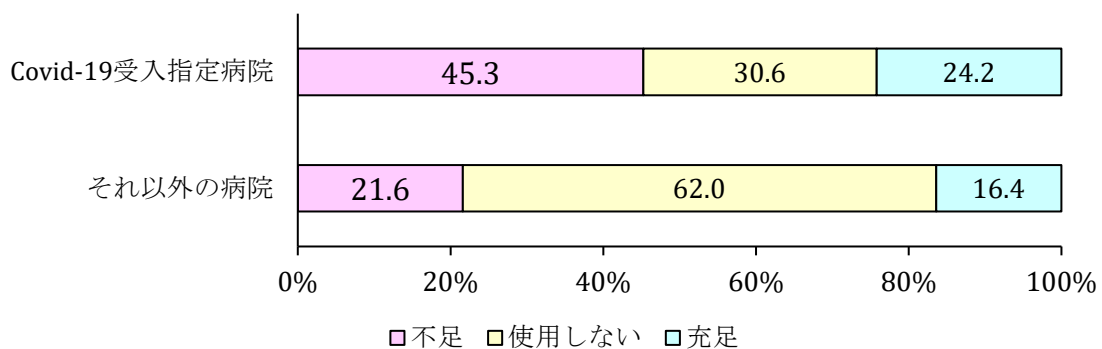


図 70 N95 マスクの充足状況割合

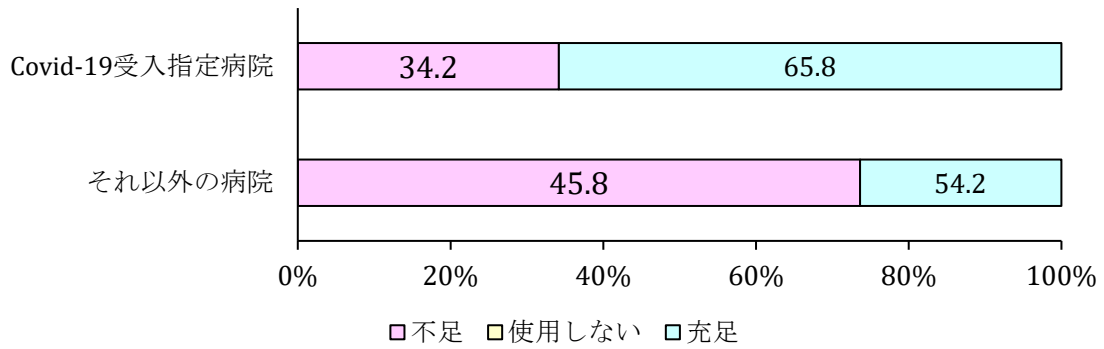


図 71 グローブの充足状況割合

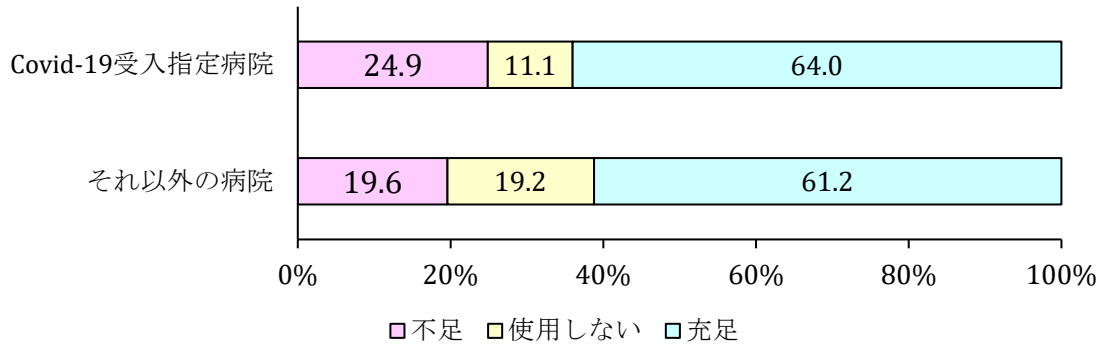


図 72 ゴーグルの充足状況割合

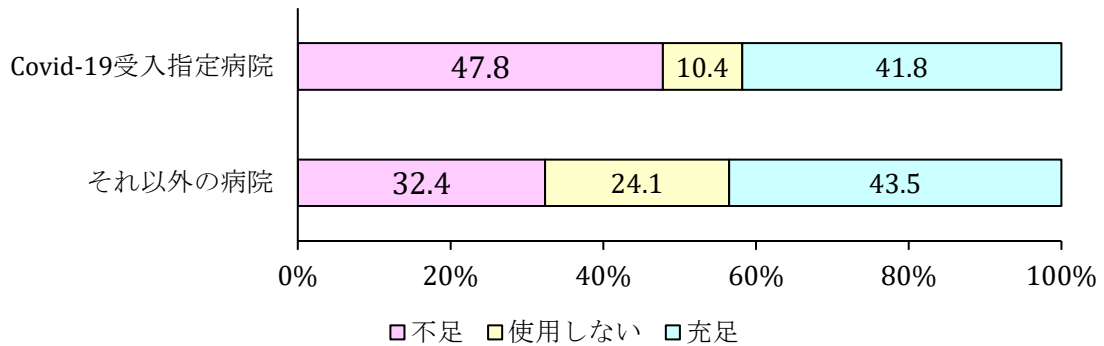


図 73 ガウンの充足状況割合

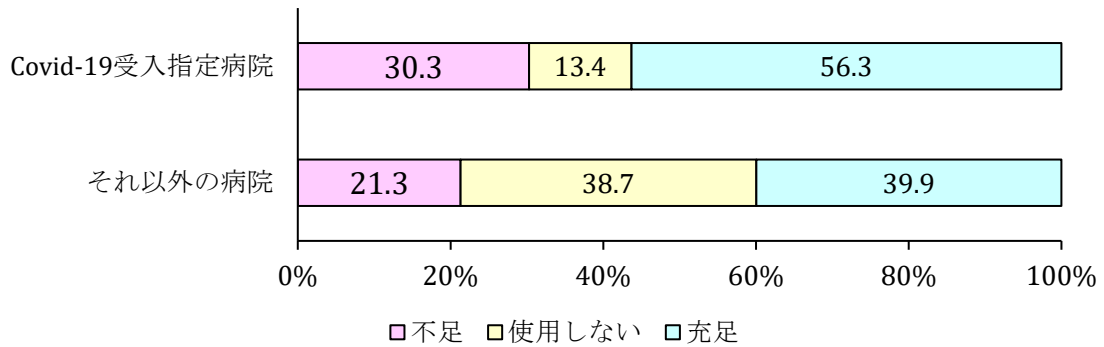


図 74 キャップの充足状況割合

9) 歯科紹介患者数の減少割合について

紹介患者数の減少割合は、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」で高く、その中央値は、令和 2 年 4 月 5 月で 2.2 割減、6 月 7 月、8 月 9 月は 1 割減であった（表 19-1-1、表 19-2-1、表 19-3-1）。紹介患者が減少したと回答した病院の割合は、各期間「COVID-19 陽性患者受入指定病院」が 78.8%、68.7%、57.3%、「それ以外の病院」が 47.5%、42.3%、33.3%で、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」が 25～30%高い割合であった（表 19-1-2、表 19-2-2、表 19-3-2）。紹介患者が増加した病院は、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」が、2.6%、4.3%、7.5%、「それ以外の病院」が 1.5%、4.5%、3.5%であった（図 75、図 76、図 77、表 19-1-2、表 19-2-2、表 19-3-2）。

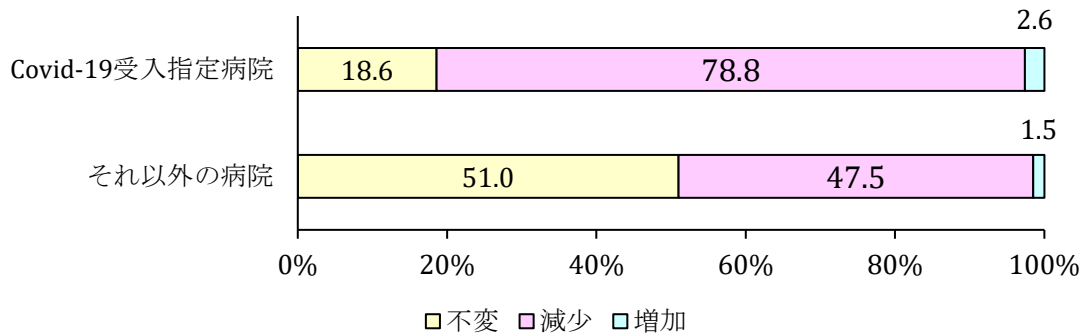


図 75 令和 2 年 4 月 5 月 紹介患者の増減割合

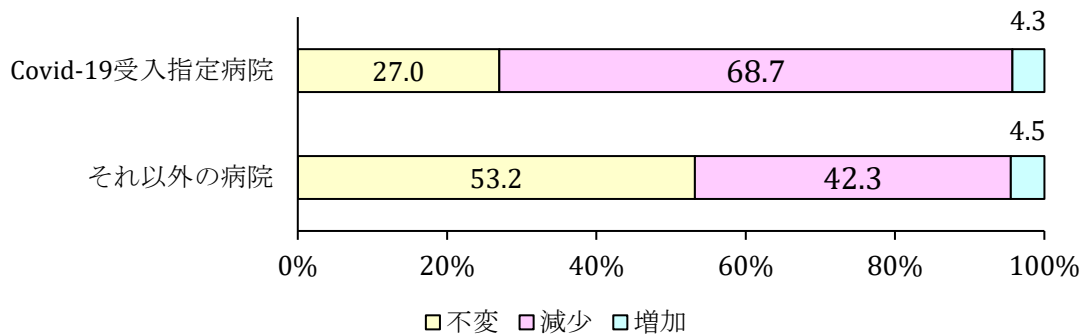


図 76 令和 2 年 6 月 7 月 紹介患者の増減割合

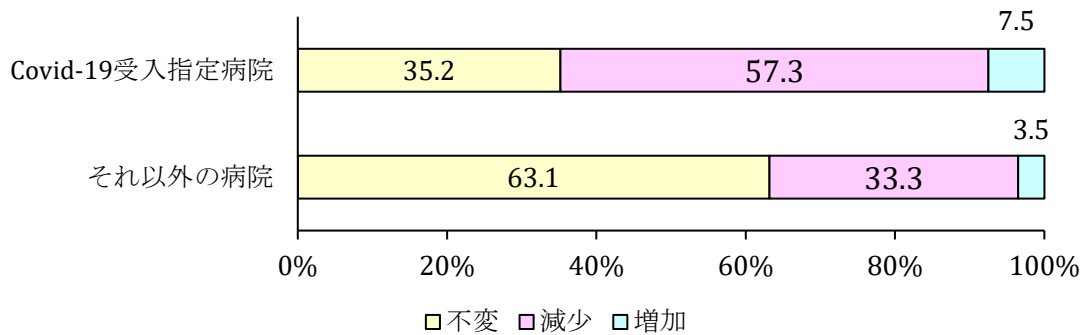


図 77 令和 2 年 8 月 9 月 紹介患者の増減割合

1 0) 歯科診療所および歯科医師会との連絡会議開催状況について

「定期的に開催していた」と「不定期に開催していた」を併せた割合は、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」が 48.7%で、「それ以外の病院」34.4%よりも有意に高かった（表 20-1）。

1 1) COVID-19 に関する連絡会議（情報共有体制）について

「開催した」と回答した割合は、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」が 37.0%、「それ以外の病院」が 33.6%でほぼ同等であった（表 21-1）。情報共有の内容については、「歯科医療提供体制」と回答した割合が、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」において 75.8%であり、「それ以外の病院」62.2%よりも高い値であった（表 21-3）。「院内感染対策」と回答した割合は、「それ以外の病院」78.4%が「COVID-19 陽性患者受入指定病院」69.5%でよりも高かった（図 78、表 21-3）。

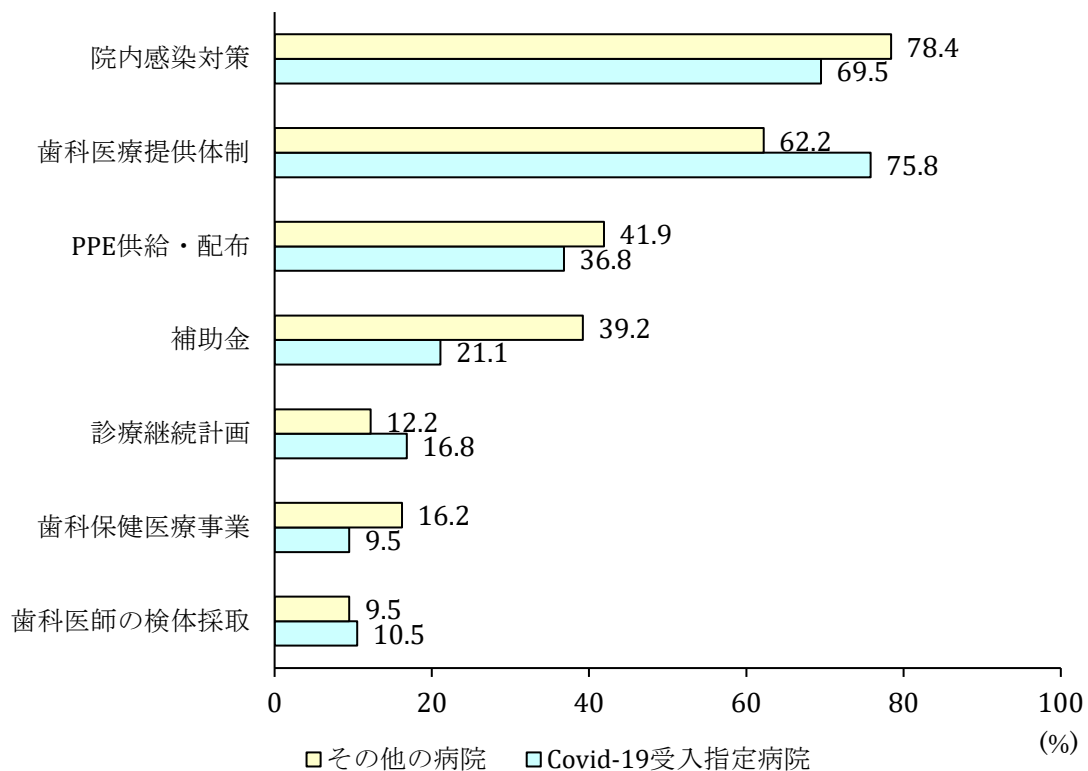


図 78 COVID-19 に関する連絡会議で情報共有した内容（複数回答）

1 2) 自治体との連携について

「郡市区歯科医師会を通じて行なっていた」と回答した割合は、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」が 39.5%、「それ以外の病院」が 34.7%であり、ほぼ同等であった（図 79、表 22-1）。

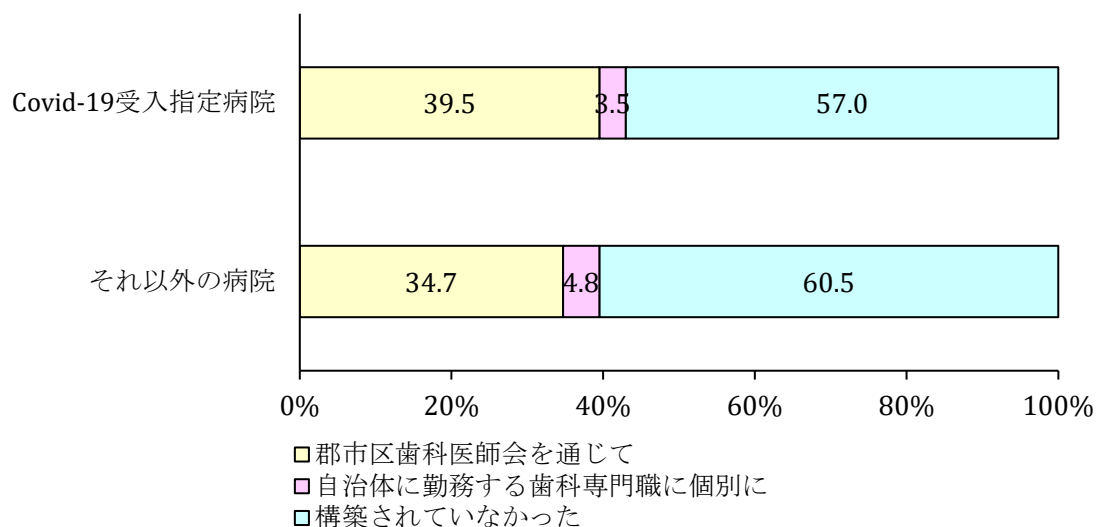


図 79 自治体との連携状況

情報共有の内容は、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」と「それ以外の病院」間で大きな差は認められず、全体で「院内感染対策」（59.9%）、「歯科医療提供体制」（56.3%）、「補助金」（44.3%）、「PPE 供給・配布」（42.2%）であった（図 80、表 22-2）。

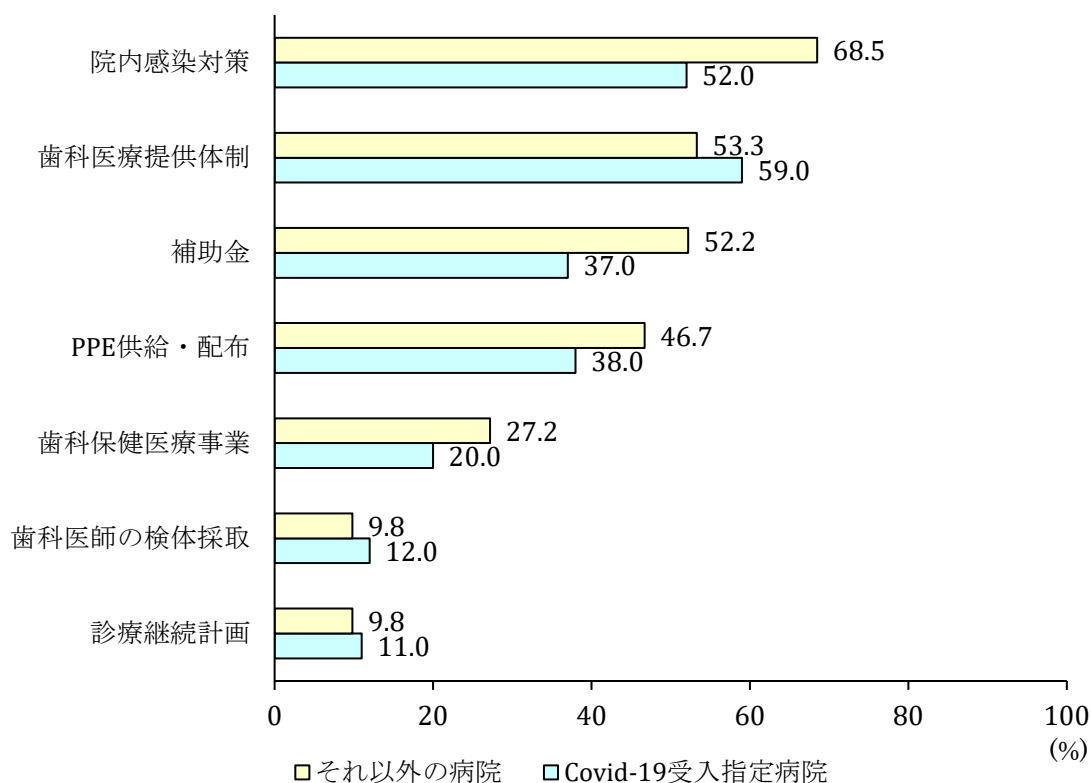


図 80 自治体との連携で情報共有した内容（複数回答）

1.3) BCP について

BCP の作成率は、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」が 28.9%、「それ以外の病院」が 18.2%で有意に「COVID-19 陽性患者受入指定病院」の割合が高かった（表 23-1）。BCP に歯科に関する内容が記載されている割合は、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」が 35.4%、「それ以外の病院」が 45.0%で有意差は認められなかった（表 23-7）。

D. 考察

1. 歯科診療について

COVID-19 陽性患者ならびに COVID-19 陽性疑い患者に対する一人以上の歯科介入割合は、「特定機能病院」ならびに「COVID-19 陽性患者受入指定病院」において高かったことは、これらの病院は COVID-19 陽性患者に対応できる体制を備えてい

たためであろう。しかしながら「特定機能病院」の 2 割、「地域支援病院」の 1 割は「COVID-19 陽性患者受入指定病院」ではなかった。「COVID-19 陽性患者受入指定病院」は、各都道府県が医療機関と調整を行い指定される。感染拡大状況や、医療機関の充足状況により地域差が生じるため、特定機能病院や地域支援病院といった病院類型による区分とは多少異なった指定基準があるものと思われる。

緊急事態宣言が発令された時期（令和 2 年 4 月 7 日～5 月 25 日）が含まれる令和 2 年 4 月 5 月において、「COVID-19 陽性患者ならびに COVID-19 陽性疑い患者に対する歯科介入」、「患者減少ならびに診療稼働額減少の割合」、「紹介患者減少の割合」はいずれも他の時期（令和 2 年 6 月 7 月、8 月 9 月）よりも高い値を示し、4 月 5 月が最も COVID-19 の影響を強く受けていたことが示唆された。「特定機能病院」では 6 月 7 月においてもまだ 2 割の患者減少が続いており、最も影響が大きかったと考えられる。

患者数が減少したと回答した病院の割合は、令和 2 年 4 月 5 月と 6 月 7 月において、「特定警戒都道府県病院」が「それ以外の病院」よりも、また「COVID-19 陽性患者受入指定病院」が「それ以外の病院」よりも有意に高い値であった。その理由として、「特定警戒都道府県病院」や「COVID-19 陽性患者受入指定病院」では、病院の方針として歯科以外の患者も含め緊急を要さない患者の受診制限を行ったことが影響している可能性が考えられる。

診療稼働額の減少割合（中央値）は、「特定警戒都道府県病院」において、4 月 5 月の診療稼働額減少割合が高かった。「特定機能病院」で 8 月 9 月の減少割合が低かったのは、COVID-19 感染対策関連の補助金が影響しているかもしれない。

一方、数は少ないが診療稼働額が増加した病院も認められ、その割合は経時的に増加した（2.2%、6.8%、7.9%）。「特定機能病院」において診療稼働額が増加したと回答した割合が高かった。

厚生労働省のオープンデータ²⁾によると、令和 2 年 4 月 5 月、6 月 7 月、8 月 9 月における COVID-19 陽性者数はそれぞれ、14,849 名、19,115 名、47,091 名で、4 月 5 月は陽性者数が最も少ないが、上述のように最も大きな影響を受けていることは、初めて緊急事態宣言が発令されたことが最大の要因と思われる。

令和 2 年 4 月 5 月に診療稼働額が増加した 11 病院中、10 病院（90.9%）が「特定警戒都道府県以外の病院」であった（全体に占める特定警戒都道府県病院以外の割合は約 45%）。診療稼働額が増加した病院では、自治体との連携の割合（54.6%）や BCP 作成率（45.5%）が比較的高く、COVID-19 感染に対応した歯科診療体制が十分整備されていたことが考えられる。

紹介患者の減少については、「特定機能病院」における 4 月 5 月の減少割合が 4

割と高いことと、紹介患者が減少したと回答した病院の割合は「地域支援病院」がどの時期においても最も高かったことが特徴的であった。「特定警戒都道府県病院」は「それ以外の病院」よりも、また「COVID-19 陽性患者受入指定病院」は「それ以外の病院」よりも、有意にその割合が高かった。

病院側からの診療制限や患者自身の受診控えから、調査期間を通じて「患者減少」、「診療稼働額減少」、「紹介患者減少」が認められた。令和2年4月5月、6月7月には患者減少ならびに診療稼働額減少10割との回答もあり、これは一時歯科部門が閉院した病院があることを意味する。「地域支援病院」における紹介患者減少は、病院側の診療制限や患者自身の受診控えに加えて、市中の歯科診療所での患者減少とも関連しているものと思われる。小山ら³⁾はCOVID-19感染拡大下における歯科受診行動について、ソーシャル・ネットワーキング・サービスであるFacebookを通じて一般市民を対象にしたインターネットアンケート調査を行い、興味深い結果を示している。それによると緊急事態宣言後に歯科医院に行く予定がない者を除いた688名の内、47.2%が予約の取り消しや変更などで歯科受診しなかった一方、52.8%は歯科受診していた。院内感染への懸念から、歯科受診に対して強い不安を抱いていると回答した者は全体の24.1%いたと報告している。一方、今回の調査結果では、全体で87.6%の病院で患者が減少したと回答し、そのうち患者からの受診拒否は1割（中央値）であった。本調査は病院歯科が対象であったため、一般歯科診療所よりも緊急度の高い歯科処置が多かったことが比較的歯科受診率の低下が顕在化しなかった理由と推察される。

2. 感染対策として必要な医療資源充足状況

「マスク」が不足した割合が最も高く（70.4%）、次いで「消毒用アルコール」43.7%、「ガウン」40.6%であった。「ガウン」は「特定機能病院」の56.3%が不足していた。「マスク」不足が特に高かったのは、「特定機能病院」（75.0%）と「特定警戒都道府県病院」（74.7%）であった。

不足が始まった時期はどの医療資源も令和2年1月から6月の間であったが、特に令和2年4月から6月に不足が始まったと答えた割合が高かった。

いずれの医療資源も、「特定警戒都道府県」の方が、「それ以外の地区」より「不足」の割合が高く、「充足」の割合が低かった。しかしながらその差はわずかで、全国的に資源の不足が広がっていたことが示唆される。その中で行政として効果的な支援を行うことが期待されるが、前述の通り各都道府県の各々の基準によって、COVID-19陽性患者受入病院が指定されており、それは病院区分と異なることがあるため、病院区分に従った医療資源の支援を行うことは難しく、都道府県に采

配を委ねることになる。

1 回目の緊急事態宣言の解除から 1 か月後、全国的に感染対策医療物資が不足した中、厚生労働省医政局経済課からの通知文においても、国からの医療物資は都道府県に送付され、都道府県の判断で、感染症指定医療機関等や PCR・抗原検査のための検体採取を行う医療機関、施設内で感染者が発生した場合など緊急時の医療機関・介護施設等を優先して配付するように指示されている。したがって病院の一診療科である「歯科」における医療物資の供給は、その病院の新型コロナ診療タスクの重要度によって大きく左右されることになると推察する。

3. 関係組織との情報交換の状況

関係組織との連絡会議開催は 50%未満であった。

歯科診療所及び歯科医師会との連絡会議開催割合は約 41%で、病院区分別では「地域支援病院」において開催していた割合が 56.8%で最も高かった。「COVID-19 陽性患者受入指定病院」における連絡会議開催の割合は 48.7%であり、「それ以外の病院」よりも有意に高い割合であった。

COVID-19 に関する連絡会議は、全体で約 35.3%が開催しており、病院区分別では、「特定機能病院」が 46.7%と高い傾向であったが、有意差は認められなかった。情報共有した内容では、「歯科医療提供体制」（約 70%）、「院内感染対策」（約 74%）が高い割合であった。

自治体との連携は、全体の約 41%が行っていたが、「特定機能病院」において連携の割合が低い傾向が認められた（22.2%）。情報共有した内容で比較的割合が高かった項目は、「院内感染対策」（58～60%）、「歯科医療提供体制」（55～56%）、「補助金」（約 44%）、「PPE 供給・配布」（約 42%）であった。

以上のことから「特定機能病院」は、歯科診療所・歯科医師会・自治体と連携する割合は低いが、COVID-19に関する連絡会議という連携形態での割合は高いことが特徴的であった。

本調査の対象は、病院組織の中の一診療科である「歯科」であるため、非常時の対応は病院本体の方針、動きに呼応することになる。文字通り地域医療の要となる地域支援病院では、平時から歯科診療所および歯科医師会との連絡会議を開催していることが多いのは頷けることである。一方「高度医療の提供、高度医療技術の開発及び高度医療に関する研修を実施する能力等を備えた病院」とされる特定機能病院では、平時の開催は少なかったものの、COVID-19に関する連絡会議が開催された割合が最も高かった。しかしながら特定機能病院の 9 割は大学病院で有り、歯学部の有無により「歯科」の立ち位置は異なることが予想され、また地域支援病院が

少ない地方では、特定機能病院が地域支援の役割も兼ねていると推察される。従って、歯科診療体制について、病院区分に応じて、画一的に関連組織や自治体との情報交換体制の構築を図ることは困難である。地域の自治体を中心となり、新型コロナ医療政策の一環として、病院歯科、地域歯科医師会等と綿密な連携を構築し、その地域の歯科医療資源・体制を十分把握して歯科診療体制を検討していく必要がある。

4. BCP 作成状況

BCP 作成率は全体で約 24%であり、「特定機能病院」において高かった(42.4%)。そのうち、BCP に歯科に関する内容が記載されていると回答した割合は約 40%であった。BCP 作成の時期については、「COVID-19 陽性患者受入指定病院」が最も早く、令和 2 年 1 月～3 月に初版が発行された割合が 43.3%、令和 2 年 4 月～6 月に発行された割合が 45.0%であった。「特定機能病院」ならびに「地域支援病院」では、令和 2 年 1 月～3 月に初版発行が約 18%、4 月～6 月の発行割合が約 64%であった。初版の多くは緊急事態宣言下(令和 2 年 4 月～6 月)に発行されていた(50%弱)。BCP の必要性を感じたと回答した割合は、全体で 97%と高い値であった。8 割以上は十分に機能したと回答し、その有効性を評価していた。機能しなかったところは、「スタッフへの周知不足」(約 70%)であった。

BCP は、「震災などの緊急時に非常時優先業務を開始するための計画で、業務遂行のための指揮命令系統を確立し、業務遂行に必要な人材・資源、その他の配分を準備計画し、タイムラインに乗せて確実に実行するためのもの」とされている。医療機関においては、今回の COVID-19 のような新興感染症拡大に際しても、日々刻々と変化する感染拡大状況の中で、院内感染防止のための患者トリアージや、感染患者受入のための病床管理、人材の配置、入手困難となる感染防御医療資源の準備と配分など、業務遂行に密接する多岐にわたる検討事項をまとめ、遅滞なく業務を遂行するためには欠かせないものといえる。97%の病院がその必要性があると回答している中で、作成率は 24%に留まっていることから、今後、感染症パンデミックに対する BCP 作成を積極的に進めることが求められる。今回の調査結果では、BCP に歯科に関する内容の記載の有無を尋ねたが、その内容までは調査できていない。BCP 作成率が有意に高かった特定機能病院は、大規模病院であるとともに、承認されている 87 病院のうち 79 病院は大学病院で構成され(令和 2 年 12 月 1 日現在)、歯科も含めて多くの診療科を併設する高次医療の要となる医療機関であるため、今回の COVID-19 パンデミックに際して、BCP 作成率が高かったことは容易に想像できる。しかしながら特定機能病院としての BCP は、生命を左右する重大

な疾患への対応業務の遂行に主眼が置かれることから、本研究課題の「歯科医療提供体制強化」の一部に限られていると推察される。COVID-19 パンデミック下での歯科医療体制継続に関する BCP 作成に関しては、これまでの経験をもとに具体的な内容を検討・充実させる必要がある。

E. 結論

令和 2 年 4 月の緊急事態宣言以降、多くの病院歯科において患者数が減少し、診療稼働額が低下する状況が続いていた中、患者受診や処置の制限を行いながらも COVID-19 陽性患者ならびに陽性疑いの患者に対する歯科処置が行われていた。その一方で感染対策に必要とされるマスク等の医療資源が不足していたことは大きな問題であり、このような医療資源をどのような優先順位で配給するかは今後の重要な検討課題であろう。感染拡大渦における関連組織と病院歯科の連携が行われていた割合は 40%以下であったことから、平時から連携の構築を行っておく必要性が示唆された。BCP の作成率が約 25%と低い一方で、ほとんどの病院歯科がその必要性を認識していることから、BCP についても平時から体制を整備しておくことが重要と考えられた。

F. 引用文献

- 1) Transmission routes of 2019-nCoV and controls in dental practice. International Journal of Oral Science (2020) 12:9.
- 2) 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について オープンデータ 陽性者数.
<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/open-data.html>
- 3) COVID-19 感染拡大下における歯科受診行動—どんな人が歯科受診に不安を抱いているのか—、口腔衛生会誌 (2020) 70 : 168-174.

G. 研究発表

該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

該当なし

別紙 1

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた地域における歯科医療提供体制の強化のための研究

大学病院・病院歯科向け調査票

回答日：令和3年 月 日

大学病院歯科診療部門ならびに病院歯科において、地域の歯科医療の中核を担う歯科医師ならびに歯科医療スタッフの方々におかれましては、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、これまでとは全く異なるご苦勞があったものと思います。鏡文にもありましたとおり、この度、今後の感染拡大や新たな感染症発生時にも歯科医療提供を維持する体制強化に向けた検討に資するためのアンケート調査を行うこととなりました。つきましては、以下の質問票をご覧ください、可能な範囲でご回答に協力いただけますと幸いです。ご回答にあたりましては右の2次元バーコードにリンクされる Web 形式もしくは、本紙媒体でのご回答、ご返送いずれでも結構です。



病院名： _____ 回答者所属： _____

氏名： _____ メールアドレス： _____

【*は複数回答可です】

問1 令和2年4月1日現在の貴院医療体制についてお尋ねします

①病院類型 特定機能病院、 地域医療支援病院、 歯科単独病院、
 その他 (_____)

②届け出病床数 100 未満 100-199 200-299 300-399 400-499 500-599
 600-699 700-799 800-899 900-999 1000 以上

問2 令和3年1月1日現在、貴院は COVID-19 陽性患者受け入れ病院に指定されていますか

はい いいえ

問3 令和2年4月1日現在の貴院歯科診療体制についてお尋ねします

① 歯科病床数 (_____) 床

② 歯科ユニット数 (_____) 台

③ 歯科標榜診療科名* 歯科、 歯科口腔外科、 矯正歯科、 小児歯科

④ 学会認定研修施設認定の有無 有、 無

有りの場合* (_____) 学会認定施設

⑤ 常勤歯科医師数 (_____) 名 うち学会専門医 (_____) 名

⑥ 非常勤歯科医師数 () 名 週1日勤務あたり0.2名で換算してください

⑦ 看護師 () 名 ⑧ 歯科衛生士 () 名 ⑨ 歯科技工士 () 名

(⑦⑧⑨は常勤と週1日勤務あたり0.2名で換算した非常勤の総数をお書きください)

⑩ 貴院歯科での診療内容* 入院患者の歯科治療、外来患者(障害者・児を含む)の歯科治療、周術期口腔機能管理、訪問歯科医療、口腔外科手術、
その他 ()

問4 令和2年4月と5月、令和2年6月と7月、令和2年8月と9月の貴院 COVID-19 陽性患者受け入れ数についてお尋ねします

① 令和2年4月と5月の延べ患者数

0人、1~10人、11~20人、21~50人、51~100人、100人以上

→そのうち歯科介入人数(口腔ケア含む) 0人、1~10人、11~20人、21人以上

② 令和2年6月と7月の延べ患者数

0人、1~10人、11~20人、21~50人、51~100人、100人以上

→そのうち歯科介入人数(口腔ケア含む) 0人、1~10人、11~20人、21人以上

③ 令和2年8月と9月の延べ患者数

0人、1~10人、11~20人、21~50人、51~100人、100人以上

→そのうち歯科介入人数(口腔ケア含む) 0人、1~10人、11~20人、21人以上

問5 令和2年4月と5月、令和2年6月と7月、令和2年8月と9月の COVID-19 疑い患者歯科介入数についてお尋ねします(COVID-19 陽性とは確定していないが、発熱等の症状がある疑い患者への歯科介入数といたします)

① 令和2年4月と5月の疑い患者歯科介入数

0人、1~10人、11~20人、21~50人、51~100人、100人以上

② 令和2年6月と7月の疑い患者歯科介入数

0人、1~10人、11~20人、21~50人、51~100人、100人以上

③ 令和2年8月と9月の疑い患者歯科介入数

0人、1~10人、11~20人、21~50人、51~100人、100人以上

問6 令和元年4月、5月と比較した令和2年4月、5月の歯科診療状況についてお尋ねします

① 患者数はどれくらい減少しましたか 約()割減少した

→そのうち患者からのキャンセルや受診拒否はどれくらいの割合でしたか

患者減少の()割

② 診療稼働額はどれくらい減少しましたか 約()割減少した

問7 令和元年6月と7月と比較した令和2年6月と7月の歯科診療状況についてお尋ねします

① 患者数はどれくらい減少しましたか 約()割減少した

→そのうち患者からのキャンセルや受診拒否はどれくらいの割合でしたか

患者減少の()割

② 診療稼働額はどれくらい減少しましたか 約()割減少した

問8 令和元年8月と9月と比較した令和2年8月と9月の歯科診療状況についてお尋ねします

① 患者数はどれくらい減少しましたか 約()割減少した

→そのうち患者からのキャンセルや受診拒否はどれくらいの割合でしたか

患者減少の()割

② 診療稼働額はどれくらい減少しましたか 約()割減少した

問9 令和2年4月、5月の患者受診ならびに処置等の制限についてお尋ねします

① 制限した 制限しなかった

→「制限した」と回答された場合、

② どのような制限をしましたか*

受診前の事前電話問診 初診オンライン診療の導入 定期管理患者の受診延期

自覚症状のない患者の受診延期 観血的処置の制限 エアロゾルを発生しやすい処置

(エアタービン・超音波スケーラー等)の使用制限

制限を解除する(した)基準があれば教えてください*

()

問10 令和2年4月、5月のCOVID-19に対する感染対策についてお尋ねします

① 患者に対して*

検温 自覚症状に関する問診(発熱、咳、喉の痛み、味覚・臭覚異常等)

感染流行地域への滞在・海外渡航歴の確認 待合室の換気や空気清浄機の設置

待合室のソーシャルディスタンス 待合室の雑誌・遊具等の撤去

その他()

② 医療スタッフに対して*

フェイスシールド・ゴーグルの着用 ディスポーザルのガウンやキャップの着用

口腔外バキュームの使用 歯科ユニット・器材等の清拭

スタッフに対する正しい手指消毒法、マスク・グローブ等の着脱方法等の感染対策勉強会

スタッフの日々の健康管理(検温・自覚症状等)

その他()

問 11 令和2年の医療資源の充足状況についてお尋ねします

① 以下のものが不足した時期はいつでしたか*（不足したとは、入手困難になったり、使用を制限した時期を指します。平時から使用しないものには[□使用しない]に✓してください）

- | | | | |
|-------------------|----------------|--------------------------------|---------------------------------|
| 1 マスク | → 期間：()～()月頃 | <input type="checkbox"/> 使用しない | <input type="checkbox"/> 充足していた |
| 2 N95（N95に準ずるマスク） | → 期間：()～()月頃 | <input type="checkbox"/> 使用しない | <input type="checkbox"/> 充足していた |
| 3 クローム | → 期間：()～()月頃 | <input type="checkbox"/> 使用しない | <input type="checkbox"/> 充足していた |
| 4 フェイスシールド | → 期間：()～()月頃 | <input type="checkbox"/> 使用しない | <input type="checkbox"/> 充足していた |
| 5 ゴーグル | → 期間：()～()月頃 | <input type="checkbox"/> 使用しない | <input type="checkbox"/> 充足していた |
| 6 ガウン | → 期間：()～()月頃 | <input type="checkbox"/> 使用しない | <input type="checkbox"/> 充足していた |
| 7 キャップ | → 期間：()～()月頃 | <input type="checkbox"/> 使用しない | <input type="checkbox"/> 充足していた |
| 8 消毒用アルコール | → 期間：()～()月頃 | <input type="checkbox"/> 使用しない | <input type="checkbox"/> 充足していた |

② スタッフの勤務状況について*

- 変更なし 勤務時間の調整（短縮・ローテーション等）を行った
 勤務日数を減らした スタッフの事情（子供の世話等）で出勤できないものがいた

問 12 歯科診療所及び歯科医師会との連携についてお尋ねします

① 令和2年4月と5月の紹介患者は前年同月に比べてどれくらい減少しましたか

約()割減少した

② 令和2年6月と7月の紹介患者は前年同月に比べてどれくらい減少しましたか

約()割減少した

③ 令和2年8月と9月の紹介患者は前年同月に比べてどれくらい減少しましたか

約()割減少した

④ 平常時から連携する歯科診療所および歯科医師会と連絡会議（情報共有体制）は開催されましたか

- 定期的に連絡会議を行っていた → ()か月に一度
 不定期に連絡会議を行っていた → 年に()回
 具体的な情報共有体制は構築されていなかった

⑤ COVID-19 に対しての連絡会議（情報共有体制）は開催されましたか

- 開催した、情報交換した しなかった
→ 開催した、情報交換した場合、最初に開催したのはいつですか ()月
→ 開催した、情報交換した場合、どのような情報を共有していましたか（どのような問い合わせを受けましたか）*
 歯科医療提供体制 院内感染対策 補助金 PPE 供給・配布 歯科保健医療事業
 診療継続計画 歯科医師の検体採取
 その他 ()
 特になし

問 13 自治体（都道府県市町村）との連携についてお尋ねします

① 所轄の自治体と日頃から情報共有体制（通知・事務連絡、説明会開催など）は構築されていますか

- 郡市区歯科医師会を通じてのみ、行っていた
 自治体に勤務する歯科専門職に個別に行っていた
 具体的な情報共有体制は構築されていなかった

→行っていたと回答された場合

②自治体とどのような情報を共有していましたか（どのような問い合わせを行いましたか）*

- 歯科医療提供体制 院内感染対策 補助金 PPE 供給・配布 歯科保健医療事業
 診療継続計画 歯科医師の検体採取
 その他（ ）
 特になし

問 14 貴病院では、「新型コロナウイルス感染症に対する診療継続計画（BCP）」が作成されていますか

BCP(診療継続計画)とは、COVID-19 のような新興感染症が発生した際に、医療機関が診療を継続し、急激に増加する新興感染症等の患者への対応とその他の慢患者への医療を平時よりも少ない医療スタッフで提供するための、診療継続の方法についてあらかじめ検討したものです。

① はい いいえ

→「はい」と回答された場合、以下にお答えください。

② 初版の発行日はいつですか 令和2年 月 日

③BCP の必要性を感じましたか はい いいえ

④BCP は十分に機能しましたか はい いいえ

→上記質問に「いいえ」と回答された場合、

⑤BCP で機能しなかったところはどんなところですか*

- スタッフへの周知不足 スタッフ確保・配置 PPE などの資源
 情報収集・情報共有・情報提供（自治体、歯科医師会、一般歯科診療所など）
 資金（収入源に対する対策） その他（ ）

⑥BCP で機能しなかった事項の対応について

- すでに対応済、 現在、対応中、 対応を検討

⑦病院 BCP に歯科に関する内容が記載されていますか

はい いいえ

→「はい」と回答された場合、その内容をお教えてください。

（ ）

設問は以上です。

ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

ご質問やご不明な点がございましたら、

分担研究者澤瀬（sawase@nagasaki-u.ac.jp）まで、

メール件名を「厚労特研」として、お問い合わせください。

別紙2-1 病院区分別集計表

表1 病院区分別 調査対象数・回答数・回答率

	回答件数	割合 (%)	調査対象数	割合 (%)	回答率 %
特定機能病院	33	5.9	78	4.3	42.3
地域支援病院	45	8.0	153	8.4	29.4
療養型病院	41	7.3	145	8.0	28.3
その他病院	435	77.7	1442	79.3	30.2
不明	6	1.1			
合計	560	100.0	1818		

病院4区分の調査対象数・回答件数のカイ2乗検定 $p=0.427$

表2 届出病床数（有効回答数 546）

	100未満	100-199	200-299	300-399	400-499	500-599
特定機能病院	0	0	0	0	1	0
割合 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0
地域支援病院	0	1	5	4	7	12
割合 (%)	0.0	2.2	11.1	8.9	15.6	26.7
療養型病院	10	11	12	2	2	3
割合 (%)	25.0	27.5	30.0	5.0	5.0	7.5
その他病院	52	101	74	82	56	29
割合 (%)	12.1	23.6	17.3	19.2	13.1	6.8
合計	62	113	91	88	66	44
割合 (%)	11.4	20.7	16.7	16.1	12.1	8.1

	600-699	700-799	800-899	900-999	1000以上	計
特定機能病院	11	2	7	4	8	33
割合 (%)	33.3	6.1	21.2	12.1	24.2	100.0
地域支援病院	6	4	3	3	0	45
割合 (%)	13.3	8.9	6.7	6.7	0.0	100.0
療養型病院	0	0	0	0	0	40
割合 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
その他病院	16	6	3	3	6	428
割合 (%)	3.7	1.4	0.7	0.7	1.4	100.0
合計	33	12	13	10	14	546
割合 (%)	6.0	2.2	2.4	1.8	2.6	100.0

表3 COVID-19陽性患者受け入れ病院に指定されているか（有効回答数 543）

	はい	いいえ	合計
特定機能病院	25	6	31
割合 (%)	80.6	19.4	100.0
地域支援病院	40	4	44
割合 (%)	90.9	9.1	100.0
療養型病院	9	30	39
割合 (%)	23.1	76.9	100.0
その他病院	204	225	429
割合 (%)	47.6	52.4	100.0
合計	278	265	543
割合 (%)	51.2	48.8	100.0

カイ2乗検定 $p<0.001$

表4 歯科病床数と歯科ユニット数

	件数	①歯科病床数（有効回答数 458）			
		平均値	中央値	最大値	最小値
特定機能病院	31	10.9	10	44	0
地域支援病院	38	4.3	4	10	0
療養型病院	36	0.7	0	8	0
その他病院	353	4.0	0	99	0
合計	458	4.2	0	99	0

	件数	②歯科ユニット数（有効回答数 552）			
		平均値	中央値	最大値	最小値
特定機能病院	33	15.3	9	139	2
地域支援病院	45	5.1	4	32	1
療養型病院	41	3.1	3	8	1
その他病院	433	8.9	3	333	0
合計	552	8.6	3	333	0

表5 歯科標榜診療科名（有効回答数 552 複数回答）

	歯科	歯科口腔外科	矯正歯科	小児歯科	回答病院数
特定機能病院	11	30	7	3	33
割合 (%)	33.3	90.9	21.2	9.1	100.0
地域支援病院	18	40	3	1	45
割合 (%)	40.0	88.9	6.7	2.2	100.0
療養型病院	30	22	2	4	40
割合 (%)	75.0	55.0	5.0	10.0	100.0
その他病院	287	275	38	41	434
割合 (%)	66.1	63.4	8.8	9.4	100.0
合計	346	367	50	49	552
割合 (%)	62.7	66.5	9.1	8.9	

※ 割合の分母は回答病院数

表6 学会認定研修施設認定の有無（有効回答数 542）

	有	無	合計
特定機能病院	31	1	32
割合 (%)	96.9	3.1	100.0
地域支援病院	32	12	44
割合 (%)	72.7	27.3	100.0
療養型病院	10	31	41
割合 (%)	24.4	75.6	100.0
その他病院	179	246	425
割合 (%)	42.1	57.9	100.0
合計	252	290	542
割合 (%)	46.5	53.5	100.0

カイ 2 乗検定 $p < 0.001$

表7 各スタッフ数

	件数	常勤歯科医師数 (有効回答数 533)			
		平均値	中央値	最大値	最小値
特定機能病院	33	17.6	10.0	149.0	2.0
地域支援病院	44	3.8	3.0	20.0	1.0
療養型病院	41	1.5	1.0	4.0	0.0
その他病院	415	7.1	2.0	421.0	0.0
合計	533	7.0	2.0	421.0	0.0

	件数	学会専門医数 (有効回答数 450)			
		平均値	中央値	最大値	最小値
特定機能病院	33	6.5	4.0	49.0	0.0
地域支援病院	44	1.6	1.0	7.0	0.0
療養型病院	36	0.8	0.0	3.0	0.0
その他病院	337	2.1	1.0	81.0	0.0
合計	450	2.3	1.0	81.0	0.0

	件数	非常勤歯科医師数 (有効回答数 514)			
		平均値	中央値	最大値	最小値
特定機能病院	32	4.9	1.1	80.8	0.0
地域支援病院	45	0.5	0.2	3.0	0.0
療養型病院	34	0.4	0.4	2.0	0.0
その他病院	403	2.6	0.3	144.6	0.0
合計	514	2.4	0.3	144.6	0.0

	件数	看護師数 (有効回答数 462)			
		平均値	中央値	最大値	最小値
特定機能病院	32	40.3	1.0	1204.8	0.0
地域支援病院	42	0.9	0.5	3.0	0.0
療養型病院	29	0.2	0.0	2.0	0.0
その他病院	359	12.7	0.0	864.0	0.0
合計	462	12.7	0.0	1204.8	0.0

	件数	歯科衛生士数 (有効回答数 535)			
		平均値	中央値	最大値	最小値
特定機能病院	32	5.3	4.0	21.0	1.0
地域支援病院	43	4.9	4.0	30.0	1.0
療養型病院	41	2.9	3.0	11.0	1.0
その他病院	419	4.1	3.0	52.2	0.0
合計	535	4.1	3.0	52.2	0.0

	件数	歯科技工士数 (有効回答数 471)			
		平均値	中央値	最大値	最小値
特定機能病院	31	1.5	1.0	9.8	0.0
地域支援病院	44	0.6	0.0	10.0	0.0
療養型病院	32	0.6	0.0	11.0	0.0
その他病院	364	0.6	0.0	18.0	0.0
合計	471	0.7	0.0	38.0	0.0

表8 診療内容（有効回答数 546）

	入院患者の歯科治療	外来患者（障害者・児を含む）の歯科治療	周術期口腔機能管理	訪問歯科診療	口腔外科手術
特定機能病院	32	24	32	2	31
割合（%）	97.0	72.7	97.0	6.1	93.9
地域支援病院	40	31	44	2	42
割合（%）	90.9	70.5	100.0	4.5	95.5
療養型病院	40	36	23	12	21
割合（%）	97.6	87.8	56.1	29.3	51.2
その他病院	392	329	304	95	273
割合（%）	91.6	76.9	71.0	22.2	63.8
合計	504	420	403	111	367
割合（%）	92.3	76.9	73.8	20.3	67.2

	その他	回答病院数
特定機能病院	0	33
割合（%）	0.0	100.0
地域支援病院	1	44
割合（%）	2.3	100.0
療養型病院	2	41
割合（%）	4.9	100.0
その他病院	26	428
割合（%）	6.1	100.0
合計	29	546
割合（%）	5.3	100.0

※ 割合の分母は回答病院数

表9-1 令和2年4月と5月の延べ患者数（有効回答数 517）

	0人	1~10人	11~20人	21~50人	51~100人
特定機能病院	8	7	4	1	3
割合 (%)	28.6	25.0	14.3	3.6	10.7
地域支援病院	9	9	7	5	4
割合 (%)	23.7	23.7	18.4	13.2	10.5
療養型病院	35	1	1	0	1
割合 (%)	87.5	2.5	2.5	0.0	2.5
その他病院	278	63	19	14	12
割合 (%)	67.6	15.3	4.6	3.4	2.9
合計	330	80	31	20	20
割合 (%)	63.8	15.5	6.0	3.9	3.9

	100人以上	計
特定機能病院	5	28
割合 (%)	17.9	100.0
地域支援病院	4	38
割合 (%)	10.5	100.0
療養型病院	2	40
割合 (%)	5.0	100.0
その他病院	25	411
割合 (%)	6.1	100.0
合計	36	517
割合 (%)	7.0	100.0

カイ2乗検定 p<0.001

そのうち歯科介入人数（口腔ケア含む 有効回答数 318）

	0人	1~10人	11~20人	21人以上	計
特定機能病院	16	7	1	0	24
割合 (%)	66.7	29.2	4.2	0.0	100.0
地域支援病院	30	4	0	0	34
割合 (%)	88.2	11.8	0.0	0.0	100.0
療養型病院	10	2	0	2	14
割合 (%)	71.4	14.3	0.0	14.3	100.0
その他病院	228	14	1	3	246
割合 (%)	92.7	5.7	0.4	1.2	100.0
合計	284	27	2	5	318
割合 (%)	89.3	8.5	0.6	1.6	100.0

カイ2乗検定 p<0.001

表9-2 令和2年6月と7月の延べ患者数（有効回答数 516）

	0人	1~10人	11~20人	21~50人	51~100人
特定機能病院	9	10	1	2	2
割合 (%)	32.1	35.7	3.6	7.1	7.1
地域支援病院	9	10	12	4	2
割合 (%)	23.1	25.6	30.8	10.3	5.1
療養型病院	31	4	0	1	1
割合 (%)	77.5	10.0	0.0	2.5	2.5
その他病院	277	77	17	11	13
割合 (%)	67.7	18.8	4.2	2.7	3.2
合計	326	101	30	18	18
割合 (%)	63.2	19.6	5.8	3.5	3.5

	100人以上	計
特定機能病院	4	28
割合 (%)	14.3	100.0
地域支援病院	2	39
割合 (%)	5.1	100.0
療養型病院	3	40
割合 (%)	7.5	100.0
その他病院	14	409
割合 (%)	3.4	100.0
合計	23	516
割合 (%)	4.5	100.0

カイ2乗検定 p<0.001

そのうち歯科介入人数（口腔ケア含む 有効回答数 316）

	0人	1~10人	11~20人	21人以上	計
特定機能病院	17	7	0	0	24
割合 (%)	70.8	29.2	0.0	0.0	100.0
地域支援病院	30	3	0	0	33
割合 (%)	90.9	9.1	0.0	0.0	100.0
療養型病院	11	1	0	2	14
割合 (%)	78.6	7.1	0.0	14.3	100.0
その他病院	233	9	0	3	245
割合 (%)	95.1	3.7	0.0	1.2	100.0
合計	291	20	0	5	316
割合 (%)	92.1	6.3	0.0	1.6	100.0

カイ2乗検定 p<0.001

表9-3 令和2年8月と9月の延べ患者数（有効回答数 516）

	0人	1~10人	11~20人	21~50人	51~100人
特定機能病院	9	6	2	2	1
割合 (%)	33.3	22.2	7.4	7.4	3.7
地域支援病院	7	6	12	4	4
割合 (%)	17.9	15.4	30.8	10.3	10.3
療養型病院	31	2	3	0	1
割合 (%)	77.5	5.0	7.5	0.0	2.5
その他病院	265	60	29	16	17
割合 (%)	64.6	14.6	7.1	3.9	4.1
合計	312	74	46	22	23
割合 (%)	60.5	14.3	8.9	4.3	4.5

	100人以上	計
特定機能病院	7	27
割合 (%)	25.9	100.0
地域支援病院	6	39
割合 (%)	15.4	100.0
療養型病院	3	40
割合 (%)	7.5	100.0
その他病院	23	410
割合 (%)	5.6	100.0
合計	39	516
割合 (%)	7.6	100.0

カイ2乗検定 p<0.001

そのうち歯科介入人数（口腔ケア含む 有効回答数 323）

	0人	1~10人	11~20人	21人以上	計
特定機能病院	16	8	0	0	24
割合 (%)	66.7	33.3	0.0	0.0	100.0
地域支援病院	27	6	0	0	33
割合 (%)	81.8	18.2	0.0	0.0	100.0
療養型病院	11	1	1	2	15
割合 (%)	73.3	6.7	6.7	13.3	100.0
その他病院	238	10	0	3	251
割合 (%)	94.8	4.0	0.0	1.2	100.0
合計	292	25	1	5	323
割合 (%)	90.4	7.7	0.3	1.5	100.0

カイ2乗検定 p<0.001

表10-1 令和2年4月と5月 Covid-19疑い患者歯科介入数（有効回答数 537）

	0人	1~10人	11~20人	21~50人	51~100人
特定機能病院	20	9	1	0	0
割合 (%)	66.7	30.0	3.3	0.0	0.0
地域支援病院	31	12	0	1	0
割合 (%)	70.5	27.3	0.0	2.3	0.0
療養型病院	39	1	1	0	0
割合 (%)	95.1	2.4	2.4	0.0	0.0
その他病院	372	42	2	2	3
割合 (%)	88.2	10.0	0.5	0.5	0.7
合計	462	64	4	3	3
割合 (%)	86.0	11.9	0.7	0.6	0.6

	100人以上	計
特定機能病院	0	30
割合 (%)	0.0	100.0
地域支援病院	0	44
割合 (%)	0.0	100.0
療養型病院	0	41
割合 (%)	0.0	100.0
その他病院	1	422
割合 (%)	0.2	100.0
合計	1	537
割合 (%)	0.2	100.0

カイ2乗検定 p=0.004

表10-2 令和2年6月と7月 Covid-19疑い患者歯科介入数（有効回答数 536）

	0人	1~10人	11~20人	21~50人	51~100人
特定機能病院	22	7	1	0	0
割合 (%)	73.3	23.3	3.3	0.0	0.0
地域支援病院	33	9	0	1	1
割合 (%)	75.0	20.5	0.0	2.3	2.3
療養型病院	40	0	1	0	0
割合 (%)	97.6	0.0	2.4	0.0	0.0
その他病院	373	39	1	5	2
割合 (%)	88.6	9.3	0.2	1.2	0.5
合計	468	55	3	6	3
割合 (%)	87.3	10.3	0.6	1.1	0.6

	100人以上	計	
特定機能病院	0	30	
割合 (%)	0.0	100.0	
地域支援病院	0	44	
割合 (%)	0.0	100.0	
療養型病院	0	41	
割合 (%)	0.0	100.0	
その他病院	1	421	
割合 (%)	0.2	100.0	
合計	1	536	
割合 (%)	0.2	100.0	カイ2乗検定 p=0.02

表10-3 令和2年8月と9月 Covid-19疑い患者歯科介入数（有効回答数 536）

	0人	1~10人	11~20人	21~50人	51~100人
特定機能病院	22	7	1	0	0
割合 (%)	73.3	23.3	3.3	0.0	0.0
地域支援病院	33	9	0	1	1
割合 (%)	75.0	20.5	0.0	2.3	2.3
療養型病院	39	1	0	1	0
割合 (%)	95.1	2.4	0.0	2.4	0.0
その他病院	367	43	3	3	3
割合 (%)	87.2	10.2	0.7	0.7	0.7
合計	461	60	4	5	4
割合 (%)	86.0	11.2	0.7	0.9	0.7

	100人以上	計	
特定機能病院	0	30	
割合 (%)	0.0	100.0	
地域支援病院	0	44	
割合 (%)	0.0	100.0	
療養型病院	0	41	
割合 (%)	0.0	100.0	
その他病院	2	421	
割合 (%)	0.5	100.0	
合計	2	536	
割合 (%)	0.4	100.0	カイ2乗検定 p=0.162

表11-1-1 患者数の減少割合（令和元年4月・5月と比較した令和2年4月・5月 有効回答数 526）

	件数	患者数減少割合（割）		
		中央値	最大値	最小値
特定機能病院	32	3	8	-0.1
地域支援病院	43	3	7	0
療養型病院	40	2	6	0
その他病院	411	2	10	-1.5
合計	526	2	10	-1.5

※最小値のマイナスの値は、増加した割合を意味する

表11-1-2 患者数 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
特定機能病院	3	28	1	32
割合 (%)	9.4	87.5	3.1	100.0
地域支援病院	3	40	0	43
割合 (%)	7.0	93.0	0.0	100.0
療養型病院	3	37	0	40
割合 (%)	7.5	92.5	0.0	100.0
その他病院	49	356	6	411
割合 (%)	11.9	86.6	1.5	100.0
合計	58	461	7	526
割合 (%)	11.0	87.6	1.3	100.0

カイ2乗検定 $p=0.717$

そのうち患者からのキャンセルや受診拒否の割合（有効回答数 402）

	件数	キャンセルや受診拒否の割合（割）		
		中央値	最大値	最小値
特定機能病院	23	2	10	0
地域支援病院	36	1.6	9	0
療養型病院	32	1	9	0
その他病院	311	1	10	-0.1
合計	402	1	10	-0.1

表11-2-1 診療稼働額の減少割合（令和元年4月・5月と比較した令和2年4月・5月 有効回答数 501）

	件数	診療稼働額減少の割合（割）		
		中央値	最大値	最小値
特定機能病院	32	2.7	8	-0.6
地域支援病院	42	3	7	-0.6
療養型病院	39	2	6	-0.6
その他病院	388	2	10	-0.7
合計	501	2	10	-0.7

表11-2-2 診療稼働額 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
特定機能病院	3	27	2	32
割合 (%)	9.4	84.4	6.3	100.0
地域支援病院	4	37	1	42
割合 (%)	9.5	88.1	2.4	100.0
療養型病院	3	35	1	39
割合 (%)	7.7	89.7	2.6	100.0
その他病院	57	324	7	388
割合 (%)	14.7	83.5	1.8	100.0
合計	67	423	11	501
割合 (%)	13.4	84.4	2.2	100.0

カイ2乗検定 $p=0.515$

表12-1-1 患者数の減少割合（令和元年6月・7月と比較した令和2年6月・7月 有効回答数 518）

	件数	患者数減少割合（割）		
		中央値	最大値	最小値
特定機能病院	30	2.0	6	-1
地域支援病院	43	1	4.1	0
療養型病院	39	1.5	5	0
その他病院	406	1	10	-4
合計	518	1	10	-4

表12-1-2 患者数 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
特定機能病院	5	23	2	30
割合（％）	16.7	76.7	6.7	100.0
地域支援病院	6	37	0	43
割合（％）	14.0	86.0	0.0	100.0
療養型病院	7	32	0	39
割合（％）	17.9	82.1	0.0	100.0
その他病院	85	305	16	406
割合（％）	20.9	75.1	3.9	100.0
合計	103	397	18	518
割合（％）	19.9	76.6	3.5	100.0

カイ2乗検定 $p=0.427$

そのうち患者からのキャンセルや受診拒否の割合（有効回答数 387）

	件数	キャンセルや受診拒否の割合（割）		
		中央値	最大値	最小値
特定機能病院	21	1	7	0
地域支援病院	36	1	10	0
療養型病院	32	0.8	9	0
その他病院	298	1	10	0
合計	387	1	10	0

表12-2-1 診療稼働額の減少割合（令和元年6月・7月と比較した令和2年6月・7月 有効回答数 486）

	件数	診療稼働額減少の割合（割）		
		中央値	最大値	最小値
特定機能病院	30	1	8	-1
地域支援病院	42	1	5.1	-4
療養型病院	35	1	5	-0.1
その他病院	379	1	10	-5.1
合計	486	1	10	-5.1

表12-2-2 診療稼働額 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
特定機能病院	6	20	4	30
割合 (%)	20.0	66.7	13.3	100.0
地域支援病院	6	34	2	42
割合 (%)	14.3	81.0	4.8	100.0
療養型病院	9	25	1	35
割合 (%)	25.7	71.4	2.9	100.0
その他病院	99	254	26	379
割合 (%)	26.1	67.0	6.9	100.0
合計	120	333	33	486
割合 (%)	24.7	68.5	6.8	100.0

カイ2乗検定 p=0.368

表13-1-1 患者数の減少割合（令和元年8月・9月と比較した令和2年8月・9月 有効回答数 509）

	件数	患者数減少割合（割）		
		中央値	最大値	最小値
特定機能病院	30	1	4	-1
地域支援病院	43	1	4	-0.3
療養型病院	39	1	6	0
その他病院	397	1	9	-8.6
合計	509	1	9	-8.6

表13-1-2 患者数 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
特定機能病院	8	19	3	30
割合 (%)	26.7	63.3	10.0	100.0
地域支援病院	11	31	1	43
割合 (%)	25.6	72.1	2.3	100.0
療養型病院	11	28	0	39
割合 (%)	28.2	71.8	0.0	100.0
その他病院	114	262	21	397
割合 (%)	28.7	66.0	5.3	100.0
合計	144	340	25	509
割合 (%)	28.3	66.8	4.9	100.0

カイ2乗検定 p=0.572

そのうち患者からのキャンセルや受診拒否の割合（有効回答数 378）

	件数	キャンセルや受診拒否の割合（割）		
		中央値	最大値	最小値
特定機能病院	21	0.5	5	0
地域支援病院	35	0	10	0
療養型病院	31	0.2	10	0
その他病院	291	0.5	10	0
合計	378	0.5	10	0

表13-2-1 診療稼働額の減少割合（令和元年8月・9月と比較した令和2年8月・9月 有効回答数 481）

	件数	診療稼働額減少の割合（割）		
		中央値	最大値	最小値
特定機能病院	29	0.3	4	-2
地域支援病院	39	1	4	-4.6
療養型病院	36	1	5	-1.4
その他病院	377	0.5	7	-4
合計	481	0.6	7	-4.6

表13-2-2 診療稼働額 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
特定機能病院	10	16	3	29
割合（%）	34.5	55.2	10.3	100.0
地域支援病院	12	25	2	39
割合（%）	30.8	64.1	5.1	100.0
療養型病院	14	21	1	36
割合（%）	38.9	58.3	2.8	100.0
その他病院	132	213	32	377
割合（%）	35.0	56.5	8.5	100.0
合計	168	275	38	481
割合（%）	34.9	57.2	7.9	100.0

カイ2乗検定 p=0.845

表14-1 令和2年4月・5月の患者受診ならびに処置等の制限（有効回答数 552）

	制限した	制限しなかつた	合計
特定機能病院	32	1	33
割合（%）	97.0	3.0	100.0
地域支援病院	38	7	45
割合（%）	84.4	15.6	100.0
療養型病院	30	11	41
割合（%）	73.2	26.8	100.0
その他病院	305	128	433
割合（%）	70.4	29.6	100.0
合計	405	147	552
割合（%）	73.4	26.6	100.0

カイ2乗検定 p=0.003

表14-2 「制限した」と回答した場合、どのような制限をしたか？（有効回答数 398）

	受診前の事前 電話問診	初診オンライ ン診療の導入	定期管理患者 の受診延期	自覚症状のな い患者の受診 延期	観血的処置の 制限
特定機能病院	5	1	23	16	23
割合 (%)	16.1	3.2	74.2	51.6	74.2
地域支援病院	4	1	20	20	32
割合 (%)	10.5	2.6	52.6	52.6	84.2
療養型病院	8	0	24	15	11
割合 (%)	28.6	0.0	85.7	53.6	39.3
その他病院	35	3	224	151	163
割合 (%)	11.6	1.0	74.4	50.2	54.2
合計	52	5	291	202	229
割合 (%)	13.1	1.3	73.1	50.8	57.5

	エアロゾルを 発生しやすい 処置（エアタービ ン・超音波スケー ラ等）の使用 制限	回答病院数
特定機能病院	27	31
割合 (%)	87.1	100.0
地域支援病院	27	38
割合 (%)	71.1	100.0
療養型病院	15	28
割合 (%)	53.6	100.0
その他病院	202	301
割合 (%)	67.1	100.0
合計	271	398
割合 (%)	68.1	100.0

※ 割合の分母は回答病院数

表15 令和2年4月・5月のCovid-19に対する患者感染対策（有効回答数 551）

	検温	自覚症状に関 する問診（発 熱、咳、喉の 痛み、味覚・ 臭覚異常等）	感染流行地域 への滞在・海 外渡航歴の確 認	待合室の換気 や空気清浄機 の設置	待合室のソー シャルディス タンス
特定機能病院	29	31	31	22	26
割合 (%)	87.9	93.9	93.9	66.7	78.8
地域支援病院	42	44	41	24	38
割合 (%)	93.3	97.8	91.1	53.3	84.4
療養型病院	40	36	30	26	36
割合 (%)	97.6	87.8	73.2	63.4	87.8
その他病院	413	408	342	310	361
割合 (%)	95.6	94.4	79.2	71.8	83.6
合計	524	519	444	382	461
割合 (%)	95.1	94.2	80.6	69.3	83.7

	待合室の雑誌・遊具等の撤去	その他	回答病院数
特定機能病院	10	3	33
割合 (%)	30.3	9.1	100.0
地域支援病院	16	5	45
割合 (%)	35.6	11.1	100.0
療養型病院	23	5	41
割合 (%)	56.1	12.2	100.0
その他病院	204	42	432
割合 (%)	47.2	9.7	100.0
合計	253	55	551
割合 (%)	45.9	10.0	100.0

※ 割合の分母は回答病院数

表16 令和2年4月・5月のCovid-19に対する医療スタッフ感染対策（有効回答数 551）

	フェイスシールド・ゴーグルの着用	ディスプレイのガウンやキャップの着用	口腔外バキュームの使用	歯科ユニット・機材等の清拭	スタッフに対する正しい手指消毒法・マスク・グローブ等の着脱方法等の感染対策勉強会
特定機能病院	33	32	33	31	30
割合 (%)	100.0	97.0	100.0	93.9	90.9
地域支援病院	45	30	35	43	40
割合 (%)	100.0	66.7	77.8	95.6	88.9
療養型病院	40	22	35	39	35
割合 (%)	97.6	53.7	85.4	95.1	85.4
その他病院	411	299	328	406	357
割合 (%)	95.1	69.2	75.9	94.0	82.6
合計	529	383	431	519	462
割合 (%)	96.0	69.5	78.2	94.2	83.8

	スタッフの日々の健康管理（検温・自覚症状等）	その他	回答病院数
特定機能病院	33	3	33
割合 (%)	100.0	9.1	100.0
地域支援病院	42	0	45
割合 (%)	93.3	0.0	100.0
療養型病院	39	2	41
割合 (%)	95.1	4.9	100.0
その他病院	416	24	432
割合 (%)	96.3	5.6	100.0
合計	530	29	551
割合 (%)	96.2	5.3	100.0

表17-1 令和2年の医療資源充足状況

マスク

有効回答数 531

	不足	使用しない	充足	合計
特定機能病院	24	0	8	32
割合 (%)	75.0	0.0	25.0	100.0
地域支援病院	30	0	13	43
割合 (%)	69.8	0.0	30.2	100.0
療養型病院	28	0	10	38
割合 (%)	73.7	0.0	26.3	100.0
その他病院	292	0	126	418
割合 (%)	69.9	0.0	30.1	100.0
合計	374	0	157	531
割合 (%)	70.4	0.0	29.6	100.0

カイ2乗検定 p=0.899

N95

有効回答数 519

	不足	使用しない	充足	合計
特定機能病院	15	9	8	32
割合 (%)	46.9	28.1	25.0	100.0
地域支援病院	20	13	8	41
割合 (%)	48.8	31.7	19.5	100.0
療養型病院	11	22	4	37
割合 (%)	29.7	59.5	10.8	100.0
その他病院	133	191	85	409
割合 (%)	32.5	46.7	20.8	100.0
合計	179	235	105	519
割合 (%)	34.5	45.3	20.2	100.0

カイ2乗検定 p=0.058

グローブ

有効回答数 523

	不足	使用しない	充足	合計
特定機能病院	12	0	20	32
割合 (%)	37.5	0.0	62.5	100.0
地域支援病院	9	0	33	42
割合 (%)	21.4	0.0	78.6	100.0
療養型病院	17	0	19	36
割合 (%)	47.2	0.0	52.8	100.0
その他病院	170	0	243	413
割合 (%)	41.2	0.0	58.8	100.0
合計	208	0	315	523
割合 (%)	39.8	0.0	60.2	100.0

カイ2乗検定 p=0.068

フェイスシールド 有効回答数 517

	不足	使用しない	充足	合計
特定機能病院	15	1	16	32
割合 (%)	46.9	3.1	50.0	100.0
地域支援病院	16	3	22	41
割合 (%)	39.0	7.3	53.7	100.0
療養型病院	12	0	26	38
割合 (%)	31.6	0.0	68.4	100.0
その他病院	159	31	216	406
割合 (%)	39.2	7.6	53.2	100.0
合計	202	35	280	517
割合 (%)	39.1	6.8	54.2	100.0

カイ2乗検定 p=0.389

ゴーグル 有効回答数 509

	不足	使用しない	充足	合計
特定機能病院	13	3	16	32
割合 (%)	40.6	9.4	50.0	100.0
地域支援病院	10	2	29	41
割合 (%)	24.4	4.9	70.7	100.0
療養型病院	9	9	18	36
割合 (%)	25.0	25.0	50.0	100.0
その他病院	84	60	256	400
割合 (%)	21.0	15.0	64.0	100.0
合計	116	74	319	509
割合 (%)	22.8	14.5	62.7	100.0

カイ2乗検定 p=0.037

ガウン 有効回答数 524

	不足	使用しない	充足	合計
特定機能病院	18	0	14	32
割合 (%)	56.3	0.0	43.8	100.0
地域支援病院	18	7	17	42
割合 (%)	42.9	16.7	40.5	100.0
療養型病院	13	7	16	36
割合 (%)	36.1	19.4	44.4	100.0
その他病院	164	73	177	414
割合 (%)	39.6	17.6	42.8	100.0
合計	213	87	224	524
割合 (%)	40.6	16.6	42.7	100.0

カイ2乗検定 p=0.231

キャップ 有効回答数 517

	不足	使用しない	充足	合計
特定機能病院	10	1	19	30
割合 (%)	33.3	3.3	63.3	100.0
地域支援病院	9	6	26	41
割合 (%)	22.0	14.6	63.4	100.0
療養型病院	10	10	17	37
割合 (%)	27.0	27.0	45.9	100.0
その他病院	107	114	188	409
割合 (%)	26.2	27.9	46.0	100.0
合計	136	131	250	517
割合 (%)	26.3	25.3	48.4	100.0

カイ2乗検定 p=0.037

消毒用アルコール 有効回答数 524

	不足	使用しない	充足	合計
特定機能病院	9	0	22	31
割合 (%)	29.0	0.0	71.0	100.0
地域支援病院	11	1	28	40
割合 (%)	27.5	2.5	70.0	100.0
療養型病院	17	0	21	38
割合 (%)	44.7	0.0	55.3	100.0
その他病院	192	0	223	415
割合 (%)	46.3	0.0	53.7	100.0
合計	229	1	294	524
割合 (%)	43.7	0.2	56.1	100.0

カイ2乗検定 p=0.003

表17-2 不足していた時期

マスク 有効回答数 354

不足が始まった時期	件数	不足期間 (月)		
		中央値	最大値	最小値
令和2年1月～3月	164	5	11	0
令和2年4月～6月	187	3	8	1
令和2年7月～9月	3	2	3	2
令和2年10月～12月	0			

N95 有効回答数 160

不足が始まった時期	件数	不足期間 (月)		
		中央値	最大値	最小値
令和2年1月～3月	74	4	11	0
令和2年4月～6月	83	4	8	1
令和2年7月～9月	2	3.5	5	2
令和2年10月～12月	1	0	0	0

グローブ 有効回答数 183

不足が始まった時期	件数	不足期間（月）		
		中央値	最大値	最小値
令和2年1月～3月	61	6	11	0
令和2年4月～6月	93	4	8	1
令和2年7月～9月	15	4	5	2
令和2年10月～12月	14	1.5	2	0

フェイスシールド 有効回答数 187

不足が始まった時期	件数	不足期間（月）		
		中央値	最大値	最小値
令和2年1月～3月	76	4	11	0
令和2年4月～6月	109	2	8	1
令和2年7月～9月	2	2	2	2
令和2年10月～12月	0			

ゴーグル 有効回答数 98

不足が始まった時期	件数	不足期間（月）		
		中央値	最大値	最小値
令和2年1月～3月	43	4	11	0
令和2年4月～6月	53	2	8	1
令和2年7月～9月	2	2	3	1
令和2年10月～12月	0			

ガウン 有効回答数 195

不足が始まった時期	件数	不足期間（月）		
		中央値	最大値	最小値
令和2年1月～3月	81	5	11	0
令和2年4月～6月	108	3	8	1
令和2年7月～9月	3	2	5	1
令和2年10月～12月	3	1	1	0

キャップ 有効回答数 121

不足が始まった時期	件数	不足期間（月）		
		中央値	最大値	最小値
令和2年1月～3月	40	4.5	11	0
令和2年4月～6月	69	3	8	0
令和2年7月～9月	8	2	5	2
令和2年10月～12月	4	1.5	2	1

消毒用アルコール 有効回答数 214

不足が始まった時期	件数	不足期間（月）		
		中央値	最大値	最小値
令和2年1月～3月	102	4	11	0
令和2年4月～6月	109	3	8	0
令和2年7月～9月	3	2	3	1
令和2年10月～12月	0			

表18 スタッフの勤務状況について 有効回答数 542

	変更なし	勤務時間の調整（短縮・ローテーション等）	勤務日数を減らした	スタッフの事情（子供の世話等）で出勤できない者がいた	回答病院数
特定機能病院	25	7	3	3	33
割合（%）	75.8	21.2	9.1	9.1	100.0
地域支援病院	40	1	3	2	44
割合（%）	90.9	2.3	6.8	4.5	100.0
療養型病院	31	2	3	6	41
割合（%）	75.6	4.9	7.3	14.6	100.0
その他病院	335	47	29	51	424
割合（%）	79.0	11.1	6.8	12.0	100.0
合計	431	57	38	62	542
割合（%）	79.5	10.5	7.0	11.4	100.0

※ 割合の分母は回答病院数

表19-1-1 歯科診療所及び歯科医師会との連携

（令和2年4月・5月の紹介患者は前年同月と比べてどれくらい減少したか？）

	件数	紹介患者減少割合（割）		
		中央値	最大値	最小値
特定機能病院	29	4	10	-0.04
地域支援病院	40	3	8	0.0
療養型病院	30	0	8	0.0
その他病院	337	2	10	-2.9
合計	436	2	10	-2.9

※最小値のマイナス値は増加の割合を意味する

表19-1-2 紹介患者割合 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
特定機能病院	5	23	1	29
割合（%）	17.2	79.3	3.4	100.0
地域支援病院	2	38	0	40
割合（%）	5.0	95.0	0.0	100.0
療養型病院	22	8	0	30
割合（%）	73.3	26.7	0.0	100.0
その他病院	118	211	8	337
割合（%）	35.0	62.6	2.4	100.0
合計	147	280	9	436
割合（%）	33.7	64.2	2.1	100.0

カイ2乗検定 $p < 0.001$

表19-2-1 歯科診療所及び歯科医師会との連携

(令和2年6月・7月の紹介患者は前年同月と比べてどれくらい減少したか?)

	件数	紹介患者減少割合(割)		
		中央値	最大値	最小値
特定機能病院	29	2	9	-0.08
地域支援病院	40	1.9	6	-0.9
療養型病院	29	0	5	0
その他病院	336	1	10	-5
合計	434	1	10	-5

表19-2-2 紹介患者割合 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
特定機能病院	8	20	1	29
割合(%)	27.6	69.0	3.4	100.0
地域支援病院	6	33	1	40
割合(%)	15.0	82.5	2.5	100.0
療養型病院	21	8	0	29
割合(%)	72.4	27.6	0.0	100.0
その他病院	135	184	17	336
割合(%)	40.2	54.8	5.1	100.0
合計	170	245	19	434
割合(%)	39.2	56.5	4.4	100.0

カイ2乗検定 $p < 0.001$

表19-3-1 歯科診療所及び歯科医師会との連携

(令和2年8月・9月の紹介患者は前年同月と比べてどれくらい減少したか?)

	件数	紹介患者減少割合(割)		
		中央値	最大値	最小値
特定機能病院	27	1	9.1	-2
地域支援病院	40	1	3	0
療養型病院	30	0	4.5	0
その他病院	331	0	10	-5.2
合計	428	0	10	-5.2

表19-3-2 紹介患者割合 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
特定機能病院	8	16	3	27
割合(%)	29.6	59.3	11.1	100.0
地域支援病院	10	30	0	40
割合(%)	25.0	75.0	0.0	100.0
療養型病院	23	7	0	30
割合(%)	76.7	23.3	0.0	100.0
その他病院	165	145	21	331
割合(%)	49.8	43.8	6.3	100.0
合計	206	198	24	428
割合(%)	48.1	46.3	5.6	100.0

カイ2乗検定 $p < 0.001$

表20-1 平常時から連携する歯科診療所および歯科医師会との連絡会議開催状況（有効回答数 512）

	定期的に連絡 会議を行って いた	不定期に連絡 会議を行って いた	具体的な情報 共有体制は構 築されていな かった	合計
特定機能病院	2	10	18	30
割合 (%)	6.7	33.3	60.0	100.0
地域支援病院	14	11	19	44
割合 (%)	31.8	25.0	43.2	100.0
療養型病院	1	12	24	37
割合 (%)	2.7	32.4	64.9	100.0
その他病院	96	66	239	401
割合 (%)	23.9	16.5	59.6	100.0
合計	113	99	300	512
割合 (%)	22.1	19.3	58.6	100.0

カイ2乗検定 $p < 0.001$

表20-2 定期的に連絡会議を行っていた場合の頻度（何か月に1回）有効回答数 103

	件数	頻度（月）		
		中央値	最大値	最小値
特定機能病院	2	3.5	6	1
地域支援病院	13	1	12	1
療養型病院	1	3	3	3
その他病院	87	1	12	0.5
合計	103	1	12	0.5

表20-3 不定期に連絡会議を行っていた場合の頻度（有効回答数 81）

	件数	頻度（回／年）		
		中央値	最大値	最小値
特定機能病院	8	2.5	4	1
地域支援病院	11	2	5	1
療養型病院	6	1	15	1
その他病院	56	2	12	1
合計	81	2	15	1

表21-1 Covid-19に対する連絡会議（情報共有体制）は開催されたか（有効回答数 496）

	開催した	しなかった	合計
特定機能病院	14	16	30
割合 (%)	46.7	53.3	100.0
地域支援病院	12	31	43
割合 (%)	27.9	72.1	100.0
療養型病院	9	26	35
割合 (%)	25.7	74.3	100.0
その他病院	141	247	388
割合 (%)	36.3	63.7	100.0
合計	176	320	496
割合 (%)	35.5	64.5	100.0

カイ2乗検定 $p = 0.231$

表21-2 開催した場合、最初に開催したのは何月か（有効回答数 142）

	件数	開催月		
		中央値	最大値 (遅い)	最小値 (早い)
特定機能病院	13	3	7	1
地域支援病院	12	4	10	2
療養型病院	6	4	11	4
その他病院	111	4	12	1
合計	142	4	12	1

表21-3 開催した場合、どのような情報を共有したか（有効回答数171）

	歯科医療提供 体制	院内感染対策	補助金	PPE供給・配 布	歯科保健医療 事業	診療継続計画
特定機能病院	11	10	0	5	1	2
割合 (%)	78.6	71.4	0.0	35.7	7.1	14.3
地域支援病院	9	10	3	4	1	1
割合 (%)	64.3	71.4	21.4	28.6	7.1	7.1
療養型病院	6	4	4	3	3	2
割合 (%)	66.7	44.4	44.4	33.3	33.3	22.2
その他病院	93	102	42	55	17	20
割合 (%)	68.4	75.0	30.9	40.4	12.5	14.7
合計	119	126	49	67	22	25
割合 (%)	69.6	73.7	28.7	39.2	12.9	14.6

	歯科医師の検 体採取	その他	特になし	病院数
特定機能病院	3	0	0	14
割合 (%)	21.4	0.0	0.0	100.0
地域支援病院	2	1	0	14
割合 (%)	14.3	7.1	0.0	100.0
療養型病院	0	4	0	9
割合 (%)	0.0	44.4	0.0	100.0
その他病院	11	9	0	136
割合 (%)	8.1	6.6	0.0	100.0
合計	16	14	0	171
割合 (%)	9.4	8.2	0.0	100.0

※ 割合の分母は連絡会議を開催したと回答した病院数

表22-1 自治体（都道府県市町村）との連携について

（日ごろから情報共有体制は構築されていたか 有効回答数 507）

	郡市区歯科医師会を通じてのみ行っていた	自治体に勤務する歯科専門職に個別に行っていた	具体的な情報共有体制は構築されていなかった	合計
特定機能病院	5	1	21	27
割合 (%)	18.5	3.7	77.8	100.0
地域支援病院	17	0	25	42
割合 (%)	40.5	0.0	59.5	100.0
療養型病院	16	2	20	38
割合 (%)	42.1	5.3	52.6	100.0
その他病院	151	18	231	400
割合 (%)	37.8	4.5	57.8	100.0
合計	189	21	297	507
割合 (%)	37.3	4.1	58.6	100.0

カイ2乗検定 p=0.330

表22-2 行っていた場合、どのような情報を共有していたか（有効回答数 194）

	歯科医療提供体制	院内感染対策	補助金	PPE供給・配布	歯科保健医療事業
特定機能病院	3	2	0	1	3
割合 (%)	60.0	40.0	0.0	20.0	60.0
地域支援病院	8	7	5	5	1
割合 (%)	53.3	46.7	33.3	33.3	6.7
療養型病院	8	9	8	5	5
割合 (%)	50.0	56.3	50.0	31.3	31.3
その他病院	87	95	72	71	38
割合 (%)	55.1	60.1	45.6	44.9	24.1
合計	106	113	85	82	47
割合 (%)	54.6	58.2	43.8	42.3	24.2

	診療継続計画	歯科医師の検体採取	その他	特になし	行っていた病院数
特定機能病院	1	0	0	0	5
割合 (%)	20.0	0.0	0.0	0.0	100.0
地域支援病院	0	2	0	1	15
割合 (%)	0.0	13.3	0.0	6.7	100.0
療養型病院	3	1	1	4	16
割合 (%)	18.8	6.3	6.3	25.0	100.0
その他病院	16	19	5	13	158
割合 (%)	10.1	12.0	3.2	8.2	100.0
合計	20	22	6	18	194
割合 (%)	10.3	11.3	3.1	9.3	100.0

※ 割合の分母は自治体と情報共有体制を構築していたと回答した病院数

表23-1 BCPが作成されているか？（有効回答数 535）

	はい	いいえ	合計
特定機能病院	14	19	33
割合 (%)	42.4	57.6	100.0
地域支援病院	13	30	43
割合 (%)	30.2	69.8	100.0
療養型病院	5	34	39
割合 (%)	12.8	87.2	100.0
その他病院	94	326	420
割合 (%)	22.4	77.6	100.0
合計	126	409	535
割合 (%)	23.6	76.4	100.0

カイ2乗検定 p=0.015

以下、「はい」と回答した病院が対象

表23-2 初版の発行日（有効回答数 104）

	令和2年 1月～3月	令和2年 4月～6月	令和2年 7月～9月	令和2年 10月～12月	合計
特定機能病院	2	7	1	1	11
割合 (%)	18.2	63.6	9.1	9.1	100.0
地域支援病院	2	7	2	0	11
割合 (%)	18.2	63.6	18.2	0.0	100.0
療養型病院	0	3	0	0	3
割合 (%)	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
その他病院	34	34	6	5	79
割合 (%)	43.0	43.0	7.6	6.3	100.0
合計	38	51	9	6	104
割合 (%)	36.5	49.0	8.7	5.8	100.0

カイ2乗検定 p=0.372

表23-3 BCPの必要性を感じましたか？（有効回答数 121）

	はい	いいえ	合計
特定機能病院	12	1	13
割合 (%)	92.3	7.7	100.0
地域支援病院	12	0	12
割合 (%)	100.0	0.0	100.0
療養型病院	5	0	5
割合 (%)	100.0	0.0	100.0
その他病院	88	3	91
割合 (%)	96.7	3.3	100.0
合計	117	4	121
割合 (%)	96.7	3.3	100.0

カイ2乗検定 p=0.714

表23-4 BCPは十分に機能したか？（有効回答数 118）

	はい	いいえ	合計
特定機能病院	11	2	13
割合 (%)	84.6	15.4	100.0
地域支援病院	11	1	12
割合 (%)	91.7	8.3	100.0
療養型病院	3	2	5
割合 (%)	60.0	40.0	100.0
その他病院	74	14	88
割合 (%)	84.1	15.9	100.0
合計	99	19	118
割合 (%)	83.9	16.1	100.0

カイ2乗検定 p=0.448

「いいえ」と回答した場合

表23-5 BCPで機能しなかったところは？（複数回答 有効回答数 16）

	スタッフへの 周知不足	スタッフ確 保・配置	PPEなどの資 源	情報収集・情 報共有・情報 提供	資金
特定機能病院	1	1	0	0	0
割合 (%)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
地域支援病院	1	0	0	0	0
割合 (%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
療養型病院	1	0	0	1	0
割合 (%)	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
その他病院	9	1	1	4	2
割合 (%)	69.2	7.7	7.7	30.8	15.4
合計	12	2	1	4	2
割合 (%)	75.0	12.5	6.3	25.0	12.5

	その他	回答病院数
特定機能病院	0	2
割合 (%)	0.0	100.0
地域支援病院	0	1
割合 (%)	0.0	100.0
療養型病院	0	2
割合 (%)	0.0	100.0
その他病院	2	13
割合 (%)	15.4	100.0
合計	2	16
割合 (%)	12.5	100.0

※ 割合の分母は回答病院数

表23-6 BCPで機能しなかった事項の対応

対象は表23-3で「いいえ」と回答した病院（有効回答数 17）

	既に対応済	現在対応中	対応を検討	合計
特定機能病院	0	0	2	2
割合 (%)	0.0	0.0	100.0	100.0
地域支援病院	1	0	0	1
割合 (%)	100.0	0.0	0.0	100.0
その他病院	1	1	0	2
割合 (%)	50.0	50.0	0.0	100.0
その他病院	3	4	5	12
割合 (%)	25.0	33.3	41.7	100.0
合計	5	5	7	17
割合 (%)	29.4	29.4	41.2	100.0

カイ2乗検定 p=0.340

表23-7 BCPに歯科に関する内容が記載されているか

対象は表23-1で「はい」と回答した病院（有効回答数 106）

	はい	いいえ	合計
特定機能病院	6	7	13
割合 (%)	46.2	53.8	100.0
地域支援病院	4	8	12
割合 (%)	33.3	66.7	100.0
療養型病院	1	4	5
割合 (%)	20.0	80.0	100.0
その他病院	31	45	76
割合 (%)	40.8	59.2	100.0
合計	42	64	106
割合 (%)	39.6	60.4	100.0

カイ2乗検定 p=0.734

別紙 2 - 2 特定警戒都道府県指定別 集計表

表 1 特定警戒都道府県別 調査対象数・回答数・回答率

	回答件数	割合 (%)	調査対象数	割合 (%)	回答率 (%)
特定警戒都道府県	305	54.5	942	51.8	32.4
上記以外の地区	249	44.5	876	48.2	28.4
不明	6	1.1			
合計	560	100.0	1818	100.0	

表 2 届出病床数 (有効回答数 546)

	100未満	100-199	200-299	300-399	400-499	500-599
特定警戒都道府県	26	57	54	46	37	26
割合 (%)	8.7	19.1	18.1	15.4	12.4	8.7
上記以外の地区	36	56	37	42	29	18
割合 (%)	14.6	22.7	15.0	17.0	11.7	7.3
合計	62	113	91	88	66	44
割合 (%)	11.4	20.7	16.7	16.1	12.1	8.1

	600-699	700-799	800-899	900-999	1000以上	計
特定警戒都道府県	17	10	8	9	9	299
割合 (%)	5.7	3.3	2.7	3.0	3.0	100.0
上記以外の地区	16	2	5	1	5	247
割合 (%)	6.5	0.8	2.0	0.4	2.0	100.0
合計	33	12	13	10	14	546
割合 (%)	6.0	2.2	2.4	1.8	2.6	100.0

表 3 COVID-19陽性患者受け入れ病院に指定されているか (有効回答数 543)

	はい	いいえ	合計
特定警戒都道府県	152	147	299
割合 (%)	50.8	49.2	100.0
上記以外の地区	126	118	244
割合 (%)	51.6	48.4	100.0
合計	278	265	543
割合 (%)	51.2	48.8	100.0

カイ 2 乗検定 p=0.852

表 4 歯科病床数と歯科ユニット数

	件数	歯科病床数 (有効回答数 458)			
		平均値	中央値	最大値	最小値
特定警戒都道府県	254	5.2	0.8	99.0	0.0
上記以外の地区	204	2.9	0.0	44.0	0.0
合計	458	4.2	0.0	99.0	0.0

	件数	歯科ユニット数 (有効回答数 552)			
		平均値	中央値	最大値	最小値
特定警戒都道府県	304	10.2	3.0	333.0	0.0
上記以外の地区	248	6.5	3.0	139.0	0.0
合計	552	8.6	3.0	333.0	0.0

表5 歯科標榜診療科名（有効回答数 552 複数回答）

	歯科	歯科口腔外科	矯正歯科	小児歯科	回答病院数
特定警戒都道府県	191	209	27	28	305
割合 (%)	62.6	68.5	8.9	9.2	100.0
上記以外の地区	155	158	23	21	247
割合 (%)	62.8	64.0	9.3	8.5	100.0
合計	346	367	50	49	552
割合 (%)	62.7	66.5	9.1	8.9	100.0

※ 割合の分母は回答病院数

表6 学会認定研修施設認定の有無（有効回答数 542）

	有	無	合計	
特定警戒都道府県	156	142	298	
割合 (%)	52.3	47.7	100.0	
上記以外の地区	96	148	244	
割合 (%)	39.3	60.7	100.0	
合計	252	290	542	
割合 (%)	46.5	53.5	100.0	カイ 2 乗検定 p=0.003

表7 各スタッフ数

	件数	常勤歯科医師数（有効回答数 533）			
		平均値	中央値	最大値	最小値
特定警戒都道府県	293	9.0	2.0	421.0	0.0
上記以外の地区	240	4.6	1.5	149.0	0.0
合計	533	7.0	2.0	421.0	0.0

	件数	学会専門医数（有効回答数 450）			
		平均値	中央値	最大値	最小値
特定警戒都道府県	255	2.5	1.0	81.0	0.0
上記以外の地区	195	1.9	1.0	60.0	0.0
合計	450	2.3	1.0	81.0	0.0

	件数	非常勤歯科医師数（有効回答数 514）			
		平均値	中央値	最大値	最小値
特定警戒都道府県	285	3.3	0.4	144.6	0.0
上記以外の地区	229	1.4	0.2	80.8	0.0
合計	514	2.4	0.3	144.6	0.0

	件数	看護師数（有効回答数 462）			
		平均値	中央値	最大値	最小値
特定警戒都道府県	258	14.6	0.0	864.0	0.0
上記以外の地区	204	10.4	0.0	1204.8	0.0
合計	462	12.7	0.0	1204.8	0.0

	件数	歯科衛生士数（有効回答数 535）			
		平均値	中央値	最大値	最小値
特定警戒都道府県	296	4.4	3.0	47.0	0.0
上記以外の地区	239	3.8	3.0	52.2	0.2
合計	535	4.1	3.0	52.2	0.0

	件数	歯科技工士数（有効回答数）			
		平均値	中央値	最大値	最小値
特定警戒都道府県	261	0.8	0.0	38.0	0.0
上記以外の地区	210	0.7	0.0	13.6	0.0
合計	471	0.7	0.0	38.0	0.0

表8 診療内容（有効回答数 546）

	入院患者の歯科治療	外来患者（障害者・児を含む）の歯科治療	周術期口腔機能管理	訪問歯科診療
特定警戒都道府県	273	219	218	55
割合（%）	91.0	73.0	72.7	18.3
上記以外の地区	231	201	185	56
割合（%）	93.9	81.7	75.2	22.8
合計	504	420	403	111
割合（%）	92.3	76.9	73.8	20.3

	口腔外科手術	その他	回答病院数
特定警戒都道府県	203	17	300
割合（%）	67.7	5.7	100.0
上記以外の地区	164	12	246
割合（%）	66.7	4.9	100.0
合計	367	29	546
割合（%）	67.2	5.3	100.0

※ 割合の分母は回答病院数

表9-1 令和2年4月と5月の延べ患者数（有効回答数 517）

	0人	1~10人	11~20人	21~50人
特定警戒都道府県	160	45	16	17
割合（%）	57.8	16.2	5.8	6.1
上記以外の地区	170	35	15	3
割合（%）	70.8	14.6	6.3	1.3
合計	330	80	31	20
割合（%）	63.8	15.5	6.0	3.9

	51~100人	100人以上	計
特定警戒都道府県	14	25	277
割合（%）	5.1	9.0	100.0
上記以外の地区	6	11	240
割合（%）	2.5	4.6	100.0
合計	20	36	517
割合（%）	3.9	7.0	100.0

カイ2乗検定

p=0.004

そのうち歯科介入人数（口腔ケア含む） 有効回答数 318

	0人	1～10人	11～20人	21人以上	計
特定警戒都道府県	153	27	1	5	186
割合 (%)	82.3	14.5	0.5	2.7	100.0
上記以外の地区	131	0	1	0	132
割合 (%)	99.2	0.0	0.8	0.0	100.0
合計	284	27	2	5	318
割合 (%)	89.3	8.5	0.6	1.6	100.0

カイ2乗検定 $p < 0.001$

表9-2 令和2年6月と7月の延べ患者数（有効回答数 516）

	0人	1～10人	11～20人	21～50人
特定警戒都道府県	162	50	22	13
割合 (%)	58.7	18.1	8.0	4.7
上記以外の地区	164	51	8	5
割合 (%)	68.3	21.3	3.3	2.1
合計	326	101	30	18
割合 (%)	63.2	19.6	5.8	3.5

	51～100人	100人以上	計
特定警戒都道府県	11	18	276
割合 (%)	4.0	6.5	100.0
上記以外の地区	7	5	240
割合 (%)	2.9	2.1	100.0
合計	18	23	516
割合 (%)	3.5	4.5	100.0

カイ2乗検定 $p = 0.007$

そのうち歯科介入人数（口腔ケア含む） 有効回答数 316

	0人	1～10人	11～20人	21人以上	計
特定警戒都道府県	162	18	0	5	185
割合 (%)	87.6	9.7	0.0	2.7	100.0
上記以外の地区	129	2	0	0	131
割合 (%)	98.5	1.5	0.0	0.0	100.0
合計	291	20	0	5	316
割合 (%)	92.1	6.3	0.0	1.6	100.0

カイ2乗検定 $p = 0.002$

表9-3 令和2年8月と9月の延べ患者数（有効回答数 516）

	0人	1～10人	11～20人	21～50人
特定警戒都道府県	151	39	29	17
割合 (%)	54.5	14.1	10.5	6.1
上記以外の地区	161	35	17	5
割合 (%)	67.4	14.6	7.1	2.1
合計	312	74	46	22
割合 (%)	60.5	14.3	8.9	4.3

	51～100人	100人以上	計	
特定警戒都道府県	15	26	277	
割合 (%)	5.4	9.4	100.0	
上記以外の地区	8	13	239	
割合 (%)	3.3	5.4	100.0	
合計	23	39	516	
割合 (%)	4.5	7.6	100.0	カイ 2 乗検定 p=0.016

そのうち歯科介入人数（口腔ケア含む） 有効回答数 323

	0人	1～10人	11～20人	21人以上	計
特定警戒都道府県	161	21	1	5	188
割合 (%)	85.6	11.2	0.5	2.7	100.0
上記以外の地区	131	4	0	0	135
割合 (%)	97.0	3.0	0.0	0.0	100.0
合計	292	25	1	5	323
割合 (%)	90.4	7.7	0.3	1.5	100.0

カイ 2 乗検定 p=0.006

表10-1 令和2年4月と5月 Covid-19疑い患者歯科介入数（有効回答数 537）

	0人	1～10人	11～20人	21～50人
特定警戒都道府県	243	47	3	1
割合 (%)	82.1	15.9	1.0	0.3
上記以外の地区	219	17	1	2
割合 (%)	90.9	7.1	0.4	0.8
合計	462	64	4	3
割合 (%)	86.0	11.9	0.7	0.6

	51～100人	100人以上	計	
特定警戒都道府県	2	0	296	
割合 (%)	0.7	0.0	100.0	
上記以外の地区	1	1	241	
割合 (%)	0.4	0.4	100.0	
合計	3	1	537	
割合 (%)	0.6	0.2	100.0	カイ 2 乗検定 p=0.029

表10-2 令和2年6月と7月 Covid-19疑い患者歯科介入数（有効回答数 536）

	0人	1～10人	11～20人	21～50人
特定警戒都道府県	250	37	3	3
割合 (%)	84.7	12.5	1.0	1.0
上記以外の地区	218	18	0	3
割合 (%)	90.5	7.5	0.0	1.2
合計	468	55	3	6
割合 (%)	87.3	10.3	0.6	1.1

	51～100人	100人以上	計
特定警戒都道府県	2	0	295
割合 (%)	0.7	0.0	100.0
上記以外の地区	1	1	241
割合 (%)	0.4	0.4	100.0
合計	3	1	536
割合 (%)	0.6	0.2	100.0

カイ 2 乗検定

p=0.172

表10-3 令和2年8月と9月 Covid-19疑い患者歯科介入数（有効回答数 536）

	0人	1～10人	11～20人	21～50人
特定警戒都道府県	244	43	2	2
割合 (%)	82.7	14.6	0.7	0.7
上記以外の地区	217	17	2	3
割合 (%)	90.0	7.1	0.8	1.2
合計	461	60	4	5
割合 (%)	86.0	11.2	0.7	0.9

	51～100人	100人以上	計
特定警戒都道府県	3	1	295
割合 (%)	1.0	0.3	99.7
上記以外の地区	1	1	241
割合 (%)	0.4	0.4	100.0
合計	4	2	536
割合 (%)	0.7	0.4	99.8

カイ 2 乗検定

p=0.122

表11-1-1 患者数の減少割合（令和元年4月・5月と比較した令和2年4月・5月 有効回答数 526）

	件数	患者数減少割合（割）		
		中央値	最大値	最小値
特定警戒都道府県	287	3	10	-1.4
上記以外の地区	239	2	10	-1.5
合計	526	2	10	-1.5

※最小値のマイナスの値は、増加した割合を意味する

表11-1-2 患者数 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
特定警戒都道府県	18	268	1	287
割合 (%)	6.3	93.4	0.3	100.0
上記以外の地区	40	193	6	239
割合 (%)	16.7	80.8	2.5	100.0
合計	58	461	7	526
割合 (%)	11.0	87.6	1.3	100.0

カイ 2 乗検定 p<0.001

そのうち患者からのキャンセルや受診拒否の割合 有効回答数 402

	件数	キャンセルや受診拒否の割合 (割)		
		中央値	最大値	最小値
特定警戒都道府県	220	2	10	0
上記以外の地区	182	1	10	-0.1
合計	402	1	10	-0.1

表11-2-1 診療稼働額の減少割合 (令和元年4月・5月と比較した令和2年4月・5月 有効回答数 501)

	件数	診療稼働額減少の割合 (割)		
		中央値	最大値	最小値
特定警戒都道府県	273	3	10	-0.7
上記以外の地区	228	1.8	10	-0.6
合計	501	2	10	-0.7

表11-2-2 診療稼働額 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
特定警戒都道府県	24	248	1	273
割合 (%)	8.8	90.8	0.4	100.0
上記以外の地区	43	175	10	228
割合 (%)	18.9	76.8	4.4	100.0
合計	67	423	11	501
割合 (%)	13.4	84.4	2.2	100.0

カイ 2 乗検定 p<0.001

表12-1-1 患者数の減少割合 (令和元年6月・7月と比較した令和2年6月・7月 有効回答数 518)

	件数	患者数減少割合 (割)		
		中央値	最大値	最小値
特定警戒都道府県	283	1.3	10	-4
上記以外の地区	235	1	6	-3.4
合計	518	1	10	-4

表12-1-2 患者数 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
特定警戒都道府県	46	233	4	283
割合 (%)	16.3	82.3	1.4	100.0
上記以外の地区	57	164	14	235
割合 (%)	24.3	69.8	6.0	100.0
合計	103	397	18	518
割合 (%)	19.9	76.6	3.5	100.0

カイ 2 乗検定 p<0.001

そのうち患者からのキャンセルや受診拒否の割合 有効回答数 387

	件数	キャンセルや受診拒否の割合 (割)		
		中央値	最大値	最小値
特定警戒都道府県	212	1	10	0
上記以外の地区	175	0.7	10	0
合計	387	1	10	0

表12-2-1 診療稼働額の減少割合（令和元年6月・7月と比較した令和2年6月・7月 有効回答数 486）

	件数	診療稼働額減少の割合（割）		
		中央値	最大値	最小値
特定警戒都道府県	267	1	10	-5.1
上記以外の地区	219	1	5.1	-2.7
合計	486	1	10	-5.1

表12-2-2 診療稼働額 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
特定警戒都道府県	57	200	10	267
割合（%）	21.3	74.9	3.7	100.0
上記以外の地区	63	133	23	219
割合（%）	28.8	60.7	10.5	100.0
合計	120	333	33	486
割合（%）	24.7	68.5	6.8	100.0

カイ2乗検定 p<0.001

表13-1-1 患者数の減少割合（令和元年8月・9月と比較した令和2年8月・9月 有効回答数 509）

	件数	患者数減少割合（割）		
		中央値	最大値	最小値
特定警戒都道府県	277	1	9	-8.6
上記以外の地区	232	1	6	-2.5
合計	509	1	9	-8.6

表13-1-2 患者数 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
特定警戒都道府県	81	186	10	277
割合（%）	29.2	67.1	3.6	100.0
上記以外の地区	63	154	15	232
割合（%）	27.2	66.4	6.5	100.0
合計	144	340	25	509
割合（%）	28.3	66.8	4.9	100.0

カイ2乗検定 p=0.316

そのうち患者からのキャンセルや受診拒否の割合 有効回答数 378

	件数	キャンセルや受診拒否の割合（割）		
		中央値	最大値	最小値
特定警戒都道府県	207	0.5	10	0
上記以外の地区	171	0.5	10	0
合計	378	0.5	10	0

表13-2-1 診療稼働額の減少割合（令和元年8月・9月と比較した令和2年8月・9月 有効回答数 481）

	件数	診療稼働額減少の割合（割）		
		中央値	最大値	最小値
特定警戒都道府県	263	1	7	-4.6
上記以外の地区	218	0.5	5	-4
合計	481	0.6	7	-4.6

表13-2-2 診療稼働額 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
特定警戒都道府県	95	154	14	263
割合 (%)	36.1	58.6	5.3	100.0
上記以外の地区	73	121	24	218
割合 (%)	33.5	55.5	11.0	100.0
合計	168	275	38	481
割合 (%)	34.9	57.2	7.9	100.0

カイ2乗検定 p=0.070

表14-1 令和2年4月・5月の患者受診ならびに処置等の制限（有効回答数 552）

	制限した	制限しなかつた	合計
特定警戒都道府県	235	69	304
割合 (%)	77.3	22.7	100.0
上記以外の地区	170	78	248
割合 (%)	68.5	31.5	100.0
合計	405	147	552
割合 (%)	73.4	26.6	100.0

カイ2乗検定 p=0.021

表14-2 「制限した」と回答した場合、どのような制限をしたか？（有効回答数 398）

	受診前の事前 電話問診	初診オンライン 診療の導入	定期管理患者 の受診延期	自覚症状のない 患者の受診延期
特定警戒都道府県	26	5	166	114
割合 (%)	11.3	2.2	72.2	49.6
上記以外の地区	26	0	125	88
割合 (%)	15.5	0.0	74.4	52.4
合計	52	5	291	202
割合 (%)	13.1	1.3	73.1	50.8

	観血的処置の 制限	エアロゾルを 発生しやすい 処置（エタービ ン・超音波スケ ー等）の使用 制限	回答病院数
特定警戒都道府県	146	175	230
割合 (%)	63.5	76.1	100.0
上記以外の地区	83	96	168
割合 (%)	49.4	57.1	100.0
合計	229	271	398
割合 (%)	57.5	68.1	100.0

※ 割合の分母は回答病院数

表15 令和2年4月・5月のCovid-19に対する患者感染対策（有効回答数 551）

	検温	自覚症状に関する問診（発熱、咳、喉の痛み、味覚・臭覚異常等）	感染流行地域への滞在・海外渡航歴の確認	待合室の換気や空気清浄機の設置
特定警戒都道府県	288	286	228	216
割合 (%)	94.4	93.8	74.8	70.8
上記以外の地区	236	233	216	166
割合 (%)	95.9	94.7	87.8	67.5
合計	524	519	444	382
割合 (%)	95.1	94.2	80.6	69.3

	待合室のソーシャルディスタンス	待合室の雑誌・遊具等の撤去	その他	回答病院数
特定警戒都道府県	260	140	29	305
割合 (%)	85.2	45.9	9.5	100.0
上記以外の地区	201	113	26	246
割合 (%)	81.7	45.9	10.6	100.0
合計	461	253	55	551
割合 (%)	83.7	45.9	10.0	100.0

※ 割合の分母は回答病院数

表16 令和2年4月・5月のCovid-19に対する医療スタッフ感染対策（有効回答数 551）

	フェイスシールド・ゴーグルの着用	ディスプレイのガウンやキャップの着用	口腔外バキュームの使用	歯科ユニット・機材等の清拭
特定警戒都道府県	293	222	242	287
割合 (%)	96.7	73.3	79.9	94.7
上記以外の地区	236	161	189	232
割合 (%)	95.2	64.9	76.2	93.5
合計	529	383	431	519
割合 (%)	96.0	69.5	78.2	94.2

	スタッフに対する正しい手指消毒法・マスク・グローブ等の着脱方法等の感染対策勉強会	スタッフの日々の健康管理（検温・自覚症状等）	その他	回答病院数
特定警戒都道府県	256	292	19	303
割合 (%)	84.5	96.4	6.3	100.0
上記以外の地区	206	238	10	248
割合 (%)	83.1	96.0	4.0	100.0
合計	462	530	29	551
割合 (%)	83.8	96.2	5.3	100.0

※ 割合の分母は回答病院数

表17 令和2年の医療資源充足状況

マスク

有効回答数 531

	不足	使用しない	充足	合計
特定警戒都道府県	218	0	74	292
割合 (%)	74.7	0.0	25.3	100.0
上記以外の地区	156	0	83	239
割合 (%)	65.3	0.0	34.7	100.0
合計	374	0	157	531
割合 (%)	70.4	0.0	29.6	100.0

カイ2乗検定 p=0.018

N95

有効回答数 519

	不足	使用しない	充足	合計
特定警戒都道府県	112	125	52	289
割合 (%)	38.8	43.3	18.0	100.0
上記以外の地区	67	110	53	230
割合 (%)	29.1	47.8	23.0	100.0
合計	179	235	105	519
割合 (%)	34.5	45.3	20.2	100.0

カイ2乗検定 p=0.059

グローブ

有効回答数 523

	不足	使用しない	充足	合計
特定警戒都道府県	124	0	166	290
割合 (%)	42.8	0.0	57.2	100.0
上記以外の地区	84	0	149	233
割合 (%)	36.1	0.0	63.9	100.0
合計	208	0	315	523
割合 (%)	39.8	0.0	60.2	100.0

カイ2乗検定 p=0.119

フェイスシールド

有効回答数 517

	不足	使用しない	充足	合計
特定警戒都道府県	117	19	151	287
割合 (%)	40.8	6.6	52.6	100.0
上記以外の地区	85	16	129	230
割合 (%)	37.0	7.0	56.1	100.0
合計	202	35	280	517
割合 (%)	39.1	6.8	54.2	100.0

カイ2乗検定 p=0.677

ゴーグル

有効回答数 509

	不足	使用しない	充足	合計
特定警戒都道府県	70	39	173	282
割合 (%)	24.8	13.8	61.3	100.0
上記以外の地区	46	35	146	227
割合 (%)	20.3	15.4	64.3	100.0
合計	116	74	319	509
割合 (%)	22.8	14.5	62.7	100.0

カイ2乗検定 p=0.463

ガウン 有効回答数 524

	不足	使用しない	充足	合計
特定警戒都道府県	132	41	119	292
割合 (%)	45.2	14.0	40.8	100.0
上記以外の地区	81	46	105	232
割合 (%)	34.9	19.8	45.3	100.0
合計	213	87	224	524
割合 (%)	40.6	16.6	42.7	100.0

カイ2乗検定 p=0.037

キャップ 有効回答数 517

	不足	使用しない	充足	合計
特定警戒都道府県	91	66	131	288
割合 (%)	31.6	22.9	45.5	100.0
上記以外の地区	45	65	119	229
割合 (%)	19.7	28.4	52.0	100.0
合計	136	131	250	517
割合 (%)	26.3	25.3	48.4	100.0

カイ2乗検定 p=0.009

消毒用アルコール 有効回答数 524

	不足	使用しない	充足	合計
特定警戒都道府県	132	1	154	287
割合 (%)	46.0	0.3	53.7	100.0
上記以外の地区	97	0	140	237
割合 (%)	40.9	0.0	59.1	100.0
合計	229	1	294	524
割合 (%)	43.7	0.2	56.1	100.0

カイ2乗検定 p=0.322

表18 スタッフの勤務状況について

	変更なし	勤務時間の調整（短縮・ローテーション等）	勤務日数を減らした	スタッフの事情（子供の世話等）で出勤できない者がいた	回答病院数
特定警戒都道府県	220	44	27	38	299
割合 (%)	73.6	14.7	9.0	12.7	100.0
上記以外の地区	211	13	11	24	243
割合 (%)	86.8	5.3	4.5	9.9	100.0
合計	431	57	38	62	542
割合 (%)	79.5	10.5	7.0	11.4	100.0

※ 割合の分母は回答病院数

表19-1-1 歯科診療所及び歯科医師会との連携

（令和2年4月・5月の紹介患者は前年同月と比べてどれくらい減少したか？）

	件数	紹介患者減少割合（割）		
		中央値	最大値	最小値
特定警戒都道府県	236	2.1	10	0
上記以外の地区	200	1	10	-2.9
合計	436	2	10	-2.9

※最小値のマイナス値は増加の割合を意味する

表19-1-2 紹介患者割合 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
特定警戒都道府県	64	172	0	236
割合 (%)	27.1	72.9	0.0	100.0
上記以外の地区	83	108	9	200
割合 (%)	41.5	54.0	4.5	100.0
合計	147	280	9	436
割合 (%)	33.7	64.2	2.1	100.0

カイ2乗検定 p<0.001

表19-2-1 歯科診療所及び歯科医師会との連携

(令和2年6月・7月の紹介患者は前年同月と比べてどれくらい減少したか?)

	件数	紹介患者減少割合 (割)		
		中央値	最大値	最小値
特定警戒都道府県	233	1	10	-4
上記以外の地区	201	0	10	-5
合計	434	1	10	-5

表19-2-2 紹介患者割合 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
特定警戒都道府県	75	154	4	233
割合 (%)	32.2	66.1	1.7	100.0
上記以外の地区	95	91	15	201
割合 (%)	47.3	45.3	7.5	100.0
合計	170	245	19	434
割合 (%)	39.2	56.5	4.4	100.0

カイ2乗検定 p<0.001

表19-3-1 歯科診療所及び歯科医師会との連携

(令和2年8月・9月の紹介患者は前年同月と比べてどれくらい減少したか?)

	件数	紹介患者減少割合 (割)		
		中央値	最大値	最小値
特定警戒都道府県	230	0	10	-5.2
上記以外の地区	198	0	10	-1.3
合計	428	0	10	-5.2

表19-3-2 紹介患者割合 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
特定警戒都道府県	109	115	6	230
割合 (%)	47.4	50.0	2.6	100.0
上記以外の地区	97	83	18	198
割合 (%)	49.0	41.9	9.1	100.0
合計	206	198	24	428
割合 (%)	48.1	46.3	5.6	100.0

カイ2乗検定 p=0.009

表20-1 平常時から連携する歯科診療所および歯科医師会との連絡会議開催状況（有効回答数 512）

	定期的に連絡 会議を行って いた	不定期に連絡 会議を行って いた	具体的な情報 共有体制は構 築されていな かった	合計
特定警戒都道府県	59	52	169	280
割合 (%)	21.1	18.6	60.4	100.0
上記以外の地区	54	47	131	232
割合 (%)	23.3	20.3	56.5	100.0
合計	113	99	300	512
割合 (%)	22.1	19.3	58.6	100.0

カイ2乗検定 p=0.672

表20-2 定期的に連絡会議を行っていた場合の頻度（何か月に1回）有効回答数 103

	件数	頻度（月）		
		中央値	最大値	最小値
特定警戒都道府県	54	1.5	12	1
上記以外の地区	49	1	12	0.5
合計	103	1	12	0.5

表20-3 不定期に連絡会議を行っていた場合の頻度（有効回答数 81）

	件数	頻度（回／年）		
		中央値	最大値	最小値
特定警戒都道府県	41	2	15	1
上記以外の地区	40	2	12	1
合計	81	2	15	1

表21-1 Covid-19に対する連絡会議（情報共有体制）は開催されたか（有効回答数 496）

	開催した	しなかった	合計
特定警戒都道府県	97	177	274
割合 (%)	35.4	64.6	100.0
上記以外の地区	79	143	222
割合 (%)	35.6	64.4	100.0
合計	176	320	496
割合 (%)	35.5	64.5	100.0

カイ2乗検定 p=0.966

表21-2 開催した場合、最初に開催したのは何月か（有効回答数 142）

	件数	開催月		
		中央値	最大値 （遅い）	最小値 （早い）
特定警戒都道府県	78	4	12	1
上記以外の地区	64	4	12	1
合計	142	4	12	1

表21-3 開催した場合、どのような情報を共有したか（有効回答数171）

	歯科医療提供体制	院内感染対策	補助金	PPE供給・配布	歯科保健医療事業
特定警戒都道府県	71	69	22	33	9
割合 (%)	75.5	73.4	23.4	35.1	9.6
上記以外の地区	48	57	27	34	13
割合 (%)	62.3	74.0	35.1	44.2	16.9
合計	119	126	49	67	22
割合 (%)	69.6	73.7	28.7	39.2	12.9

	診療継続計画	歯科医師の検体採取	その他	特になし	病院数
特定警戒都道府県	17	7	10	0	94
割合 (%)	18.1	7.4	10.6	0.0	100.0
上記以外の地区	8	9	4	0	77
割合 (%)	10.4	11.7	5.2	0.0	100.0
合計	25	16	14	0	171
割合 (%)	14.6	9.4	8.2	0.0	100.0

※ 割合の分母は連絡会議を開催したと回答した病院数

表22-1 自治体（都道府県市町村）との連携について
（日ごろから情報共有体制は構築されていたか 有効回答数 507）

	郡市区歯科医師会を通じてのみ行っていた	自治体に勤務する歯科専門職に個別に行っていた	具体的な情報共有体制は構築されていなかった	合計
特定警戒都道府県	92	10	176	278
割合 (%)	33.1	3.6	63.3	100.0
上記以外の地区	97	11	121	229
割合 (%)	42.4	4.8	52.8	100.0
合計	189	21	297	507
割合 (%)	37.3	4.1	58.6	100.0

カイ2乗検定 p=0.058

表22-2 行っていた場合、どのような情報を共有していたか（有効回答数 194）

	歯科医療提供体制	院内感染対策	補助金	PPE供給・配布	歯科保健医療事業
特定警戒都道府県	54	53	37	41	20
割合 (%)	58.1	57.0	39.8	44.1	21.5
上記以外の地区	52	60	48	41	27
割合 (%)	51.5	59.4	47.5	40.6	26.7
合計	106	113	85	82	47
割合 (%)	54.6	58.2	43.8	42.3	24.2

	診療継続計画	歯科医師の検 体採取	その他	特になし	回答病院数
特定警戒都道府県	13	11	2	10	93
割合 (%)	14.0	11.8	2.2	10.8	100.0
上記以外の地区	7	11	4	8	101
割合 (%)	6.9	10.9	4.0	7.9	100.0
合計	20	22	6	18	194
割合 (%)	10.3	11.3	3.1	9.3	100.0

※ 割合の分母は自治体と情報共有体制を構築していたと回答した病院数

表23-1 BCPが作成されているか？（有効回答数 535）

	はい	いいえ	合計
特定警戒都道府県	65	228	293
割合 (%)	22.2	77.8	100.0
上記以外の地区	61	181	242
割合 (%)	25.2	74.8	100.0
合計	126	409	535
割合 (%)	23.6	76.4	100.0

カイ2乗検定 p=0.412

以下、「はい」と回答した病院が対象

表23-2 初版の発行日（有効回答数 104）

	令和2年 1月～3月	令和2年 4月～6月	令和2年 7月～9月	令和2年 10月～12月	合計
特定警戒都道府県	21	24	5	4	54
割合 (%)	38.9	44.4	9.3	7.4	100.0
上記以外の地区	17	27	4	2	50
割合 (%)	34.0	54.0	8.0	4.0	100.0
合計	38	51	9	6	104
割合 (%)	36.5	49.0	8.7	5.8	100.0

カイ2乗検定 p=0.747

表23-3 BCPの必要性を感じましたか？（有効回答数 121）

	はい	いいえ	合計
特定警戒都道府県	63	0	63
割合 (%)	100.0	0.0	100.0
上記以外の地区	54	4	58
割合 (%)	93.1	6.9	100.0
合計	117	4	121
割合 (%)	96.7	3.3	100.0

カイ2乗検定 p=0.034

表23-4 BCPは十分に機能したか？（有効回答数 118）

	はい	いいえ	合計
特定警戒都道府県	55	8	63
割合 (%)	87.3	12.7	100.0
上記以外の地区	44	11	55
割合 (%)	80.0	20.0	100.0
合計	99	19	118
割合 (%)	83.9	16.1	100.0

カイ2乗検定 p=0.282

「いいえ」と回答した場合

表23-5 BCPで機能しなかったところは？（複数回答 有効回答数 16）

	スタッフへの 周知不足	スタッフ確 保・配置	PPEなどの資 源	情報収集・情報 共有・情報提供
特定警戒都道府県	5	0	1	4
割合 (%)	62.5	0.0	12.5	50.0
上記以外の地区	7	2	0	1
割合 (%)	70.0	20.0	0.0	10.0
合計	12	2	1	5
割合 (%)	66.7	11.1	5.6	27.8

	資金	その他	回答病院数
特定警戒都道府県	1	1	8
割合 (%)	12.5	12.5	100.0
上記以外の地区	1	1	10
割合 (%)	10.0	10.0	100.0
合計	2	2	18
割合 (%)	11.1	11.1	100.0

※ 割合の分母は回答病院数

表23-6 BCPで機能しなかった事項の対応

対象は表23-3で「いいえ」と回答した病院（有効回答数 17）

	既に対応済	現在対応中	対応を検討	合計
特定警戒都道府県	4	2	2	8
割合 (%)	50.0	25.0	25.0	100.0
上記以外の地区	1	3	5	9
割合 (%)	11.1	33.3	55.6	100.0
合計	5	5	7	17
割合 (%)	29.4	29.4	41.2	100.0

カイ2乗検定 p=0.198

表23-7 BCPに歯科に関する内容が記載されているか

対象は表23-1で「はい」と回答した病院（有効回答数 106）

	はい	いいえ	合計
特定警戒都道府県	20	36	56
割合 (%)	35.7	64.3	100.0
上記以外の地区	22	28	50
割合 (%)	44.0	56.0	100.0
合計	42	64	106
割合 (%)	39.6	60.4	100.0

カイ2乗検定 p=0.384

別紙 2 - 3 COVID-19陽性患者受け入れ病院指定別 集計表

表 1 Covid_19受入病院別 回答件数

	回答件数	割合 (%)
Covid-19受入機関	280	50.0
上記以外の機関	269	48.0
無回答	11	2.0
合計	560	100.0

表 2 届出病床数 (有効回答数 540)

	100未満	100-199	200-299	300-399	400-499	500-599
Covid-19受入機関	7	24	36	56	52	35
割合 (%)	2.5	8.7	13.0	20.2	18.8	12.6
上記以外の機関	53	88	54	32	16	8
割合 (%)	20.2	33.5	20.5	12.2	6.1	3.0
合計	60	112	90	88	68	43
割合 (%)	11.1	20.7	16.7	16.3	12.6	8.0

	600-699	700-799	800-899	900-999	1000以上	計
Covid-19受入機関	25	11	12	7	12	277
割合 (%)	9.0	4.0	4.3	2.5	4.3	100.0
上記以外の機関	7	1	1	1	2	263
割合 (%)	2.7	0.4	0.4	0.4	0.8	100.0
合計	32	12	13	8	14	540
割合 (%)	5.9	2.2	2.4	1.5	2.6	100.0

表 3 特定警戒都道府県か (有効回答数 549)

	はい	いいえ	不明	合計
Covid-19受入機関	152	126	2	280
割合 (%)	54.3	45.0	0.7	100.0
上記以外の機関	147	118	4	269
割合 (%)	54.6	43.9	1.5	100.0
合計	299	244	6	549
割合 (%)	54.5	44.4	1.1	100.0

カイ 2 乗検定 p=0.673

表 4 歯科病床数と歯科ユニット数

	件数	歯科病床数 (有効回答数 455)			
		平均値	中央値	最大値	最小値
Covid-19受入機関	230	4.5	3.0	44.0	0.0
上記以外の機関	225	3.5	0.0	60.0	0.0
合計	455	4.0	0.0	60.0	0.0

	件数	歯科ユニット数 (有効回答数 547)			
		平均値	中央値	最大値	最小値
Covid-19受入機関	279	6.5	4.0	139.0	0.0
上記以外の機関	268	10.8	3.0	333.0	0.0
合計	547	8.6	3.0	333.0	0.0

表5 歯科標榜診療科名（有効回答数 547 複数回答）

	歯科	歯科口腔外科	矯正歯科	小児歯科	回答病院数
Covid-19受入機関	125	232	23	15	279
割合 (%)	44.8	83.2	8.2	5.4	100.0
上記以外の機関	217	132	27	33	268
割合 (%)	81.0	49.3	10.1	12.3	100.0
合計	342	364	50	48	547
割合 (%)	62.5	66.5	9.1	8.8	100.0

※ 割合の分母は回答病院数

表6 学会認定研修施設認定の有無（有効回答数 537）

	有	無	合計
Covid-19受入機関	178	99	277
割合 (%)	64.3	35.7	100.0
上記以外の機関	70	190	260
割合 (%)	26.9	73.1	100.0
合計	248	289	537
割合 (%)	46.2	53.8	100.0

カイ2乗検定 p<0.001

表7 各スタッフ数

	件数	常勤歯科医師数（有効回答数 529）			
		平均値	中央値	最大値	最小値
Covid-19受入機関	273	4.8	2.0	149.0	0.0
上記以外の機関	256	9.4	1.0	421.0	0.0
合計	529	7.0	2.0	421.0	0.0

	件数	学会専門医数（有効回答数 445）			
		平均値	中央値	最大値	最小値
Covid-19受入機関	252	2.3	1.0	60.0	0.0
上記以外の機関	193	2.2	0.0	81.0	0.0
合計	445	2.3	1.0	81.0	0.0

	件数	非常勤歯科医師数（有効回答数 509）			
		平均値	中央値	最大値	最小値
Covid-19受入機関	258	1.5	0.3	80.8	0.0
上記以外の機関	251	3.4	0.4	144.6	0.0
合計	509	2.4	0.3	144.6	0.0

	件数	看護師数（有効回答数 459）			
		平均値	中央値	最大値	最小値
Covid-19受入機関	247	18.2	0.0	1204.8	0.0
上記以外の機関	212	6.5	0.0	288.0	0.0
合計	459	12.8	0.0	1204.8	0.0

	件数	歯科衛生士数（有効回答数 529）			
		平均値	中央値	最大値	最小値
Covid-19受入機関	272	4.0	3.0	33.0	0.0
上記以外の機関	257	4.3	2.4	52.2	0.2
合計	529	4.1	3.0	52.2	0.0

	件数	歯科技工士数（有効回答数 468）			
		平均値	中央値	最大値	最小値
Covid-19受入機関	251	0.6	0.0	11.0	0.0
上記以外の機関	217	0.8	0.0	38.0	0.0
合計	468	0.7	0.0	38.0	0.0

表8 診療内容（有効回答数 541）

	入院患者の歯科治療	外来患者（障害者・児を含む）の歯科治療	周術期口腔機能管理	訪問歯科診療
Covid-19受入機関	245	195	256	29
割合（%）	88.4	70.4	92.4	10.5
上記以外の機関	254	223	143	83
割合（%）	96.2	84.5	54.2	31.4
合計	499	418	399	112
割合（%）	92.2	77.3	73.8	20.7

	口腔外科手術	その他	回答病院数
Covid-19受入機関	236	20	277
割合（%）	85.2	7.2	100.0
上記以外の機関	129	10	264
割合（%）	48.9	3.8	100.0
合計	365	30	541
割合（%）	67.5	5.5	100.0

※ 割合の分母は回答病院数

表9-1 令和2年4月と5月の延べ患者数（有効回答数 514）

	0人	1~10人	11~20人	21~50人
Covid-19受入機関	83	76	29	16
割合 (%)	32.5	29.8	11.4	6.3
上記以外の機関	244	2	2	4
割合 (%)	94.2	0.8	0.8	1.5
合計	327	78	31	20
割合 (%)	63.6	15.2	6.0	3.9

	51~100人	100人以上	計
Covid-19受入機関	19	32	255
割合 (%)	7.5	12.5	100.0
上記以外の機関	1	6	259
割合 (%)	0.4	2.3	100.0
合計	20	38	514
割合 (%)	3.9	7.4	100.0

カイ2乗検定 p<0.001

そのうち歯科介入人数（口腔ケア含む） 有効回答数 314

	0人	1~10人	11~20人	21人以上	計
Covid-19受入機関	178	27	2	1	208
割合 (%)	85.6	13.0	1.0	0.5	100.0
上記以外の機関	102	0	0	4	106
割合 (%)	96.2	0.0	0.0	3.8	100.0
合計	280	27	2	5	314
割合 (%)	89.2	8.6	0.6	1.6	100.0

カイ2乗検定 p<0.001

表9-2 令和2年6月と7月の延べ患者数（有効回答数 513）

	0人	1~10人	11~20人	21~50人
Covid-19受入機関	79	95	27	16
割合 (%)	31.1	37.4	10.6	6.3
上記以外の機関	246	4	2	2
割合 (%)	95.0	1.5	0.8	0.8
合計	325	99	29	18
割合 (%)	63.4	19.3	5.7	3.5

	51~100人	100人以上	計
Covid-19受入機関	17	20	254
割合 (%)	6.7	7.9	100.0
上記以外の機関	1	4	259
割合 (%)	0.4	1.5	100.0
合計	18	24	513
割合 (%)	3.5	4.7	100.0

カイ2乗検定 p<0.001

そのうち歯科介入人数（口腔ケア含む） 有効回答数 311

	0人	1～10人	11～20人	21人以上	計
Covid-19受入機関	184	20	0	1	205
割合 (%)	89.8	9.8	0.0	0.5	100.0
上記以外の機関	102	0	0	4	106
割合 (%)	96.2	0.0	0.0	3.8	100.0
合計	286	20	0	5	311
割合 (%)	92.0	6.4	0.0	1.6	100.0

カイ2乗検定 p<0.001

表9-3 令和2年8月と9月の延べ患者数（有効回答数 513）

	0人	1～10人	11～20人	21～50人
Covid-19受入機関	67	70	40	21
割合 (%)	26.4	27.6	15.7	8.3
上記以外の機関	245	3	4	1
割合 (%)	94.6	1.2	1.5	0.4
合計	312	73	44	22
割合 (%)	60.8	14.2	8.6	4.3

	51～100人	100人以上	計
Covid-19受入機関	21	35	254
割合 (%)	8.3	13.8	100.0
上記以外の機関	1	5	259
割合 (%)	0.4	1.9	100.0
合計	22	40	513
割合 (%)	4.3	7.8	100.0

カイ2乗検定 p<0.001

そのうち歯科介入人数（口腔ケア含む） 有効回答数 318

	0人	1～10人	11～20人	21人以上	計
Covid-19受入機関	184	25	1	1	211
割合 (%)	87.2	11.8	0.5	0.5	100.0
上記以外の機関	103	0	0	4	107
割合 (%)	96.3	0.0	0.0	3.7	100.0
合計	287	25	1	5	318
割合 (%)	90.3	7.9	0.3	1.6	100.0

カイ2乗検定 p<0.001

表10-1 令和2年4月と5月 Covid-19疑い患者歯科介入数（有効回答数 532）

	0人	1~10人	11~20人	21~50人
Covid-19受入機関	211	48	4	3
割合 (%)	78.4	17.8	1.5	1.1
上記以外の機関	248	14	0	0
割合 (%)	94.3	5.3	0.0	0.0
合計	459	62	4	3
割合 (%)	86.3	11.7	0.8	0.6

	51~100人	100人以上	計
Covid-19受入機関	3	0	269
割合 (%)	1.1	0.0	100.0
上記以外の機関	0	1	263
割合 (%)	0.0	0.4	100.0
合計	3	1	532
割合 (%)	0.6	0.2	100.0

カイ2乗検定

p<0.001

表10-2 令和2年6月と7月 Covid-19疑い患者歯科介入数（有効回答数 531）

	0人	1~10人	11~20人	21~50人
Covid-19受入機関	214	44	3	5
割合 (%)	79.9	16.4	1.1	1.9
上記以外の機関	249	11	0	1
割合 (%)	94.7	4.2	0.0	0.4
合計	463	55	3	6
割合 (%)	87.2	10.4	0.6	1.1

	51~100人	100人以上	計
Covid-19受入機関	2	0	268
割合 (%)	0.7	0.0	100.0
上記以外の機関	1	1	263
割合 (%)	0.4	0.4	100.0
合計	3	1	531
割合 (%)	0.6	0.2	100.0

カイ2乗検定

p<0.001

表10-3 令和2年8月と9月 Covid-19疑い患者歯科介入数（有効回答数 531）

	0人	1~10人	11~20人	21~50人
Covid-19受入機関	212	44	4	5
割合 (%)	79.1	16.4	1.5	1.9
上記以外の機関	245	15	0	0
割合 (%)	93.2	5.7	0.0	0.0
合計	457	59	4	5
割合 (%)	86.1	11.1	0.8	0.9

	51~100人	100人以上	計
Covid-19受入機関	3	0	268
割合 (%)	1.1	0.0	100.0
上記以外の機関	1	2	263
割合 (%)	0.4	0.8	100.0
合計	4	2	531
割合 (%)	0.8	0.4	100.0

カイ2乗検定 p<0.001

表11-1-1 患者数の減少割合（令和元年4月・5月と比較した令和2年4月・5月 有効回答数 521）

	件数	患者数減少割合（割）		
		中央値	最大値	最小値
Covid-19受入機関	261	3	10	-1.5
上記以外の機関	260	2	10	-1.4
合計	521	2	10	-1.5

※最小値のマイナスの値は、増加した割合を意味する

表11-1-2 患者数 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
Covid-19受入機関	16	240	5	261
割合 (%)	6.1	92.0	1.9	100.0
上記以外の機関	40	217	3	260
割合 (%)	15.4	83.5	1.2	100.0
合計	56	457	8	521
割合 (%)	10.7	87.7	1.5	100.0

カイ2乗検定 p=0.003

そのうち患者からのキャンセルや受診拒否の割合 有効回答数 397

	件数	キャンセルや受診拒否の割合（割）		
		中央値	最大値	最小値
Covid-19受入機関	195	1	10	0
上記以外の機関	202	1	10	-0.1
合計	397	1	10	-0.1

表11-2-1 診療稼働額の減少割合（令和元年4月・5月と比較した令和2年4月・5月 有効回答数 496）

	件数	診療稼働額減少の割合（割）		
		中央値	最大値	最小値
Covid-19受入機関	248	2.65	10	-0.7
上記以外の機関	248	2	10	-0.6
合計	496	2	10	-0.7

表11-2-2 診療稼働額 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
Covid-19受入機関	23	220	5	248
割合 (%)	9.3	88.7	2.0	100.0
上記以外の機関	42	200	6	248
割合 (%)	16.9	80.6	2.4	100.0
合計	65	420	11	496
割合 (%)	13.1	84.7	2.2	100.0

カイ 2 乗検定 p=0.037

表12-1-1 患者数の減少割合 (令和元年6月・7月と比較した令和2年6月・7月 有効回答数 513)

	件数	患者数減少割合 (割)		
		中央値	最大値	最小値
Covid-19受入機関	258	1	6	-4
上記以外の機関	255	1	10	-2.7
合計	513	1	10	-4

表12-1-2 患者数 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
Covid-19受入機関	35	210	13	258
割合 (%)	13.6	81.4	5.0	100.0
上記以外の機関	66	183	6	255
割合 (%)	25.9	71.8	2.4	100.0
合計	101	393	19	513
割合 (%)	19.7	76.6	3.7	100.0

カイ 2 乗検定 p<0.001

そのうち患者からのキャンセルや受診拒否の割合 有効回答数 382

	件数	キャンセルや受診拒否の割合 (割)		
		中央値	最大値	最小値
Covid-19受入機関	187	1	10	0
上記以外の機関	195	1	10	0
合計	382	1	10	0

表12-2-1 診療稼働額の減少割合 (令和元年6月・7月と比較した令和2年6月・7月 有効回答数 481)

	件数	診療稼働額減少の割合 (割)		
		中央値	最大値	最小値
Covid-19受入機関	242	1	6	-5
上記以外の機関	239	1	10	-5.1
合計	481	1	10	-5.1

表12-2-2 診療稼働額 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
Covid-19受入機関	49	174	19	242
割合 (%)	20.2	71.9	7.9	100.0
上記以外の機関	70	154	15	239
割合 (%)	29.3	64.4	6.3	100.0
合計	119	328	34	481
割合 (%)	24.7	68.2	7.1	100.0

カイ 2 乗検定 p=0.068

表13-1-1 患者数の減少割合（令和元年8月・9月と比較した令和2年8月・9月 有効回答数 504）

	件数	患者数減少割合（割）		
		中央値	最大値	最小値
Covid-19受入機関	254	1	9	-3
上記以外の機関	250	1	6	-8.6
合計	504	1	6	-8.6

表13-1-2 患者数 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
Covid-19受入機関	62	179	13	254
割合 (%)	24.4	70.5	5.1	100.0
上記以外の機関	82	156	12	250
割合 (%)	32.8	62.4	4.8	100.0
合計	144	335	25	504
割合 (%)	28.6	66.5	5	100.0

カイ 2 乗検定 p=0.113

そのうち患者からのキャンセルや受診拒否の割合 有効回答数 374

	件数	キャンセルや受診拒否の割合（割）		
		中央値	最大値	最小値
Covid-19受入機関	182	0.5	10	0
上記以外の機関	192	0.2	10	0
合計	374	0.5	10	0

表13-2-1 診療稼働額の減少割合（令和元年8月・9月と比較した令和2年8月・9月 有効回答数 476）

	件数	診療稼働額減少の割合（割）		
		中央値	最大値	最小値
Covid-19受入機関	238	1	7	-3.5
上記以外の機関	238	0.2	5	-4.6
合計	476	0.5	7	-4.6

表13-2-2 診療稼働額 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
Covid-19受入機関	74	143	21	238
割合 (%)	31.1	60.1	8.8	100.0
上記以外の機関	96	125	17	238
割合 (%)	40.3	52.5	7.1	100.0
合計	170	268	38	476
割合 (%)	35.7	56.3	8.0	100.0

カイ2乗検定 p=0.107

表14-1 令和2年4月・5月の患者受診ならびに処置等の制限 (有効回答数 547)

	制限した	制限しなかつた	合計
Covid-19受入機関	220	59	279
割合 (%)	78.9	21.1	100.0
上記以外の機関	184	84	268
割合 (%)	68.7	31.3	100.0
合計	404	143	547
割合 (%)	73.9	26.1	100.0

カイ2乗検定 p=0.007

表14-2 「制限した」と回答した場合、どのような制限をしたか? (有効回答数 397)

	受診前の事前 電話問診	初診オンライ ン診療の導入	定期管理患者 の受診延期	自覚症状のな い患者の受診 延期
Covid-19受入機関	20	4	149	109
割合 (%)	9.3	1.9	69.0	50.5
上記以外の機関	33	1	141	95
割合 (%)	18.2	0.6	77.9	52.5
合計	53	5	290	204
割合 (%)	13.4	1.3	73.0	51.4

	観血的処置の 制限	エアロゾルを 発生しやすい 処置 (エタービ ン・超音波ス カナー等) の使用 制限	回答病院数
Covid-19受入機関	150	158	216
割合 (%)	69.4	73.1	100.0
上記以外の機関	79	110	181
割合 (%)	43.6	60.8	100.0
合計	229	268	397
割合 (%)	57.7	67.5	100.0

※ 割合の分母は回答病院数

表15 令和2年4月・5月のCovid-19に対する患者感染対策（有効回答数 546）

	検温	自覚症状に関する問診（発熱、咳、喉の痛み、味覚・臭覚異常等）	感染流行地域への滞在・海外渡航歴の確認	待合室の換気や空気清浄機の設置
Covid-19受入機関	262	267	238	175
割合 (%)	94.2	96.0	85.6	62.9
上記以外の機関	257	249	200	201
割合 (%)	95.9	92.9	74.6	75.0
合計	519	516	438	376
割合 (%)	95.1	94.5	80.2	68.9

	待合室のソーシャルディスタンス	待合室の雑誌・遊具等の撤去	その他	回答病院数
Covid-19受入機関	232	116	26	278
割合 (%)	83.5	41.7	9.4	100.0
上記以外の機関	224	131	27	268
割合 (%)	83.6	48.9	10.1	100.0
合計	456	247	53	546
割合 (%)	83.5	45.2	9.7	100.0

※ 割合の分母は回答病院数

表16 令和2年4月・5月のCovid-19に対する医療スタッフ感染対策（有効回答数 546）

	フェイスシールド・ゴーグルの着用	ディスプレイのガウンやキャップの着用	口腔外バキュームの使用	歯科ユニット・機材等の清拭
Covid-19受入機関	271	218	236	258
割合 (%)	96.8	77.9	84.3	92.1
上記以外の機関	254	162	194	257
割合 (%)	95.5	60.9	72.9	96.6
合計	525	380	430	515
割合 (%)	96.2	69.6	78.8	94.3

	スタッフに対する正しい手指消毒法・マスク・グローブ等の着脱方法等の感染対策勉強会	スタッフの日々の健康管理（検温・自覚症状等）	その他	回答病院数
Covid-19受入機関	241	270	14	280
割合 (%)	86.1	96.4	5.0	100.0
上記以外の機関	219	255	14	266
割合 (%)	82.3	95.9	5.3	100.0
合計	460	525	28	546
割合 (%)	84.2	96.2	5.1	100.0

※ 割合の分母は回答病院数

表17 令和2年の医療資源充足状況

マスク

有効回答数 525

	不足	使用しない	充足	合計
Covid-19受入機関	194	0	78	272
割合 (%)	71.3	0.0	28.7	100.0
上記以外の機関	174	0	79	253
割合 (%)	68.8	0.0	31.2	100.0
合計	368	0	157	525
割合 (%)	70.1	0.0	29.9	100.0

カイ2乗検定 p=0.524

N95

有効回答数 515

	不足	使用しない	充足	合計
Covid-19受入機関	120	81	64	265
割合 (%)	45.3	30.6	24.2	100.0
上記以外の機関	54	155	41	250
割合 (%)	21.6	62.0	16.4	100.0
合計	174	236	105	515
割合 (%)	33.8	45.8	20.4	100.0

カイ2乗検定 p<0.001

グローブ

有効回答数 517

	不足	使用しない	充足	合計
Covid-19受入機関	91	0	175	266
割合 (%)	34.2	0.0	65.8	100.0
上記以外の機関	115	0	136	251
割合 (%)	45.8	0.0	54.2	100.0
合計	206	0	311	517
割合 (%)	39.8	0.0	60.2	100.0

カイ2乗検定 p=0.007

フェイスシールド

有効回答数 514

	不足	使用しない	充足	合計
Covid-19受入機関	113	16	135	264
割合 (%)	42.8	6.1	51.1	100.0
上記以外の機関	88	17	145	250
割合 (%)	35.2	6.8	58.0	100.0
合計	201	33	280	514
割合 (%)	39.1	6.4	54.5	100.0

カイ2乗検定 p=0.210

ゴーグル

有効回答数 506

	不足	使用しない	充足	合計
Covid-19受入機関	65	29	167	261
割合 (%)	24.9	11.1	64.0	100.0
上記以外の機関	48	47	150	245
割合 (%)	19.6	19.2	61.2	100.0
合計	113	76	317	506
割合 (%)	22.3	15.0	62.6	100.0

カイ2乗検定 p=0.027

ガウン 有効回答数 521

	不足	使用しない	充足	合計
Covid-19受入機関	128	28	112	268
割合 (%)	47.8	10.4	41.8	100.0
上記以外の機関	82	61	110	253
割合 (%)	32.4	24.1	43.5	100.0
合計	210	89	222	521
割合 (%)	40.3	17.1	42.6	100.0

カイ2乗検定 $p < 0.001$

キャップ 有効回答数 514

	不足	使用しない	充足	合計
Covid-19受入機関	79	35	147	261
割合 (%)	30.3	13.4	56.3	100.0
上記以外の機関	54	98	101	253
割合 (%)	21.3	38.7	39.9	100.0
合計	133	133	248	514
割合 (%)	25.9	25.9	48.2	100.0

カイ2乗検定 $p < 0.001$

消毒用アルコール 有効回答数 520

	不足	使用しない	充足	合計
Covid-19受入機関	105	1	160	266
割合 (%)	39.5	0.4	60.2	100.0
上記以外の機関	123	0	131	254
割合 (%)	48.4	0.0	51.6	100.0
合計	228	1	291	520
割合 (%)	43.8	0.2	56.0	100.0

カイ2乗検定 $p = 0.081$

表18 スタッフの勤務状況について（有効回答数 536）

	変更なし	勤務時間の調整（短縮・ローテーション等）	勤務日数を減らした	スタッフの事情（子供の世話等）で出勤できない者がいた	回答病院数
Covid-19受入機関	217	30	16	28	269
割合 (%)	80.7	11.2	5.9	10.4	100.0
上記以外の機関	209	26	22	32	267
割合 (%)	78.3	9.7	8.2	12.0	100.0
合計	426	56	38	60	536
割合 (%)	79.5	10.4	7.1	11.2	100.0

※ 割合の分母は回答病院数

表19-1-1 歯科診療所及び歯科医師会との連携

(令和2年4月・5月の紹介患者は前年同月と比べてどれくらい減少したか?)

	件数	紹介患者減少割合(割)		
		中央値	最大値	最小値
Covid-19受入機関	231	2.2	10	-2.5
上記以外の機関	202	0	10	-2.9
合計	433	2	10	-2.9

※最小値のマイナス値は増加の割合を意味する

表19-1-2 紹介患者割合 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
Covid-19受入機関	43	182	6	231
割合(%)	18.6	78.8	2.6	100.0
上記以外の機関	103	96	3	202
割合(%)	51.0	47.5	1.5	100.0
合計	146	278	9	433
割合(%)	33.7	64.2	2.1	100.0

カイ2乗検定 p<0.001

表19-2-1 歯科診療所及び歯科医師会との連携

(令和2年6月・7月の紹介患者は前年同月と比べてどれくらい減少したか?)

	件数	紹介患者減少割合(割)		
		中央値	最大値	最小値
Covid-19受入機関	230	1	10	-4
上記以外の機関	201	0	10	-5
合計	431	1	10	-5

表19-2-2 紹介患者割合 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
Covid-19受入機関	62	158	10	230
割合(%)	27.0	68.7	4.3	100.0
上記以外の機関	107	85	9	201
割合(%)	53.2	42.3	4.5	100.0
合計	169	243	19	431
割合(%)	39.2	56.4	4.4	100.0

カイ2乗検定 p<0.001

表19-3-1 歯科診療所及び歯科医師会との連携

(令和2年8月・9月の紹介患者は前年同月と比べてどれくらい減少したか?)

	件数	紹介患者減少割合(割)		
		中央値	最大値	最小値
Covid-19受入機関	227	1	10	-2.4
上記以外の機関	198	0	10	-5.2
合計	425	0	10	-5.2

表19-3-2 紹介患者割合 不変・減少・増加の病院数

	不変	減少	増加	計
Covid-19受入機関	80	130	17	227
割合 (%)	35.2	57.3	7.5	100.0
上記以外の機関	125	66	7	198
割合 (%)	63.1	33.3	3.5	100.0
合計	205	196	24	425
割合 (%)	48.2	46.1	5.6	100.0

カイ2乗検定 p<0.001

表20-1 平常時から連携する歯科診療所および歯科医師会との連絡会議開催状況（有効回答数 507）

	定期的に連絡 会議を行って いた	不定期に連絡 会議を行って いた	具体的な情報 共有体制は構 築されていな かった	合計
Covid-19受入機関	67	61	135	263
割合 (%)	25.5	23.2	51.3	100.0
上記以外の機関	44	40	160	244
割合 (%)	18.0	16.4	65.6	100.0
合計	111	101	295	507
割合 (%)	21.9	19.9	58.2	100.0

カイ2乗検定 p=0.005

表20-2 定期的に連絡会議を行っていた場合の頻度（何か月に1回）有効回答数 101

	件数	頻度（月）		
		中央値	最大値	最小値
Covid-19受入機関	63	1	12	0.5
上記以外の機関	38	1	12	1
合計	101	1	12	0.5

表20-3 不定期に連絡会議を行っていた場合の頻度（有効回答数 82）

	件数	頻度（回／年）		
		中央値	最大値	最小値
Covid-19受入機関	52	2	6	1
上記以外の機関	30	2	15	1
合計	82	2	15	1

表21-1 Covid-19に対しての連絡会議（情報共有体制）は開催されたか（有効回答数 492）

	開催した	しなかった	合計
Covid-19受入機関	95	162	257
割合 (%)	37.0	63.0	100.0
上記以外の機関	79	156	235
割合 (%)	33.6	66.4	100.0
合計	174	318	492
割合 (%)	35.4	64.6	100.0

カイ2乗検定 p=0.438

表21-2 開催した場合、最初に開催したのは何月か（有効回答数 140）

	件数	開催月		
		中央値	最大値 (遅い)	最小値 (早い)
Covid-19受入機関	78	4	12	2
上記以外の機関	62	4	12	1
合計	140	4	12	1

表21-3 開催した場合、どのような情報を共有したか（有効回答数 169）

	歯科医療提供体制	院内感染対策	補助金	PPE供給・配布	歯科保健医療事業
Covid-19受入機関	72	66	20	35	9
割合 (%)	75.8	69.5	21.1	36.8	9.5
上記以外の機関	46	58	29	31	12
割合 (%)	62.2	78.4	39.2	41.9	16.2
合計	118	124	49	66	21
割合 (%)	69.8	73.4	29.0	39.1	12.4

	診療継続計画	歯科医師の検体採取	その他	特になし	病院数
Covid-19受入機関	16	10	7	0	95
割合 (%)	16.8	10.5	7.4	0.0	100.0
上記以外の機関	9	7	7	0	74
割合 (%)	12.2	9.5	9.5	0.0	100.0
合計	25	17	14	0	169
割合 (%)	14.8	10.1	8.3	0.0	100.0

※ 割合の分母は連絡会議を開催したと回答した病院数

表22-1 自治体（都道府県市町村）との連携について

（日ごろから情報共有体制は構築されていたか 有効回答数 504）

	郡市区歯科医師会を通じてのみ行っていた	自治体に勤務する歯科専門職に個別に行っていた	具体的な情報共有体制は構築されていなかった	合計
Covid-19受入機関	101	9	146	256
割合 (%)	39.5	3.5	57.0	100.0
上記以外の機関	86	12	150	248
割合 (%)	34.7	4.8	60.5	100.0
合計	187	21	296	504
割合 (%)	37.1	4.2	58.7	100.0

カイ2乗検定 p=0.459

表22-2 行っていた場合、どのような情報を共有していたか（有効回答数 192）

	歯科医療提供体制	院内感染対策	補助金	PPE供給・配布	歯科保健医療事業
Covid-19受入機関	59	52	37	38	20
割合 (%)	59.0	52.0	37.0	38.0	20.0
上記以外の機関	49	63	48	43	25
割合 (%)	53.3	68.5	52.2	46.7	27.2
合計	108	115	85	81	45
割合 (%)	56.3	59.9	44.3	42.2	23.4

	診療継続計画	歯科医師の検体採取	その他	特になし	回答病院数
Covid-19受入機関	11	12	2	10	100
割合 (%)	11.0	12.0	2.0	10.0	100.0
上記以外の機関	9	9	4	7	92
割合 (%)	9.8	9.8	4.3	7.6	100.0
合計	20	21	6	17	192
割合 (%)	10.4	10.9	3.1	8.9	100.0

※ 割合の分母は自治体と情報共有体制を構築していたと回答した病院数

表23-1 BCPが作成されているか？（有効回答数 530）

	はい	いいえ	合計
Covid-19受入機関	77	189	266
割合 (%)	28.9	71.1	100.0
上記以外の機関	48	216	264
割合 (%)	18.2	81.8	100.0
合計	125	405	530
割合 (%)	23.6	76.4	100.0

カイ2乗検定 p=0.004

以下、「はい」と回答した病院が対象

表23-2 初版の発行日（有効回答数 104）

	令和2年 1月～3月	令和2年 4月～6月	令和2年 7月～9月	令和2年 10月～12月	合計
Covid-19受入機関	26	27	5	2	60
割合 (%)	43.3	45.0	8.3	3.3	100.0
上記以外の機関	13	22	4	5	44
割合 (%)	29.5	50.0	9.1	11.4	100.0
合計	39	49	9	7	104
割合 (%)	37.5	47.1	8.7	6.7	100.0

カイ2乗検定 p=0.276

表23-3 BCPの必要性を感じましたか？（有効回答数 120）

	はい	いいえ	合計
Covid-19受入機関	71	3	74
割合 (%)	95.9	4.1	100.0
上記以外の機関	45	1	46
割合 (%)	97.8	2.2	100.0
合計	116	4	120
割合 (%)	96.7	3.3	100.0

カイ2乗検定 p=0.577

表23-4 BCPは十分に機能したか？（有効回答数 118）

	はい	いいえ	合計
Covid-19受入機関	63	10	73
割合 (%)	86.3	13.7	100.0
上記以外の機関	37	8	45
割合 (%)	82.2	17.8	100.0
合計	100	18	118
割合 (%)	84.7	15.3	100.0

カイ2乗検定 p=0.549

「いいえ」と回答した場合

表23-5 BCPで機能しなかったところは？（有効回答数 17）

	スタッフへの 周知不足	スタッフ確 保・配置	PPEなどの資 源	情報収集・情 報共有・情報 提供
Covid-19受入機関	7	1	1	2
割合 (%)	70.0	10.0	10.0	20.0
上記以外の機関	5	1	0	2
割合 (%)	71.4	14.3	0.0	28.6
合計	12	2	1	4
割合 (%)	70.6	11.8	5.9	23.5

	資金	その他	回答病院数
Covid-19受入機関	0	1	10
割合 (%)	0.0	10.0	100.0
上記以外の機関	1	1	7
割合 (%)	14.3	14.3	100.0
合計	1	2	17
割合 (%)	5.9	11.8	100.0

※ 割合の分母は回答病院数

表23-6 BCPで機能しなかった事項の対応

対象は表23-3で「いいえ」と回答した病院（有効回答数 16）

	既に対応済	現在対応中	対応を検討	合計
Covid-19受入機関	3	1	6	10
割合 (%)	30.0	10.0	60.0	100.0
上記以外の機関	2	3	1	6
割合 (%)	33.3	50.0	16.7	100.0
合計	5	4	7	16
割合 (%)	31.3	25.0	43.8	100.0

カイ2乗検定 p=0.134

表23-7 BCPに歯科に関する内容が記載されているか

対象は表23-1で「はい」と回答した病院（有効回答数 105）

	はい	いいえ	合計
Covid-19受入機関	23	42	65
割合 (%)	35.4	64.6	100.0
上記以外の機関	18	22	40
割合 (%)	45.0	55.0	100.0
合計	41	64	105
割合 (%)	39.0	61.0	100.0

カイ2乗検定 p=0.327